

# 保健管理センター 5年報

[2020年度～2024年度]



岡山大学保健管理センター

2026年3月

## はじめに

岡山大学安全衛生推進機構保健管理部門は、昭和24年5月31日の岡山大学創立とともに、厚生補導部保健室として発足しました。昭和33年4月1日、学校保健法の施行に伴い学生部健康相談所が開設され、昭和42年5月31日には文部省令第11号により保健管理センターが設立されました。その後、国立大学法人発足時には保健環境センター・保健部門に位置づけられていましたが、平成20年4月より再び保健管理センターとなり、令和7年4月からは改組により安全衛生推進機構保健管理部門となり、今日に至っています。

この度、保健管理部門の5年報が作成されました。本年報は、業務に関係するデータの散逸を防ぐとともに、5年間の推移を振り返り、今後の活動に生かしていくことを目的としています。「保健管理部門5年報」は、平成2年度から平成6年度を対象として刊行されたものを第1号とし、この度の年報は、令和2年度から令和6年度までの5年間を対象とした第7号となります。この5年間は、おおよそ第3期から第4期中期目標期間へ、横野博史学長から那須保友学長へと、新たな体制へ移行した5年間でもありました。

当部門の業務のうち労働安全衛生の分野においては、法人化後20年以上を経て、引き続き体制の充実が図られてきました。学長による「こころの健康宣言」の発表や、その具現化を目的とした「メンタルヘルス対策推進室」の活動など、とりわけメンタルヘルスに関する取組が進展しました。一方で、三次予防から一次予防・二次予防への支援の拡充、復職支援、ストレスチェック制度を活用した職場環境改善、長時間労働への対応など、なお多くの課題への取組が求められています。

また、この5年間においてCOVID-19によるパンデミックの発生は、まさに緊急事態であり、当部門としてはもちろん、大学としてもこれまで経験したことのないものでした。この難局を乗り切るべく、執行部、安全衛生部（現・安全衛生統括部）をはじめとする多数の関係部局と緊密に連携を図り、様々な局面において協働で対処しました。とりわけ、新型コロナワクチンの学内での集団接種においては、医療系地区の教職員の多大なご協力を賜ったことは特筆すべきであり、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

一方で、学校保健安全法および労働安全衛生法に規定された保健室としての機能や、定期健康診断、特殊・特定業務健康診断をはじめとする各種健康診断、特定健康診査などの基本的な業務は、日々支障なく行われており、平時には特別に意識されることはありません。しかしながら、時代の流れに伴う絶え間ない変化や非常時への対応を含めた様々な活動が、この小さな部署の取組によって支えられていることを、本5年報を通して垣間見ていただければ幸いです。

本5年報をご覧いただき、保健管理部門のさらなる充実のために、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

安全衛生推進機構長  
理事（財務・施設担当）・事務総長  
小 代 哲 也



# 目 次

I. オーバービュー	1
II. 業務実施内容	
(1) 年度別実施業務	3
(2) 保健管理センター利用状況 日常業務・日常検査件数	8
(3) 定期健康診断 受診対象者数・実施内容	11
①学生健康診断	11
②職員健康診断	16
(4) その他の健康診断・検診	22
(5) メンタルヘルス部門	25
III. 教育・啓発活動	
(1) 学生講義	30
(2) 日常業務の中での健康教育	45
1) 感染症対策感染症流行時の健康情報提供, メンタルヘルス支援 (オンライン)	45
①2021年度 新型コロナウイルスワクチン職域接種	45
②さくらルーム (保健管理センター ワクチン対策室) 完成2022年	46
③有償ワクチン接種の予約・決済システム稼働 (2022年度～)	46
④子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種	46
2) 健康管理の充実	47
3) メーリングリスト	47
(3) 学内の講習・講演	48
①保健管理センター講演会	48
②メンタルヘルス講演会	48
③安全衛生講習会	48
④禁煙教育	49
⑤学生サークル・グッドジョブセンター等に対する健康教育	49
IV. 学術研究活動	
(1) 学会・研究会発表	52
(2) 論文・報告書など	58
V. 社会貢献活動	63
VI. 保健管理センターの概況	
(1) 概要	68
(2) 組織機構図	69
(3) 保健管理センター配置図・建物平面図	73
(4) 歴代センター長	74
(5) 学校医・学校歯科医名簿 (非常勤)	75
(6) 関係規則	76
(7) センター職員	81
あとがき	82



## I. オーバービュー

安全衛生推進機構副機構長  
保健管理部門長  
岩崎良章

安全衛生推進機構保健管理部門の2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間における業務内容等をまとめた5年報をお届けします。年報を作成している大学保健管理施設が多い中、単年度では分かりにくい年次推移を明らかにして振り返ることを目的として、本学ではコロナ禍の影響により1年遅れとなった前回は除き、5年ごとに作成・報告してきました。

この5年間において、人事面では、岡部伸幸講師が准教授から教授へ、樋口千草助教が准教授へとそれぞれ昇任しました。また、2020（令和2）年4月より宮道力准教授が着任し、同年6月に二宮崇助教が退職しました。さらに、古本友里保健師が2020（令和2）年3月に退職し、同年4月より成田美香保健師が、増田陽子診療放射線技師が2021（令和3）年3月に退職し、同年4月より花元晴美診療放射線技師が着任するなど、職員の異動がありました。

この5年間は、COVID-19のパンデミックとともに始まり、当部門および大学のみならず、社会全体に大きな影響を及ぼしました。パンデミック当初は、新興感染症であったため情報に乏しく、明確なガイドラインも存在しない中、情報収集に努めながら、学内から絶え間なく寄せられる問い合わせへの対応や方針決定に苦慮しました。特に、緊急事態宣言が繰り返される中で実施された定期健康診断においては、中止あるいは再開の判断を行いつつ、感染対策を工夫して実施し、幸いにもクラスターの発生なく終えることができました。しかし、学内では学生・職員に多数の罹患者が発生し、当部門の職員も対応に多忙を極めました。

パンデミック2年目となる2021（令和3）年7月より、新型コロナワクチンの集団接種を、教職員・学生に加え、希望のあった学外団体も含め、約1万2千人を対象に職域接種として学内で実施しました。本接種の実施にあたり、多大なるご協力を賜った本学事務部門および病院（医系・歯系）をはじめとする関係各位に、厚く御礼申し上げます。しかしながら、罹患者の発生はその後にも継続し、2023年5月に感染症法上の位置づけが5類へ移行するまで、学内においても様々な活動の制限を余儀なくされました。ワクチン接種については、感染防止効果は限定的である一方、重症化予防効果があるとされていますが、本来重症化リスクが低く、本学においても認められた心膜炎をはじめとする副反応が出やすい若年成人への接種については、なお議論の余地があるところです。その後、大きな流行はみられなくなったものの、現在もなお罹患者が確認される状況が続いています。

学内での新型コロナワクチン接種を契機として、2022（令和4）年度より、当部門においてインフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎等のワクチン接種を有償で開始しました。学内で接種を受けられる体制を整えるとともに、市中の医療機関より接種費用を低く設定することにより、大学構成員の福利厚生および利便性の向上につながりました。また、有償接種の実施に際しては、クレジットカード決済が可能な予約・決済システムを新たに導入し、利便性の向上と不正防止を図りました。これにより、当部門の歴史において初めて収益を上げることが可能となりました。

定期健康診断における胸部X線検査は、当部門の設備により内製で実施していますが、診断の効率化と利便性向上を目的として、2019（令和元）年度よりクラウド型健診読影システムを導入してきました。2020（令和2）年度からは、呼吸器専門医の退職に伴い、大学病院放射線科専門医による読影を依頼していました。その後、大学病院業務の過重化を背景として、2025（令和7）年度よりAI技術を活用した胸部X線画像診断支援システムの導入に至っています。

1985年頃より米国大学保健協会の主導により始まったヘルシーキャンパスの取り組みを受け、国内においてもその動きが活発化しています。これは、学生および教職員の心身の健康とウェルビーイング

の向上を目的とした包括的な取組であり、コロナ禍の影響により開始が遅れたものの、本学においても2024（令和6）年度よりウォーキングチャレンジへの参加を皮切りに、ヘルシーキャンパス宣言に向けた準備を進めています。

大学を取り巻く環境は、運営費交付金の減少に伴う人員の適正化や長時間労働の問題など、依然として厳しい状況にあります。そのような中ではありますが、那須保友学長の新ビジョン「誇りと希望の学都・岡山大学～不易流行の経営改革～」に沿い、2025（令和7）年4月の保健管理センターから安全衛生推進機構保健管理部門への改組を機に、心新たに、学生・教職員の健康と安全の確保のため、職員一同努力を重ねていきたいと考えています。

## Ⅱ. 業務実施内容

### (1) 年度別実施業務（毎日の一般外来などの日常業務は除く）

保健管理センターでは、学生や教職員の健康の保持・増進を目的とし、運営委員会での討議を経て年間業務を遂行している。以下にその主な内容を年度別に記載した。

#### 2020（令和2）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 保健学科オリエンテーション 2日 入学式中止 2日 医学科オリエンテーション	3日 教育学部介護体験予定学生向け健康診断 6日 健康診断予約受付システム予約受付・問診票入力開始 6～17日 新入生定期健康診断 (14日から新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止)	
5月		25～6/26 学生定期健康診断再開(新入生も予約制で実施) (感染拡大防止の為 健診項目や場所を一部変更して実施) (レントゲン車の手配困難にて鹿田地区での健診は中止)	
6月		29・30日 第1回放射線業務従事者等健康診断 30・7/1・3日 B型肝炎ワクチン接種(医・歯)1回目	8日 胃検診(倉敷地区)
7月	6日 センター内防災訓練	9日 B型肝炎ワクチン接種(薬)1回目 13日 健康診断書発行開始 28・29・31日 B型肝炎ワクチン接種(医・歯)2回目	9・10日 グッドジョブ熱中症講習会 27～31日 胃検診(津島地区)
8月		6日 ワンゲル部救急法講習会 7日 B型肝炎ワクチン接種(薬)2回目 11日 夏季休業 始	6日 胃検診(東山・平井地区) 6日 職員健康診断予約・web問診開始 21日 グッドジョブ熱中症講習会 18・20・24～28・31・9/1(土日除く) 職員定期健康診断兼特定・特殊健診
9月	23日 第50回中国四国大学保健管理研究集会(香川web開催) 25日 学位記等授与式	18日 第2回放射線業務従事者等健康診断 28・29日 新入生追加健康診断 30日 夏季休業 終	1日 ストレスチェック開始 7日 職員追加健康診断予約・web問診開始 15日 職員追加健康診断兼特定・特殊健診
10月	24日 ディスカバリー入試救護班 27日 津島地区総合防災訓練	5～23日 新入生健康診断未受診者予約制で実施 27～30日 インフルエンザワクチン接種(医・歯) 29・30日 第2回放射線業務従事者等健康診断	15日 職員健康診断結果個人通知 事後措置開始
11月	25・26日 第58回全国大学保健管理研究集会(京都Web開催)	9・10日 インフルエンザワクチン接種(薬) 10日 留学生及び秋季入学生健康診断 予約開始 24日 留学生及び秋季入学生健康診断	
12月	5日 国際バカロレア・社会人・推薦入試 救護班	B型肝炎ワクチン接種(医・歯)3回目 16日 インフルエンザワクチン接種(看護1年・助産学1年) 25日 冬季休業 始	1日 職員健康診断予約・web問診開始(追加健康診断) 10日 ストレスチェック結果返却 15日 職員追加(最終)健康診断
1月	16・17日 大学入学共通テスト救護班	4日 冬季休業 終 5～25日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle問診 7日 B型肝炎ワクチン接種(薬)3回目 19・20・22日 B型肝炎ワクチン接種後抗体検査(医・歯)	15日 追々加職員健康診断結果個人通知 事後措置開始
2月	25・26日 一般選抜前期日程救護班	3日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診察 10日 B型肝炎ワクチン接種後抗体検査(薬) 15日 春季休業 始	8・9日 特定業務及び特殊健康診断 保健管理センター講演会(メンタル・フィジカル)
3月	12日 一般選抜後期日程救護班 17日 フィジカルヘルスフォーラム 情報交換会(東京web開催) 25日 学位記等授与式救護班	31日 春季休業 終	24日 給食業務従事者健康診断

2021（令和3）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 保健学科オリエンテーション 2日 入学式 医学科オリエンテーション	2日 新入生定期健康診断予約開始 3～16日 新入生定期健康診断 9日 在学生定期健康診断予約・Moodle問診開始 20～23日 在学生定期健康診断（津島） 26～28・30日 在学生定期健康診断（鹿田）	
5月		6～26日 在学生定期健康診断（津島） 27日 健康診断書受付開始	
6月		14日 健康診断書受け取り開始 28日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目 28・29日 第1回放射線業務従事者健康診断 30日～7/2 在学生追加健康診断	14日 胃検診（倉敷地区） 17日 グッドジョブ熱中症講習会
7月	5日 センター内防災訓練	9～29日（土日は除く。22・23日の祝日は実施） 28日 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目 30日 健康診断結果Web閲覧開始	新型コロナウイルスワクチン接種1回目 26～29日 胃検診（津島地区）
8月	20日 国際バカロレア入試救護班 26・27日 第51回中・四国大学保健管理研究集会（山口ハイブリッド開催）	11日 夏季休業 始 6～27日（土日及び13日は除く）	4日 胃検診（東山・平井地区） 5日 胃検診（津島地区） 新型コロナウイルスワクチン接種2回目（異物混入報告のため25・26日は中止）
9月	24日 学位記等授与式	14日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目（コロナワクチン優先者） 30日 夏季休業 終	1日 ストレスチェック開始 6～8・13・15日 新型コロナウイルスワクチン接種 27日 職員健康診断予約・web問診開始 27日 特定業務及び特殊健康診断
10月	6・7日 第59回全国大学保健管理研究集会（広島web開催） 16日 ディスカバリー入試救護班 28日 津島地区総合防災訓練	1・6日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）1回目 8・20日 新型コロナウイルスワクチン接種 6・22・27日 ワンゲル部救急法講習会 21日 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目（コロナワクチン優先者）	11～19日 職員定期健康診断（鹿田地区以外）
11月		1日 留学生及び秋季入学大学生・大学院生健康診断予約開始 8・10・14・15日 インフルエンザワクチン接種（医・歯） 9日 インフルエンザワクチン接種（薬） 9・10日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）2回目 15日 留学生及び秋季入学生健康診断 25日～12/10（火・木・金のみ） 留学生及び秋季入学生臨時健康診断	22日 職員健康診断結果個人通知 事後措置開始 22～30日 ストレスチェック結果閲覧期間
12月	4日 国際バカロレア・社会人・推薦入試救護班 7日 避難所運営ゲームHUG講習会 18日 国際バカロレア・社会人・推薦入試救護班	25日 冬季休業 始	6日 職員健康診断予約・web問診開始（追加健康診断） 13日 職員追加健康診断（鹿田地区以外） 14・15日 第2回放射線業務従事者等健康診断
1月	15・16日 大学入学共通テスト救護班 22・23日 AO・推薦入試救護班 29・30日 大学入学共通テスト救護班（追・再試験）	4日 冬季休業 終 5～31日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle問診 7日 B型肝炎ワクチン接種（薬）3回目	14日 追加職員健康診断結果個人通知 事後措置開始
2月	5・6日 AO・推薦入試救護班 12日 後期日程入試救護班 17日 第23回フィジカルヘルスフォーラム（東京web開催）	5日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診察 10日 B型肝炎抗体検査（薬） 11日 保健管理センター講演会（メンタル・フィジカル） 15日 春季休業 始	12日 D・E判定者通知（事後措置） 14日 特定業務及び特殊健康診断
3月	22日 一般入試追試験救護班 25日 学位記授与式救護班	1日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）3回目 15日 新型コロナウイルスワクチン接種開始 28日 B型肝炎抗体検査（医・歯） 31日 春季休業 終	23日 給食業務従事者健診

2022（令和4）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 保健学科オリエンテーション 2日 入学式 医学科オリエンテーション	4日 新生入生・在学生定期健康診断予約開始 4～5日 在学生定期健康診断 6～7日 新生入生定期健康診断（血液検査対象者） 8～22日 新生入生・在学生定期健康診断（津島） 25～28日 在学生定期健康診断（鹿田）	
5月		2～25日 在学生定期健康診断（津島） 26日 健康診断書受付開始	
6月		9日 追加健康診断 13日 健康診断書受け取り開始 14・17日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）1回目 27・28日 第1回放射線業務従事者健康診断（津島地区） 22日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目 30日 健康診断結果Web閲覧開始	1日 グッドジョブ熱中症講習会 13日 胃検診（倉敷地区）
7月	4日 センター内防災訓練	1～12日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 19・22日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）2回目 21日 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目 27・29日 ワンゲル部救急法講習会	25～29日 胃検診（津島地区）
8月	6・7・9・10日 オープンキャンパス救護班 26日 国際バカロレア入試救護班 27日 五大学空手競技救護班 25・26日 第52回中・四国大学保健管理研究会（島根web開催）	11日 夏季休業 始	1日 職員健康診断予約・web問診開始 3日 胃検診（東山・平井地区） 17～29日 職員定期健康診断
9月	22日 学位記等授与式	30日 夏季休業 終	1日 ストレスチェック開始 12日 特定業務及び特殊健康診断 30日 職員健康診断結果個人通知 事後措置開始
10月	19・20日 第60回全国大学保健管理研究会（横浜） 15日 ディスカバリー入試救護班 22日 ホームカミングデイ救護班 27日 津島地区総合防災訓練	1～23日 放射線業務従事者等健康診断Moodle問診（津島地区） 8日 インフルエンザワクチン接種予約開始 17日 留学生及び秋季入学大学生・大学院生健康診断 25日 新型コロナウイルスワクチン（オミクロン対応）接種予約開始 25・27日 インフルエンザワクチン接種（医・歯）	
11月	4～6日 大学祭（津島祭）	1・10日 インフルエンザワクチン接種（医・歯） 11/7～12/23 新型コロナウイルスワクチン（オミクロン対応）接種 11/22・24・25日 インフルエンザワクチン接種（さくらルーム） 8・9日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）3回目 17日 後期入学者健康診断結果web閲覧開始	7日 職員追加健康診断予約・web問診開始 21日 職員追加健康診断（津島地区） 22～30日 ストレスチェック結果閲覧期間
12月	3日 国際バカロレア・社会人・推薦入試救護班 22・23日 全国大会メンタルヘルス学会（一橋大学 ハイブリッド開催）	15日 B型肝炎ワクチン接種（薬）3回目 1・2日 第2回放射線業務従事者等健康診断 12・13日 インフルエンザワクチン接種（さくらルーム） 25日 冬季休業 始	21日 職員追加健康診断結果個人通知 事後措置開始
1月	14・15日 大学入学共通テスト救護班 21・22日 AO・推薦入試救護班	4日 冬季休業 終 5～25日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle問診 12日 インフルエンザワクチン接種（さくらルーム） 18日 B型肝炎抗体検査（医・歯） 19日 B型肝炎抗体検査（薬）	
2月	4日 AO・推薦入試救護班 10日 中国四国大学保健看護分科会幹事会 25・26日 前期日程入試救護班	10日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診察 7・8日 インフルエンザワクチン接種（津島地区） 14日 保健管理センター講演会（メンタル・フィジカル） 15日 春季休業 始	9・10日（鹿田地区） 12日 D・E判定者通知（健診事後措置） 20日 特定業務及び特殊健康診断
3月	12日 後期日程入試救護班 17日 第24回フィジカルヘルスフォーラム（愛知） 25日 学位記等授与式救護班	1日 免許申請診断書作成開始 31日 春季休業 終	23日 給食業務従事者健康診断

2023（令和5）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 保健学科オリエンテーション 2日 入学式 医学科オリエンテーション	3日 新入生／在学生定期健康診断予約開始 4・7日 新入生定期健康診断 5・6日 新入生定期健康診断（血液検査対象者） 10～24日 新入生・在学生定期健康診断（津島） 25～28日 在学生定期健康診断（鹿田）	
5月		1～24日 新入生・在学生定期健康診断（津島） 8・15日 MR・水痘・ムンプスワクチン接種（予約者） 25日 健康診断書受付開始 31日 救急法講習会	
6月		8日 追加健康診断 12日 健康診断書受け取り開始 20・23日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）1回目 26・27日 第1回放射線業務従事者健康診断 22・23日 ワンゲル部救急法講習会 26～7/7日 養護教諭養成課程実習 28日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目 30日 健康診断結果Web閲覧開始	1日 グッドジョブ熱中症講習会 12日 胃検診（倉敷地区）
7月	3日 センター内防災訓練	3～31日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle 18・21日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）2回目 26日 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目	5・6日 子宮がん検診 19日 乳がん検診 24～28日 胃検診（津島地区）
8月	5・6・8・10日 オープンキャンパス救護班 25日 国際バカロレア入試救護班 26・27日 第53回中・四国大学保健管理 研究集会（徳島）	1日 夏季休業 始 7・10日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診 7～9日 HPVワクチン接種開始（大学病院トリアージ室）	1日 職員健康診断予約・Web問 診開始 3日 胃検診（東山・平井地区） 17・18・21～23日 職員定期健康診断 28・29日 職員定期健康診断
9月	25日 学位記等授与式	30日 夏季休業 終	1日 ストレスチェック開始 25日 特定業務及び特殊健康診断 30日 職員健康診断結果個人通知 事後措置 開始
10月	4・5日 第61回全国大学保健管理研究 集会（石川） 14日 ディスカバリー入試救護班 21日 ホームカミングデイ救護班 26日 津島地区総合防災訓練	10・11日 留学生及び後期入学者健康診断 16～18日 HPVワクチン接種（大学病院トリアージ室） 23・25・27・30日 インフルエンザワクチン接種 24・26日 インフルエンザワクチン接種（医・菌）	
11月	3～5日 大学祭（津島祭）	2・7日 インフルエンザワクチン接種（医・菌） 1・10・13・16・17・24・27日 16日 後期入学者健康診断結果Web閲覧開始	インフルエンザワクチン接種 21日 職員追加健康診断予約・web 問診開始 22～30日 ストレスチェック結果閲覧 期間
12月	2日 国際バカロレア・社会人・推 薦入試救護班	1～25日 インフルエンザワクチン接種 12・15日 B型肝炎ワクチン接種（医・菌）3回目 13日 B型肝炎ワクチン接種（薬）3回目 8・11日 第2回放射線業務従事者等健診 25日 冬季休業 始	5日 職員追加健康診断（鹿田地 区以外）
1月	13・14日 大学入学共通テスト救護班 20・21日 AO・推薦入試救護班	5日 冬季休業 終 5～31日 鹿田地区放射線業務従事者健康診断 Moodle 17日 B型肝炎抗体検査（医・菌） 18日 B型肝炎抗体検査（薬） 22～24日 HPVワクチン接種（大学病院トリアージ室）	7日 職員追加健康診断結果個人 通知 事後 措置開始
2月	3日 AO・推薦入試救護班 25・26日 前期日程入試救護班	8日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診 察 15日 保健管理センター講演会（メンタル・フィジカル） 15日 春季休業 始 28日～3/22 免許申請用診断書作成	12日 D・E判定者通知（健康診断 事後措置） 19日 特定業務及び特殊健康診断
3月	14・15日 第25回フィジカルヘルスフォー ラム（北海道） 25日 学位記等授与式救護班	31日 春季休業 終	23日 給食業務従事者健康診断

2024（令和6）年度

毎日の一般外来AM8:30～PM5:00などの日常業務は除く

	一般行事など	学 生	職 員
4月	1日 保健学科オリエンテーション 2日 入学式 医学部オリエンテーション	3日 新入生・在学生定期健康診断予約開始 3～6日 新入生定期健康診断 3・4日 新入生定期健康診断（血液検査対象者） 10日 MR・水痘・ムンプスワクチン接種（予約者） 9～22日 新入生・在学生定期健康診断（津島） 23～26日 在学生定期健康診断（鹿田）	
5月		4/30～17日 在学生定期健康診断（津島） 20日 健康診断書受付開始 27日 追加健康診断予約開始 健康診断書受け取り開始 30日 追加健康診断	28日 グッドジョブ熱中症講習会
6月	23日 教育と入試説明会救護班	3日 HPVワクチン接種予約開始 10日 HPVワクチン接種開始（津島） 13日 HPVワクチン接種開始（鹿田） 11・12日 第1回放射線業務従事者等健康診断 5・19日 救急法講習会 12・14日 ワンゲル部救急法講習会 24～7/5日 養護教諭養成課程実習 21・25日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）1回目 25日 B型肝炎ワクチン接種（薬）1回目 28日 健康診断結果Web閲覧開始	10日 胃検診（倉敷地区）
7月	1日 センター内防災訓練	1～22日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle 問診 19・23日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）2回目 24日 B型肝炎ワクチン接種（薬）2回目 24・8/2・8/9 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診察	16・22日 子宮がん検診 17日 乳がん検診 22～26日 胃検診（津島地区）
8月	3・4・7～9日 オープンキャンパス救護班 23日 国際バカロレア入試救護班 22・23日 第54回中・四国大学保健管理研究会（鳥取）	7日 夏季休業 始	1日 胃検診（東山・平井地区） 5日 職員健康診断予約・web問診開始 19・20日 職員定期健康診断 26～30日 職員定期健康診断
9月	25日 学位記等授与式	20日 救急法講習会 30日 夏季休業 終	2～30日 ストレスチェック開始 9日 特定業務及び特殊健康診断 30日 職員健康診断結果個人通知 事後措置開始
10月	16・17日 第62回全国大学保健管理研究会（神戸） 12日 ディスカバリー入試救護班 23日 津島地区総合防災訓練	10日 留学生及び後期入学者健康診断予約開始 21・22日 留学生及び後期入学者健康診断 28・30日 インフルエンザワクチン接種（津島地区） 22・24・29日 インフルエンザワクチン接種（医・歯）	18日 ストレスチェック結果閲覧開始
11月	2日 ホームカミングデイ救護班 2～4日 大学祭（津島祭） 30日 国際バカロレア・社会人・推薦入試救護班	1日 インフルエンザワクチン接種（医・歯） 8・11・13・22・25・27・29日 インフルエンザワクチン接種（津島地区） 18・20日 インフルエンザワクチン接種（鹿田地区） 22日 後期入学者健康診断結果Web閲覧開始	インフルエンザワクチン接種（津島地区） インフルエンザワクチン接種（鹿田地区） 28日 職員追加健康診断予約・web問診開始
12月	1日 AO・推薦入試救護班	4日 B型肝炎ワクチン接種（薬）3回目 10・13日 B型肝炎ワクチン接種（医・歯）3回目 25日 冬季休業 始 2・3日 第2回放射線業務従事者等健康診断 9日 インフルエンザワクチン接種（鹿田地区） 4～25日 インフルエンザワクチン接種（津島地区）	12・13日 職員追加健康診断（鹿田地区以外）
1月	18・19日 大学入学共通テスト救護班 25・26日 大学入学共通テスト予備日救護班	4日 冬季休業 終 7日・9日 B型肝炎抗体検査（薬） 15日 B型肝炎抗体検査（医・歯） 6～24日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 Moodle 問診	15日 職員追加健康診断結果個人通知 事後措置開始
2月	1・2日 AO・推薦入試救護班 25・26日 前期日程入試救護班 28日 中国四国保健看護分科会運営会議	6・12日 鹿田地区放射線業務従事者等健康診断 内科診察 11日 春季休業 始 12・13日 保健管理センター講演会（メンタル・フィジカル） 27日 免許申請用診断書作成開始	12日 D・E判定者通知（健康診断事後措置） 特定業務及び特殊健康診断 17日 特定業務及び特殊健康診断
3月	17日 第26回フィジカルヘルスフォーラム（福岡） 25日 学位記等授与式救護班	31日 春季休業 終	3日 特定業務及び特殊健康診断（追加） 24日 給食業務従事者健康診断

## (2) 保健管理センター利用状況

保健管理センターの5年間の利用状況を健康診断・事後措置、健康相談等に分類して下表に示した。

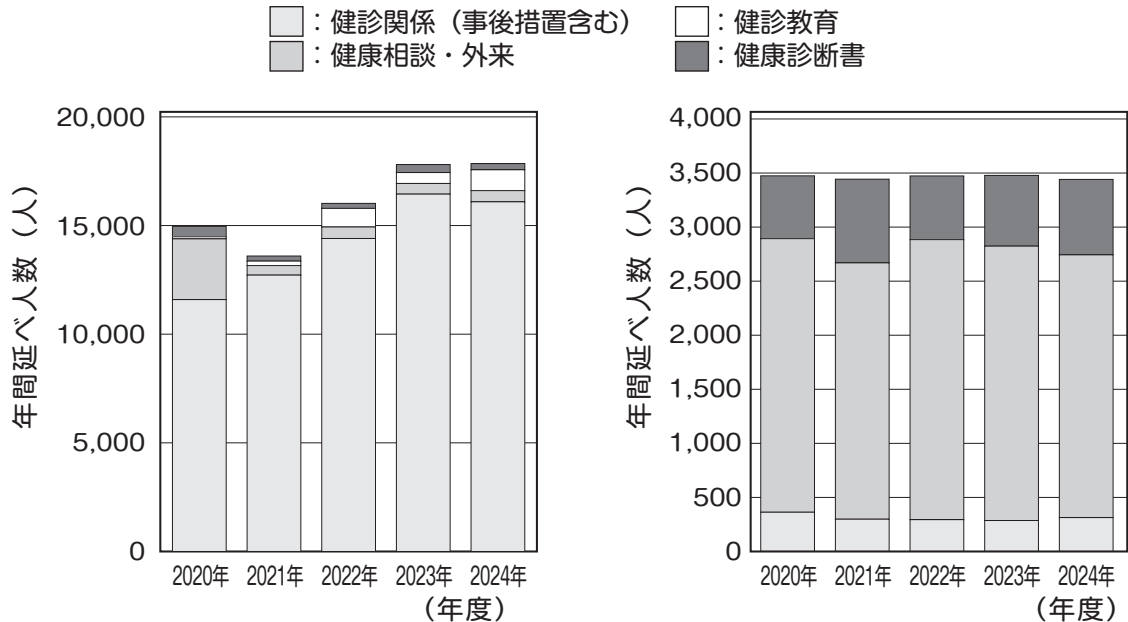
/年度	保健管理センター（津島地区）					保健管理センター鹿田室（鹿田地区）				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
定期健康診断	9,605	9,815	10,290	10,692	10,568	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)
特別健康診断	1,520	1,320	1,311	1,446	1,378	283	281	274	263	278
健診事後措置	462	1,577	2,796	4,300	4,138	78	16	19	22	34
健康相談及び外来	2,793	439	529	490	515	2,517	2,358	2,576	2,524	2,417
健康教育	97	205	855	502	958	0	0	0	0	0
健康診断書 (枚数)	481	235	231	369	288	578	770	586	651	694
	723	554	291	407	530	719	1227	847	937	786
合計(延べ人数)	14,958	13,706	16,012	17,799	17,845	2,941	2,613	3,293	3,249	3,173

\*1 津島で集計

### 保健管理センター利用状況の年次推移 ～2020年度から2024年度～

#### 保健管理センター（津島地区）

#### 保健管理センター鹿田室（鹿田地区）



本学（津島）地区においては年間延べ18,000名程度の学生，職員が保健管理センターを訪れており，一日平均で90名程度の来所者数となる。2020～22年はコロナ禍の影響で健康相談・外来を中心に減少傾向で，2023年には回復したが，コロナ禍以前の前には回復していない。内訳からは健康診断と健康相談及び外来の変動が大きい。健康診断はコロナ禍以前のレベルに回復しつつあるが，健康相談及び外来はコロナ禍後も回復が見られない。一方，健診事後措置は回復しており，さらにコロナ禍以前のレベルを大きく上回っており，受診勧奨の効果と考える。鹿田地区は比較的大きな変化は見られなかった。

## ○日常業務

日常業務としては、午前8時30分から午後5時まで、基本的に休み時間なしで常に外来の窓口を開けている。外来は常勤医・学校医の協力のもとに行われているが、メンタルがコロナ禍で減少した内科を上回っている。また、保健師による保健指導、外傷処置も重要な業務であり、コロナ禍前を上回る回復が見られた。

専門外来として主として岡山大学病院から派遣された医師を中心に、2016年度で終了した眼科以外の6科の診療・相談が出来る体制を維持している。

/年度	保健管理センター（津島地区）					保健管理センター鹿田室（鹿田地区）				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
内 科	667	541	773	889	1,571	487	445	437	223	597
眼 科										
耳 鼻 咽 喉 科	5	1	5	7	4					
歯 科	57	54	57	40	49					
精 神 神 経 科	924	1,605	1,872	2,024	2,052	533	528	706	583	599
皮 膚 科	37	19	26	50	36					
整 形 外 科	37	25	53	48	35					
婦 人 科	22	21	25	26	21					
保 健 指 導	824	1,402	2,236	2,068	0	1,575	1,401	1,461	1,454	1,221
栄 養 指 導	0	0	0	0	2,022					
外 傷 処 置	81	94	174	156	162	44	11	15	15	17
休 養 室 の 利 用	28	41	76	105	164	15	15	11	15	22
医 療 機 関 へ の 紹 介	274	523	851	741	627	111	104	127	94	127
合 計 (延べ人数)	2,654	3,762	5,221	5,308	5,952	2,765	2,385	2,619	2,275	2,434

## ○日常検査件数

当センターの外来で行っている検査（定期健康診断は除く）を項目別に示した。健康診断で異常を指摘された際の事後措置・再検査が中心であるが、外来相談・診療などで必要な場合には、心電図、血液検査、超音波検査などを随時行っている。血液検査（CBC）に関しては、検査機器の維持・精度管理、検査試薬などの費用がかさむこともあり、2019年度より外部委託（外注）に移行している。

2022年度より、InBodyによる体組成測定及び動脈硬化検査（ABI、CAVI）を導入している。職員については健康診断時及び事後措置に際して動脈硬化疾患予防のための「動脈硬化検査」を呼び掛けている。受診者には、動脈硬化検査、体組成測定に加えて頸部血管エコー検査を実施して、動脈硬化の啓発及びリスクの自覚を促し、医療機関の受診に繋げている。InBodyについては、肥満傾向の学生に加えて、運動系の課外活動を行っている学生の利用も増えている。

検査（定期健康診断を除く）

/年度	合 計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
検尿〔沈渣〕☆	1173	0	131	139	179	207	201	166	143	7	0
検 便	0	0	0	0	0	0					
血糖検査〔GTT〕☆	2	0	0	0	0	0			1	1	
血 液 一 般	50	0	34	0	0	0					16
心電図〔負荷〕☆	73	1	27	24	12	9					
体脂肪率(身体計測)	651	0	15	118	169	349					
超 音 波 検 査	151	0	11	62	38	40					
聴 力 検 査	38	4	8	7	8	11					
腹 囲 測 定	7	0	2	5	0	0					
C O 測 定	8	0	0	3	2	0					3
血 液 外 注	885	7	34	38	41	31	60	23	171	331	149
胸 部 X 線 検 査	98	3	32	25	21	17					
ワ ク チ ン 接 種	2168	0	207	85	237	934	70	63	121	171	280
抗 体 検 査	769	0	52	51	17	7	54	15	150	289	134
C A V I	77			39	15	23					

R4（2022）年からInBody導入

R4（2022）年からICAVI導入

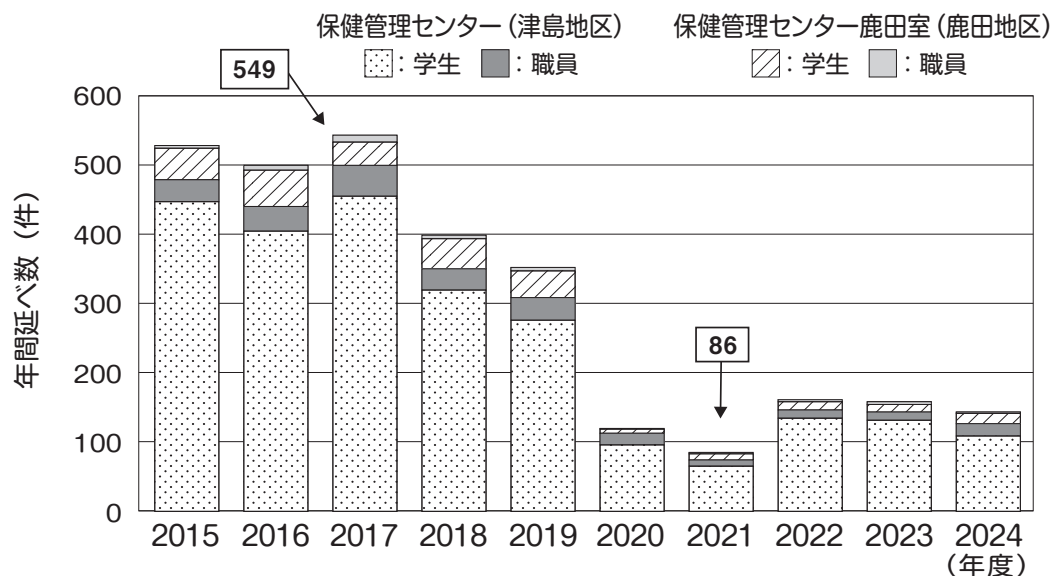
### ○センターに来所した外傷件数とその内訳

当センターに来所して外傷処置を受けた職員・学生の件数とその内訳の推移を示す。外傷件数は前回の5年に続いて全体としてさらに減少している。

職員に比較して学生がほとんどであり、学生では前回の5年間と同様、通学中の受傷が最多となっている。実験・実習中の事故も18%と多く、あらためて注意喚起と指導が必要と考える。職員の受傷の約半数は学内あるいは通勤中に生じているが、その数は学生に比較して少ない。

/年度		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	合計		
							合計	%	
総数 (学生+職員)		114	75	148	145	128	610	100%	
学	学生総数	97	66	136	133	110	542	89%	
	性 別	1.学部生	70	49	95	83	77	374	69%
		2.院生	13	10	19	21	18	81	15%
		3.留学生	14	7	22	29	15	87	16%
	生	性 別	男	50	41	64	69	58	282
女			47	25	72	64	52	260	48%
受傷時何をしていたか		①体育実習中	5	4	7	5	8	29	5%
		②課外活動中	17	3	11	15	7	53	10%
		③実験実習中	18	20	24	20	18	100	18%
		④学内その他	7	4	22	17	20	70	13%
		⑤通学・通勤中	28	20	47	40	37	172	32%
⑥学外	11	6	13	19	13	62	11%		
⑦その他	11	9	12	17	7	56	10%		
職	職員総数	17	9	12	12	18	68	11%	
	性 別	男	8	3	8	7	9	35	51%
		女	9	6	4	5	9	33	49%
	受傷時何をしていたか	①体育実習中	0	0	0	0	0	0	0%
		②課外活動中	0	0	0	0	0	0	0%
		③実験実習中	1	0	0	1	2	4	6%
		④学内その他	10	4	10	7	8	39	57%
⑤通学・通勤中		4	2	1	2	3	12	18%	
⑥学外	1	1	1	0	1	4	6%		
⑦その他	1	2	0	2	4	9	13%		

センターでの外傷処置数の年次推移  
～学生・職員別、地区別10年間の推移～



外傷処置件数は、2008年度以降に導入した湿潤療法など処置方法の変化で再来する必要が少なくなったことなどより、年々減少傾向にあった。その後の減少の理由として労働安全衛生活動・教育活動の成果、2018年度以降は授業時間の変更、2020年以降はコロナ禍などの影響が考えられる。

### (3) 定期健康診断

当センターでは、岡山大学在籍全学生と、労働安全衛生法に従って健康管理を任されている職員（本学津島地区、東山地区、平井地区、倉敷地区）を対象として健康診断を実施し、健康教育や健康の保持・増進に努めている。受診対象者の総数は下表のごとく、2020年度から2024年度まで、ほぼ横ばいであるが、労働安全衛生法による特殊検診がこれに加わり、健康診断業務の拡大に対応する体制の充実は、引き続き保健管理センター業務の重要な課題と考える。

#### ○健康診断受診対象者

学部など／年度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
合計（人数）	13,334	13,438	13,453	13,688	13,850
学部学生（夜間主含む）	9,968	9,953	9,925	9,986	9,995
法・経済Ⅱ部	0	0	0	0	0
大学院	2,457	2,466	2,490	2,535	2,651
別科・特別専攻科	31	29	25	32	27
留学生	878	990	1,013	1,135	1,177
職員*	1,739	1,724	1,748	1,733	1,746

\*職員：岡山大学津島地区、東山地区、平井地区、倉敷地区の職員（非常勤を含む）

#### ①学生健康診断

以下に昼間部学部新生生の入学時健康診断内容・結果について年度別に示す。

#### 身体組成測定に関して

身体組成の測定として、身長・体重を測定している。この5年間で、身長、体重、BMIに関して男性において著しい変化は見られないが、女性においては2021年度と2022年度にBMIが低下し、2023年度以降2020年度と同程度に戻っている。BMIによる体型の判定では、男女とも2021年度に痩せすぎが多くなっていた。これらの変化は新型コロナ感染症流行に伴う生活変化によるものの可能性も考えられる。

#### ○新生（学部学生）の身長、体重、BMIの年次推移

年度	男				女			
	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	BMI	人数	身長 (cm)	体重 (kg)	BMI
2020年	1,145	170.6	61.4	21.1	907	157.8	51.4	20.6
平均±SD		±5.7	±9.7	±3.0		±5.4	±7.3	±2.6
2021年	1,225	171.1	61.5	21.0	962	157.6	50.5	20.3
平均±SD		±5.8	±9.9	±3.1		±5.3	±7.1	±2.6
2022年	1,250	170.8	61.3	21.0	962	157.8	50.7	20.3
平均±SD		±5.7	±9.5	±3.0		±5.1	±6.8	±2.5
2023年	1,236	170.4	61.5	21.1	1001	157.4	50.9	20.5
平均±SD		±5.6	±9.8	±3.0		±5.2	±6.7	±2.4
2024年	1,205	170.1	61.8	21.4	1042	157.6	51.5	20.7
平均±SD		±5.5	±10.0	±3.2		±5.3	±7.0	±2.5

平均値±標準偏差

## ○新入生（学部学生）のBMI判定による体型の分類

年度	男						女					
	体 型 BMI	やせすぎ ～ 16.9	やせぎみ 17～18.9	ふつう 19～22.9	ふとりぎみ 23～24.9	肥満 25～	体 型 BMI	やせすぎ ～ 16.9	やせぎみ 17～18.9	ふつう 19～22.9	ふとりぎみ 23～24.9	肥満 25～
2020年 頻度 (%)	1,145	46 4.0	227 19.8	629 54.9	131 11.4	112 9.8	907	35 3.9	208 22.9	522 57.6	92 10.1	50 5.5
2021年 頻度 (%)	1,225	70 5.7	229 18.7	666 54.4	140 11.4	120 9.8	962	52 5.4	248 25.8	532 55.3	77 8.0	53 4.4
2022年 頻度 (%)	1,250	52 4.2	260 20.8	674 53.9	162 13.0	102 8.2	962	51 5.3	230 23.9	558 58.0	81 8.4	42 4.4
2023年 頻度 (%)	1,236	55 4.5	221 17.9	681 55.1	158 12.8	121 9.8	1001	39 3.9	213 21.3	606 60.5	100 10.0	43 4.3
2024年 頻度 (%)	1,205	28 2.3	219 18.2	673 55.9	151 12.5	134 11.1	1042	44 4.2	207 19.9	624 59.9	108 10.4	59 5.7

## 血圧に関して

2020年度と2021年度は新型コロナウイルス感染症対策として、血圧測定を省略した。一次検診では自動血圧計を用いて血圧測定を行い、収縮期血圧140mmHg以上かつ/または拡張期血圧90mmHg以上を二次検診対象者とした。一次検診で高血圧と判定された者は2015年度から2019年度の5年間(4.6%)と比較して、全体で2.2%と低くなっている。いずれも健診時の白衣高血圧がかなりの頻度を占め、自動血圧計と手動血圧計を併用して測定する二次検診において最終的に高血圧と判断されたものは、この5年間の平均で0.4%であり、前回(1.0%)と比較して低くなっていた。2次検診で高血圧と判定された学生に対しては、生活指導及び継続的な血圧測定により経過観察し、問題があると考えられる場合は病院を紹介した。

## ○学生健診における血圧測定のまとめ（5年間の集計）

対象者/学部など	合 計	昼間部学部	大学院	夜間主 (Ⅱ部含む)	留学生
対象者	37,560	29,059	7,679	822	3,479
受検者数	26,041	22,025	3,571	445	1,728
受検率	69.3%	75.8%	46.5%	54.1%	49.7%
一次検診					
140 and/or 90以上	566	440	113	13	65
受検者中の頻度	2.2%	2.0%	3.2%	2.9%	3.8%
二次検診受検者	525	411	108	6	53
二次検診受検率	92.8%	93.4%	95.6%	46.2%	81.5%
高血圧	103	77	25	1	22
受検者中の頻度	0.4%	0.3%	0.7%	0.2%	1.3%

## ○年度別血圧測定まとめ

年度別血圧測定のまとめ（夜間主コース含む・秋期健診含む）

対象者/年度	新入生						在学生					
	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者	6,781			2,267	2,290	2,224	22,278			7,388	7,388	7,502
受検者数	6,711			2,251	2,257	2,203	15,314			4,958	5,141	5,215
受検率 [%]	99.0%			99.3%	98.6%	99.1%	68.7%			67.1%	69.6%	69.5%
一次検診												
140and/or90以上	106			29	52	25	334			76	140	118
受検者中の頻度 [%]	1.6%			1.3%	2.3%	1.1%	2.2%			1.5%	2.7%	2.3%
二次検診受検者	95			24	48	23	316			68	135	113
二次検診受検率 [%]	89.6%			82.8%	92.3%	92.0%	94.6%			89.5%	96.4%	95.8%
高血圧	24			6	13	5	53			17	22	14
受検者中の頻度 [%]	0.4%			0.3%	0.6%	0.2%	0.3%			0.3%	0.4%	0.3%

一次検診：自動血圧計

二次検診：手動血圧計

年度別血圧測定のみとめ

対象者/年度	大学院					夜間主					留学生							
	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者	7,679			2,490	2,540	2,649	822			273	278	271	3,479			1,009	1,292	1,178
受検者数	3,571			1,104	1,215	1,252	445			165	152	128	1,728			538	663	527
一次検診	[%] 46.5%			44.3%	47.8%	47.3%	54.1%			60.4%	54.7%	47.2%	49.7%			53.3%	51.3%	44.7%
140and/or90以上	113			24	47	42	13			5	1	7	65			22	25	18
[%]	3.2%			2.2%	3.9%	3.4%	2.9%			3.0%	0.7%	5.5%	3.8%			4.1%	3.8%	3.4%
二次検診受検者	108			23	45	40	6			4	1	1	53			15	23	15
[%]	95.6%			95.8%	95.7%	95.2%	46.2%			80.0%	100.0%	14.3%	81.5%			68.2%	92.0%	83.3%
高血圧	25			7	12	6	1			1	0	0	22			5	8	9
[%]	0.7%			0.6%	1.0%	0.5%	0.2%			0.6%	0.0%	0.0%	1.3%			0.9%	1.2%	1.7%

一次検診：自動血圧計

二次検診：手動血圧計

尿検査について

尿検査に関しては、新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度～2023年度は自宅等での採尿の持参とした。2024年度からは新入生は早朝尿、在生は随時尿を用い、試験紙法により蛋白、潜血、糖を判定し、いずれも1+以上を異常（陽性）者として呼び出して二次検診を行っている。二次検尿は蛋白、潜血に関しては早朝尿、来所持尿について尿沈渣を含めて当センターで再検し、必要と認められた場合には腎臓専門病院に紹介し、尿糖に関しては、既往や家族歴などを問診の上、原則として当センターにて随時血糖とHbA1cを測定している。

5年間の平均で、尿蛋白陽性者は1.1%、尿潜血陽性者は1.6%、両者陽性が0.1%程度に認められる。尿蛋白陽性者は、2010年～2014年度の平均2.0%から減少している。二次検尿では大多数の学生が運動性の蛋白尿あるいは血尿（血色素尿）と診断される。再検時の検尿異常者は、精査のため病院を紹介しているが、二次検尿の受検率は新入生16.7%、在生19.3%と低下し、受験者中の異常者の頻度（新入生3.8%、在生4.3%）は、過去5年（新入生9.7%、在生10.8%）に比較して低下している。

○尿蛋白・潜血

潜血・蛋白のみとめ（2020年～2024年の集計）

対象者/学部など	合計	昼間部	大学院	留学生
対象者	67,637	50,641	15,643	1,353
受検者数	44,553	36,468	7,493	592
受検率 [%]	65.9%	72.0%	47.9%	43.8%
一次検尿				
異常者合計	1,279	957	202	120
受検者中の頻度 [%]	2.9%	2.6%	2.7%	20.3%
蛋白のみ陽性	495	404	67	24
受検者中の頻度 [%]	1.1%	1.1%	0.9%	4.1%
潜血のみ陽性	718	510	117	91
受検者中の頻度 [%]	1.6%	1.4%	1.6%	15.4%
両者陽性	66	43	18	5
受検者中の頻度 [%]	0.1%	0.1%	0.2%	0.8%

## ○尿蛋白・潜血陽性者の年次推移

年度別検尿検査（潜血・蛋白）のまとめ（昼間部学部学生）夜間主を除く

対象者/年度	新 入 生						在 学 生					
	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者数	11,475	2,281	2,282	2,278	2,312	2,322	39,166	7,838	7,847	7,809	7,832	7,840
受検者数	11,367	2,255	2,244	2,269	2,295	2,304	25,101	4,499	4,724	5,181	5,366	5,331
受検率 [%]	99.1%	98.9%	98.3%	99.6%	99.3%	99.2%	64.1%	57.4%	60.2%	66.3%	68.5%	68.0%
一次検尿												
異常者数合計	287	57	62	61	50	57	670	115	119	96	95	245
受検者中の頻度 [%]	2.5%	2.5%	2.8%	2.7%	2.2%	2.5%	2.7%	2.6%	2.5%	1.9%	1.8%	4.6%
蛋白のみ陽性者数	152	33	32	36	23	28	252	56	63	22	38	73
潜血のみ陽性者数	123	21	27	25	24	26	387	54	54	66	53	160
両者陽性者数	12	3	3	0	3	3	31	5	2	8	4	12
二次検尿												
二次検尿受検者数	48	21	13	5	2	7	129	49	19	13	14	34
二次検尿受検者率 [%]	16.7%	36.8%	21.0%	8.2%	4.0%	12.3%	19.3%	42.6%	16.0%	13.5%	14.7%	13.9%
二次異常者合計	11	3	1	4	1	2	29	10	4	7	5	3
受検者中の頻度 [%]	3.8%	5.3%	1.6%	6.6%	2.0%	3.5%	4.3%	8.7%	3.4%	7.3%	5.3%	1.2%
蛋白のみ陽性者数	1	1	0	0	0	0	10	4	0	2	2	2
潜血のみ陽性者数	5	2	1	2	0	0	16	6	4	3	2	1
両者陽性者数	5	0	0	2	1	2	3	0	0	2	1	0

[%]\*：受検者に対する割合

一次検尿：新入生は早朝尿、在校生は随時尿

[%]\*\*：一次検尿異常者に対する割合

## ○尿糖

5年間の平均尿糖陽性者は0.3%であり、2015～2019年度の平均0.5%から低下が見られる。尿糖陽性者については空腹時血糖およびHbA1cを測定しており、その結果では大多数が正常であり腎性尿糖の可能性が高い。耐糖能異常あるいは糖尿病型を示す学生もわずかながら認められる。これらの学生に関しては、病院に紹介することを原則としている。また、表にはないが、1型糖尿病の学生も少数ではあるが入学してきており、これらの学生に対しては病状照会および指導を行うのみとして、当センターでは精密検査は行っていない。

尿糖のまとめ（2020年～2024年の集計）

対象者/学部など	合計	昼間部	大学院	留学生
対象者	67,637	50,641	15,643	1,353
受検者数	44,553	36,468	7,493	592
受検率 [%]	65.9%	72.0%	47.9%	43.8%
一次検尿				
尿糖陽性者数	140	103	18	19
受検者中の頻度 [%]	0.3%	0.3%	0.2%	3.2%

対象者/学部など	合計	昼間部	大学院	夜間主 (Ⅱ部含む)	留学生
対象者	63,679	49,056	13,235	1,388	4,692
受検者数	42,131	35,233	6,192	706	3,413
受検率 [%]	66.2%	71.8%	46.8%	50.9%	72.7%
一次検尿					
尿糖陽性者数	209	108	55	46	25
受検者中の頻度 [%]	0.5%	0.3%	0.9%	6.5%	0.7%

## 血液検査に関して

血液検査は、2015年度までは新入生（留学生の場合は初回健康診断時）に対して施行していたが、学校保健法では健康診断の項目として血液検査が必須ではないこと、採血時に迷走神経反射を起こして意識消失、転倒が頻発したことから、2016年度からは新入生全員に対する血液検査は行っていない。現在

は、大学病院実習に際して感染症情報の提出が必要とされている医歯薬学系新生に対して、B型肝炎、結核の感染症検査に限定して採血検査を行っている。

### ○血液検査項目と正常値・事後措置→2015年が血液検査最終それ以降実施なし

#### 胸部X線検査に関して

胸部レントゲン検査は学校保健安全法に基づき、新生は全員に、在學生に関しては希望者に行う事を原則としている。ただ、在學生の胸部レントゲン撮影は、現実的には健診受診者のほぼ全員が検査を受けている。デジタル撮影装置を用いて直接撮影を、妊娠、最近のレントゲン検査施行者などを除いて行い、結果は放射線科と保健管理センター内科医師でダブルチェックを行い判定した。

結核はこの5年間は認めなかった。自然気胸は5年間で9例見られた。胸部腫瘍では縦隔腫瘍が多いが良性の者がほとんどである。

肺以外の疾患として心肥大や椎骨側弯なども積極的にチェックしており、肥満や心電図異常との関連を含めて指導あるいは治療に生かすよう努めている。

#### ○胸部X線異常者の頻度

年度別胸部X線検査のまとめ（夜間コース含む・秋期健診含む）

対象者/年度	新生						在學生（留學生含む）					
	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者数	11,475	2,281	2,282	2,278	2,312	2,322	39,166	7,838	7,847	7,809	7,832	7,840
受検者数	11,367	2,255	2,244	2,269	2,295	2,304	25,101	4,499	4,724	5,181	5,366	5,331
受検率 [%]	99.1%	98.9%	98.3%	99.6%	99.3%	99.2%	64.1%	57.4%	60.2%	66.3%	68.5%	68.0%
一次検診 有所見者数	819	213	173	135	143	155	2207	552	418	421	432	384
受検者中の頻度 [%]	7.2%	9.4%	7.7%	5.9%	6.2%	6.7%	8.8%	12.3%	8.8%	8.1%	8.1%	7.2%
要精密検査者数	45	13	8	4	13	7	41	11	9	8	7	6
内数（肺）	(29)	(10)	(6)	(1)	(9)	(3)	(31)	(9)	(8)	(5)	(6)	(3)
内数（肺以外）	(16)	(3)	(2)	(3)	(4)	(4)	(10)	(2)	(1)	(3)	(1)	(3)
内数（問診）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
結核：未知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
：既知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然気胸	9	3	2	0	2	2	9	0	1	1	5	2
良性腫瘍	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
急性肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[%]\*：受検者に対する割合

#### 心電図検査の年次推移

##### ○心電図有所見者の頻度

##### 新生（夜間主コース新生を含む）

心電図検査は、問診にて過去に心疾患、心雑音、心電図異常を指摘されたものや診察にて医師が必要と判断した者に対して施行し、循環器専門医の判定を基に有所見者・要精密検査者を決定して事後措置を行っている。2020年度～2022年度にかけては新型コロナ感染症対策として検査数を制限したが、2023年度からは通常体制に戻っている。緊張に伴う頻脈などの例では当センターで再検を行う場合もあるが、基本的には循環器専門病院に紹介している。

留學生除く 在學生（夜間主・新生を含む）における心電図検査のまとめ

対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	536	1	99	110	140	186
有所見者数	291	1	56	55	83	96
受検者中の頻度	54.3%	100.0%	56.6%	50.0%	59.3%	51.6%
要精検数	43	0	2	15	11	15
受検者中の頻度		0.0%	2.0%	13.6%	7.9%	8.1%

H24年度より新生全員受検ではなくなり既往あり、自覚症状ありなどのみとなる。

## ②職員健康診断

本学津島地区、東山地区、平井地区、倉敷地区の職員健康診断の受診率を、定期健康診断と人間ドックに分け、年度別に示した。2004年度の大学法人化以降、全体の受診率が向上しており、コロナ禍においても受診率の低下は見られなかった。例年7割程度が当センターで行う健康診断を受診しており、人間ドックによる健康診断受診は20～25%程度で推移している。2020年～2024年度は当センターで健康診断を受診する者が62～70%程度、人間ドックで健康診断を受診する者が20～30%であり、コロナ禍には当センターでの健康診断を受けるものが多かった。

### ○受診率

対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
健診受診率*[%]	91.3	91.3	91.9	89.4	91.3	92.1
受診者/対象者	7924 / 8690	1587 / 1739	1584 / 1724	1563 / 1748	1582 / 1733	1608 / 1746
男	89.6 4775 / 5330	88.5 950 / 1074	90.5 959 / 1060	87.9 941 / 1071	90.2 951 / 1054	90.9 974 / 1071
女	93.7 3149 / 3360	95.8 637 / 665	94.1 625 / 664	91.9 622 / 677	92.9 631 / 679	93.9 634 / 675
職員健診受診率[%]	64.8	68.5	67.9	62.5	62.7	62.4
受診者/対象者	5630 / 8690	1191 / 1739	1171 / 1724	1092 / 1748	1086 / 1733	1090 / 1746
男	63.5 3383 / 5330	64.5 693 / 1074	66.1 701 / 1060	61.2 655 / 1071	62.7 661 / 1054	62.8 673 / 1071
女	66.8 2246 / 3360	74.7 497 / 665	70.8 470 / 664	64.5 437 / 677	62.6 425 / 679	61.8 417 / 675
人間ドック受診率[%]	26.4	22.8	24.0	26.9	28.6	29.7
受診者/対象者	2295 / 8690	397 / 1739	413 / 1724	471 / 1748	496 / 1733	518 / 1746
男	26.1 1392 / 5330	23.9 257 / 1074	24.3 258 / 1060	26.7 286 / 1071	27.5 290 / 1054	28.1 301 / 1071
女	26.9 903 / 3360	21.1 140 / 665	23.3 155 / 664	27.3 185 / 677	30.3 206 / 679	32.1 217 / 675

\*：健康診断（職員健診または人間ドックのいずれかもしくは両方受診）を受診した割合

### 職員の身体組成測定に関して

この5年間で、職員の平均BMIには男女とも大きな変化はないが、2010年度からの過去10年の経過では、男女とも増加の傾向がみられる。

## ○身体組成の年次推移

対象者/年度	人数	平均BMI	低体重		ふつう		肥満		
			≤17.5	17.6～18.4	18.5～19.9	20.0～24.9	25.0～26.4	26.5≤	
男	全体(人数)	4759	91	116	352	2659	584	957	
	[%]		[1.9%]	[2.4%]	[7.4%]	[55.9%]	[12.3%]	[20.1%]	
	2020年	947	23.9	15	24	63	535	121	189
	[%]		[1.6%]	[2.5%]	[6.7%]	[56.5%]	[12.8%]	[20.0%]	
	2021年	956	24.0	18	24	60	534	122	198
	[%]		[1.9%]	[2.5%]	[6.3%]	[55.9%]	[12.8%]	[20.7%]	
	2022年	938	23.7	18	25	78	521	105	191
[%]		[1.9%]	[2.7%]	[8.3%]	[55.5%]	[11.2%]	[20.4%]		
2023年	948	23.7	21	19	77	531	122	178	
[%]		[2.2%]	[2.0%]	[8.1%]	[56.0%]	[12.9%]	[18.8%]		
2024年	970	23.9	19	24	74	538	114	201	
[%]		[2.0%]	[2.5%]	[7.6%]	[55.5%]	[11.8%]	[20.7%]		
女	全体(人数)	3142		277	270	561	1555	179	300
	[%]			[8.8%]	[8.6%]	[17.9%]	[49.5%]	[5.7%]	[9.5%]
	2020年	637	21.7	53	50	109	326	37	62
	[%]			[8.3%]	[7.8%]	[17.1%]	[51.2%]	[5.8%]	[9.7%]
	2021年	625	21.7	56	50	109	320	33	57
	[%]			[8.8%]	[7.8%]	[17.1%]	[50.2%]	[5.2%]	[8.9%]
	2022年	620	21.7	61	54	109	307	34	55
[%]			[9.6%]	[8.5%]	[17.1%]	[48.2%]	[5.3%]	8.6%	
2023年	629	21.7	53	59	123	296	37	61	
[%]			[8.3%]	[9.3%]	[19.3%]	[46.5%]	[5.8%]	[9.6%]	
2024年	631	21.8	54	57	111	306	38	65	
[%]			[8.5%]	[8.9%]	[17.4%]	[48.0%]	[6.0%]	[10.2%]	

## 職員の血圧に関して

職員において高血圧（収縮期血圧140mmHg以上かつ／または拡張期血圧90mmHg以上）と判定された男性は11.4%，女性は4.7%であった。男性においてはここ5年では一定の傾向を認めない。女性においては2023年度以降は頻度が増加している。2015～2019年度と比較し，高血圧と診断される頻度に著明な変化は認めない。

## ○血圧検査（高血圧）の年次推移

対象者/年度		全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男	受検者数	4,771	949	959	940	950	973
	140 and/or 90以上	543	122	79	121	114	107
	受検者に対する率[%]	11.4%	12.9%	8.2%	12.9%	12.0%	11.0%
女	受検者数	3,146	636	624	621	631	634
	140 and/or 90以上	148	30	19	27	39	33
	受検者に対する率[%]	4.7%	4.7%	3.0%	4.3%	6.2%	5.2%

## 職員の尿検査に関して

尿検査では蛋白，潜血の陽性者が9%程度に認められている。原則として再検を指示し，センターで尿沈渣を含めた早朝尿，来所時尿（2回検尿）の検査を指示している。尿糖陽性者に関しては，血液検査のHbA1cも参考に，糖尿病の可能性のある者には来所を指示し，病院受診の上，精査を原則としている。

## ○尿検査の年次推移

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	8,116	1,706	1,684	1,552	1,573	1,601
尿蛋白・潜血 異常者計	714	160	149	130	142	133
受検者に対する率 [%]	8.8%	9.4%	8.8%	8.4%	9.0%	8.3%
蛋白のみ陽性	107	28	23	12	23	21
受検者に対する率 [%]		1.6%	1.4%	0.8%	1.5%	1.3%
潜血のみ陽性	576	124	120	112	113	107
受検者に対する率 [%]	7.1%	7.3%	7.1%	7.2%	7.2%	6.7%
両者陽性	31	8	6	6	6	5
受検者に対する率 [%]	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%
尿糖陽性	164	27	23	29	38	47
受検者に対する率 [%]	2.0%	1.6%	1.4%	1.9%	2.4%	2.9%

## 職員の血液検査に関して

血液検査は労働安全衛生法の健診項目に準じて行っている。下表に受検者数を示す。

## ○血液検査受検者の年次推移

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	6,969	1,356	1,364	1,371	1,413	1,465
男	4,284	834	850	841	864	895
女	2,685	522	514	530	549	570

以下、当センターで行った血液検査結果（人間ドックの結果は除く）の経年的な推移を、異常値の出現頻度を中心に検査項目毎に示す。

## ○血清ALT (GPT) 値

高ALT血症の頻度は2020年度と2021年度に上昇を認めた。高ALT血症は女性の平均3.2%に比較して男性では14.6%と圧倒的に男性に高頻度で認められ、身体組成の項目で示したように、男性で肥満者が多いことも関係があると考えられる。また2021年～2022年度は男性で12.9%、女性で2.7%と、男女とも高ALT血症の頻度が増加している。ALT値の基準値については脂肪肝などの拾い上げの観点から、より低値に設定することが提唱されており、今後の検討課題ではあるが、異常高値と判断される頻度が大幅に増加する可能性がある。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	714	165	149	134	127	139
全体高値者数 [%]	10.2%	12.2%	10.9%	9.8%	9.0%	9.5%
男	627	141	135	119	111	121
受検者に対する率 [%]	14.6%	16.9%	15.9%	14.1%	12.8%	13.5%
女	87	24	14	15	16	18
受検者に対する率 [%]	3.2%	4.6%	2.7%	2.8%	2.9%	3.2%

ALT値異常：≥43 U/L

## ○血清γ-GT (γ-GTP) 値

γ-GTPの高値を認める者は2020年度と2021年度に上昇を認めた。5年間では男性19.3%、女性4.7%であり、2015年～2019年度の男性18.1%、女性3.4%と比較すると、γ-GTP高値を認める者が増加している。アルコール性肝障害の側面については、問診時の飲酒歴などとあわせて健診時、事後措置の際に指導を行っている。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	952	214	180	198	174	186
[%]	13.7%	15.8%	13.2%	14.4%	12.3%	12.7%
男	827	179	159	176	154	159
受検者に対する率 [%]	19.3%	21.5%	18.7%	20.9%	17.8%	17.8%
女	125	35	21	22	20	27
受検者に対する率 [%]	4.7%	6.7%	4.1%	4.2%	3.6%	4.7%

γ-GT値異常：≥61 U/L

### ○血清LDLコレステロール（LDL-C）値

血清LDL-C値は120mg/dl以上を高値とし、男性の57.0%、女性の51.7%であった。2020年度は男女とも高値の傾向であった。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	3831	816	759	739	758	759
[%]	89.4%	60.2%	55.6%	53.9%	53.6%	51.8%
男 平均値	127.1	130.7	126.9	125.6	126.7	125.4
高値者数	2442	522	489	468	487	476
受検者に対する率 [%]	57.0%	62.6%	57.5%	55.6%	56.4%	53.2%
女 平均値	122.2	125.6	122.5	122.0	120.0	120.9
高値者数	1389	294	270	271	271	283
受検者に対する率 [%]	51.7%	56.3%	52.5%	51.1%	49.4%	49.6%

高コレステロール血症：≥120 mg/dl

### ○血清HDLコレステロール（HDL-C）値

血清HDL-Cに関しては、経年的には一定の傾向は認めない。男女比較では男性で平均値が低く、女性より高頻度に低HDL-C血症を認める。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体低値者数	409	80	68	81	92	88
[%]	5.9%	5.9%	5.0%	5.9%	6.5%	6.0%
男 平均値	58.2	57.9	58.4	58.3	58.5	58.1
低値者数	374	72	64	71	85	82
受検者に対する率 [%]	8.7%	8.6%	7.5%	8.4%	9.8%	9.2%
女 平均値	69.9	69.6	70.2	69.4	70.4	69.9
低値者数	35	8	4	10	7	6
受検者に対する率 [%]	1.3%	1.5%	0.8%	1.9%	1.3%	1.1%

低HDLコレステロール血症：<41 mg/dl

### ○血清中性脂肪（TG）値

高TG血症を呈する者は、女性と比較して男性が多い。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	1196	256	217	244	249	230
[%]	17.2%	18.9%	15.9%	17.8%	17.6%	15.7%
男	1003	211	184	206	209	193
受検者に対する率 [%]	23.4%	25.3%	21.6%	24.5%	24.2%	21.6%
女	193	45	33	38	40	37
受検者に対する率 [%]	7.2%	8.6%	6.4%	7.2%	7.3%	6.5%

中性脂肪高値：≥151 mg/dl

### ○血清ヘモグロビンA1c (HbA1c: NGSP) 値

血中HbA1c高値は、経年的には一定の傾向を認めない。高値者には治療中の者を含むが、未治療の職員には病院受診を指示している。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	378	76	73	69	73	87
[%]	5.4%	5.6%	5.4%	5.0%	5.2%	5.9%
男	308	63	60	53	59	73
受検者に対する率 [%]	7.2%	7.6%	7.1%	6.3%	6.8%	8.2%
女	70	13	13	16	14	14
受検者に対する率 [%]	2.6%	2.5%	2.5%	3.0%	2.6%	2.5%

HbA1c高値… ≥6.3%

### ○血清尿酸値 (男性のみ)

血清尿酸値は男性のみに行い、7.1mg/dl以上を高尿酸血症としている。経年的変化では年度により異なり一定の傾向は認めない。高尿酸血症は平均でも20.2%と高率であり、肥満との関連も考えられる。痛風、腎障害(痛風腎)、尿路結石の予防の観点から、高値者は呼びだして栄養指導、必要な場合には病院紹介としている。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男	867	179	175	185	174	154
受検者に対する率 [%]	20.2%	21.5%	20.6%	22.0%	20.1%	17.2%

高尿酸血症：≥7.1 mg/dl

### ○貧血検査 (血中ヘモグロビン値)

貧血を呈する職員はここ5年間で一定の傾向は認めない。男女で比較すると女性で高頻度である。貧血を認める者は、呼びだしの上、経時的な変化を考慮し、必要と認めた場合には精査加療としている。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全体高値者数	430	70	80	79	106	95
[%]	6.2%	5.2%	5.9%	5.8%	7.5%	6.5%
男	207	34	34	40	48	51
受検者に対する率 [%]	4.8%	4.1%	4.0%	4.8%	5.6%	5.7%
女	223	36	46	39	58	44
受検者に対する率 [%]	8.3%	6.9%	8.9%	7.4%	10.6%	7.7%

貧血：男<13.5 g/dl, 女<11.5 g/dl

### 職員の胸部レントゲン検査に関して

胸部レントゲン検査は放射線科医師と保健管理センター内科のダブルチェック体制で読影を行い異常者の発見に努めている。精密検査を必要とする率は0.9%程度認め、2015年度～2020年度と比較し、低下している。異常所見を認めた場合には前回との比較を行い、問題がある例に関しては呼吸器専門医へ紹介している。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者数	8,690	1,739	1,724	1,748	1,733	1,746
受検者数	7,840	1,563	1,565	1,547	1,567	1,598
受検率 [%]	90.2%	89.9%	90.8%	88.5%	90.4%	91.5%
有所見者数	1084	200	246	213	215	210
受検者に対する率 [%]	13.8%	12.8%	15.7%	13.8%	13.7%	13.1%
要経過観察	69	16	15	9	13	16
受検者に対する率 [%]	0.9%	1.0%	1.0%	0.6%	0.8%	1.0%
要精密検査	73	11	12	15	18	17
受検者に対する率 [%]	0.9%	0.7%	0.8%	1.0%	1.1%	1.1%
要医療・治療中	15	0	1	2	4	8
受検者に対する率 [%]	21.7%	0.0%	6.7%	22.2%	30.8%	50.0%

### 職員の心電図検査結果に関して

心電図の受診対象者は2020年度から35歳及び40歳以上としている。循環器科専門医により、下記の4分類に判定を行っている。心電図有所見者はこの5年間で21.4%に認められた。要医療に分類された職員は呼び出しの上、治療中でない者に対しては循環器専門病院への紹介を行っている。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	6,487	1,278	1,290	1,279	1,301	1,339
有所見者数	1,308	380	369	398	395	403
有所見率 [%]	20.2%	29.7%	28.6%	31.1%	30.4%	30.1%
要再検・要精検	280	55	67	64	49	45
受検者に対する率 [%]	21.4%	14.5%	18.2%	16.1%	12.4%	11.2%
要医療・治療中	23	5	5	2	4	7
受検者に対する率 [%]	1.8%	1.3%	1.4%	0.5%	1.0%	1.7%

対象者：35歳以上

### 職員の大腸がん検査（便潜血検査）に関して

40歳以上に対して便潜血検査（ヒトヘモグロビン1回法）を行っている。健診当日に採便容器をお渡しし、後日提出としており、この5年間の受験率は56.2%となっている。陽性率は5年間の平均で4.1%であり、前回の5年間3.7%より上昇している。陽性者は呼びだして病院における精密検査を指示している。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
対象者数	8,690	1,739	1,724	1,748	1,733	1,746
受検者数	4,880	950	971	975	991	993
受検率 [%]	56.2%	54.6%	56.3%	55.8%	57.2%	56.9%
陽性者数	199	40	38	37	45	39
受検者に対する率 [%]	4.1%	4.2%	3.9%	3.8%	4.5%	3.9%

対象者：40歳以上

### 職員の喀痰検査に関して

喀痰検査は40歳以上で喫煙指数600以上の者、あるいは自覚症状のある希望者に保健師・医師から検査を進めているが、受験者は非常に少数となっている。ここ20年間でClass III以上の有所見者は認めていない。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	6	4	1	0	0	1
Class-I	2	0	1	0	0	1
受検者に対する率 [%]	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
Class-II	4	4	0	0	0	0
受検者に対する率 [%]	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Class-III	0	0	0	0	0	0
受検者に対する率 [%]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 職員の内科所見に関して

内科診察では、既往歴、現在の症状、現在までの健診結果などから総合的に判断して有所見者を拾い出すよう努めている。コロナ禍以降聴診や頸部所見などの身体診察は必要と思われる者を実施している。

対象者/年度	全体	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	7,887	1,584	1,574	1,556	1,575	1,598
有所見者数	101	14	18	17	30	22
有所見率 [%]	1.3%	0.9%	1.1%	1.1%	1.9%	1.4%
要観察・改善	33	6	7	5	8	7
受検者に対する率 [%]	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%	0.4%
要再検・要精検	11	2	1	4	2	2
受検者に対する率 [%]	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%
要医療・治療中	21	2	3	4	6	6
受検者に対する率 [%]	0.3%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%
軽度異常	36	4	7	4	14	7
受検者に対する率 [%]	0.5%	0.3%	0.4%	0.3%	0.9%	0.4%

## 総合判定

職員健診の結果、最終的な総合判定（本学健康診断受診者）の推移を下記に示す。

判定基準は、A：異常なし、B：軽度異常、C：要指導・観察、D：要再検・精密検査、E：要医療、F：治療中の6段階で内科医が診断し、結果を職員に通知して事後措置に反映させている。

年度判定	2020年			2021年			2022年			2023年			2024年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
受検者数	950	637	計	959	625	計	941	622	計	951	631	計	974	634	計
A	78	86	164	76	105	181	84	88	172	69	76	145	61	65	126
[%]	8.2%	13.5%	10.3%	7.9%	16.8%	11.4%	8.9%	14.1%	11.0%	7.3%	12.0%	9.2%	6.3%	10.3%	7.8%
B	117	104	221	122	109	231	122	111	233	113	109	222	124	118	242
[%]	12.3%	16.5%	13.9%	12.8%	17.3%	14.6%	13.0%	17.8%	14.9%	11.9%	17.3%	14.0%	12.7%	18.6%	15.0%
C	189	142	331	201	134	335	192	134	326	186	117	303	175	126	301
[%]	19.9%	22.5%	20.9%	21.1%	21.2%	21.1%	20.4%	21.5%	20.9%	19.6%	18.5%	19.2%	18.0%	19.9%	18.7%
D	120	106	226	123	99	222	126	95	221	135	124	259	151	116	267
[%]	12.6%	16.8%	14.2%	12.9%	15.7%	14.0%	13.4%	15.3%	14.1%	14.2%	19.7%	16.4%	15.5%	18.3%	16.6%
E	187	96	283	163	73	236	149	76	225	159	88	247	152	81	233
[%]	19.7%	15.2%	17.8%	17.1%	11.6%	14.9%	15.8%	12.2%	14.4%	16.7%	13.9%	15.6%	15.6%	12.8%	14.5%
F	259	103	362	274	105	379	268	118	386	289	117	406	311	128	439
[%]	27.2%	16.3%	22.8%	28.8%	16.6%	23.9%	28.5%	19.0%	24.7%	30.4%	18.5%	25.7%	31.9%	20.2%	27.3%
計	950	637	1,587	959	625	1,584	941	622	1,563	951	631	1,582	974	634	1,608

## (4) その他の健康診断・検診

一般健康診断以外の検診について以下にその結果のみを示す。

### ○胃検診

対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	748	146	159	142	159	142
異常なし	564	96	125	109	125	109
受検者に対する率	75.4%	65.8%	78.6%	76.8%	78.6%	76.8%
有所見者数	184	50	34	33	34	33
受検者に対する率	25%	34%	21%	23%	21%	23%
内要精密検査者数	15	5	4	1	4	1
受検者に対する率	2.0%	3.4%	2.5%	0.7%	2.5%	0.7%

対象者：40歳以上および希望者

### ○子宮がん検診

対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	295				147	148
異常なし 受検者に対する率	293 99.3%				146 99.3%	147 99.3%
有所見者数 受検者に対する率	2 1%				1 0.7%	1 0.7%
内要精密検査者数 受検者に対する率	2 1%				1 0.7%	1 0.7%

対象者：希望者

### ○マンモグラフィー検診（乳がん検診受診者の内併用で受検）

対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
受検者数	143				84	59
異常なし 受検者に対する率	131 91.6%				78 92.9%	53 89.8%
有所見者数 受検者に対する率	14 9.8%				6 7.1%	8 13.6%
内要精密検査者数 受検者に対する率	12 8.4%				6 7.1%	6 10.2%

対象者：40歳以上かつ2年に1回（生まれ年（西暦）の偶数年奇数年でわけている）

### ○特定・特殊健康診断

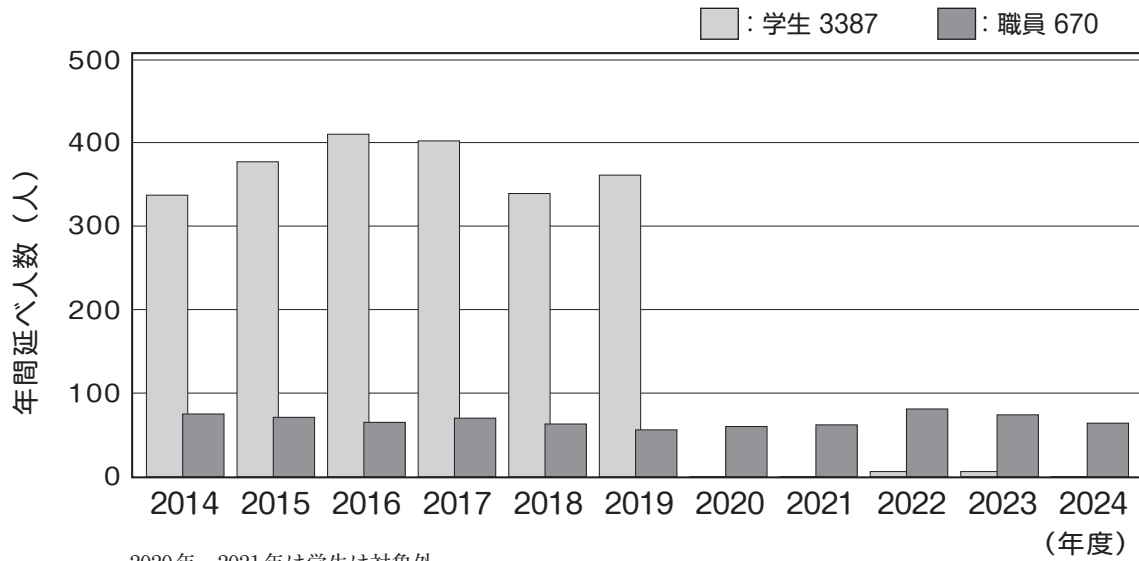
2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症対策として学生は対象外とした。2022年以降は学生の特定特殊健康診断は希望者のみを対象に実施している。また、2023年から化学物質リスクアセスメントが開始されたが、特化則・有機則・鉛則・四アルキル鉛則・石綿則による特殊健康診断は法令に従い継続している。

	対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
職員	受診者数	341	60	62	81	74	64
	異常者数	78	20	17	17	11	13
	受診者に対する率[%]	22.9%	33.3%	27.4%	21.0%	14.9%	20.3%
学生	受診者数	12	0	0	6	6	0
	異常者数	0	0	0	0	0	0
	受診者に対する率[%]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### ○放射線業務従事者等健康診断

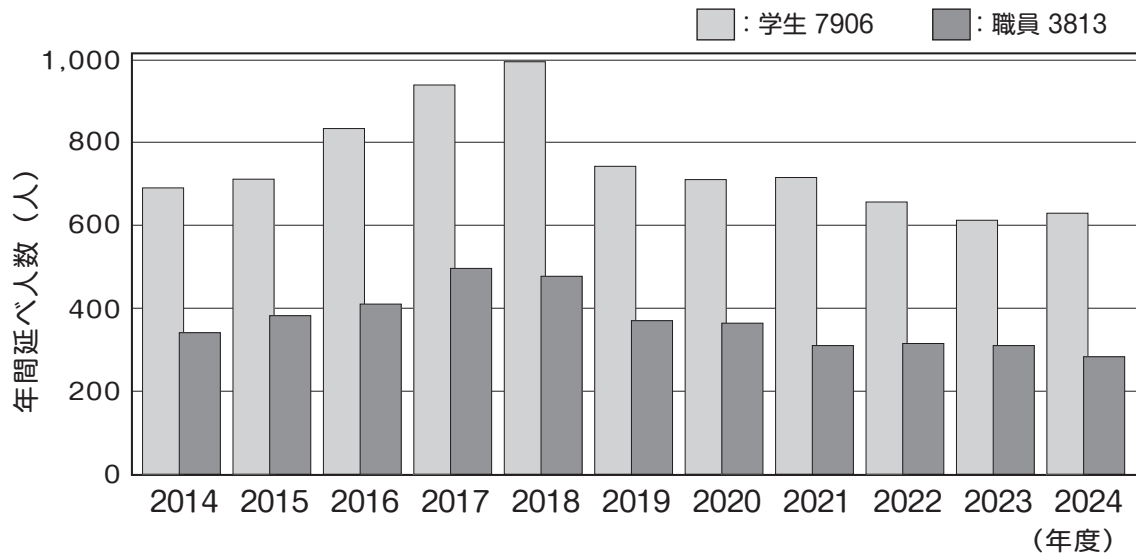
	対象者/年度	合計	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	合計 受診数	4,904	1,074	1,025	971	922	912
	職員 受診数	1,582	364	310	315	310	283
	学生 受診数	3,322	710	715	656	612	629

特定・特殊健康診断受診者数  
～学生・職員別10年間の推移～



2020年，2021年は学生は対象外。  
2022年コロナ以降は学生の特定特殊健康診断は希望者を実施となった。

放射線業務従事者等健康診断受診者数  
～学生・職員別10年間の推移～



2017年，廃液処理のための受診者が増えた。  
2019年，廃液処理に健診が不要になった。

放射線業務従事者等健康診断は学生の受診数が職員の倍程度と多い。2017年度に廃液処理に携わるものが健診を受けることとなり受診者が増加したが，2019年度の法改正に伴い健診が不要となったため，受診者が減少した。

## (5) メンタルヘルス部門

### 1) はじめに

2020～2024年度の本学のメンタルヘルス状況を振り返る。

この間で最も大きな出来事は、2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックである。岡山大学においても、2020年度より、マスク着用、3密の回避、入構禁止、オンライン授業、会合の禁止、在宅勤務、県外移動の制限など様々な行動制限がとられ、全構成員の生活や働き方、そして人との距離の保ち方が大きく一変した。

このような状況下ではあったが、メンタルヘルス部門としては「できることをやっぺいこう！」とのスローガンのもと、オンラインによる診察（津島）・研修・授業・講演会なども取り入れながら活動してきた。

この5年間の活動を対象別に簡単にまとめてみる。

学生に対しては、1次予防として、新入生のオリエンテーションの際のミニレクチャー、出前講座、教養教育科目「キャンパスライフとメンタルヘルス」開講（前期・後期）などを行っている。また、年1回のメンタルヘルス講演会を開催した。2次予防としては、健康診断時のメンタルヘルス不調者の診察、全平日の外来診療を引き続き行っている。3次予防としては、復学支援、メンタルヘルス問題を抱えた学生の継続支援などを行っている。

教職員に対しては、保健管理センター精神科医がメンタルヘルス系産業医として各事業で対応するとともに、メンタルヘルス対策推進室において全学的な対策を企画・実施してきた。以下に主なものを示す。

- ・ 各種研修会の実施
- ・ ストレスチェックの実施
- ・ ストレスチェックに基づく職場環境改善
- ・ 復職プログラムの修正と実施
- ・ 民間の復職支援プログラム（リワーク）の活用
- ・ 外国人教職員への対策（電話医療通訳サービス 英語で対応する精神保健福祉士の外部委託 診療協力病院の確保など）

人員体制としては、津島地区には岡部・河原精神科医、宮道公認心理師（2020～）、熊丸（2021～）・安東臨床心理士、鹿田地区には大西精神科医、兒山臨床心理士を配置し活動を行ってきた。

### 2) 新規来談者統計から

新規来談者統計の結果を示す。

#### ①新規来談者数について

表1 新規来談者（2020～2024年度）

	学部生	大学院生	留学生	学生計	教職員	合計
男	421 (456)	137 (141)	28 (35)	586 (632)	164 (217)	750 (849)
女	503 (481)	97 (97)	69 (46)	669 (624)	326 (289)	995 (913)
計	924 (937)	234 (238)	97 (81)	1,255 (1,256)	490 (506)	1,745 (1,762)

☆（ ）内は2015年度から2019年度の新規来談者数

表2 平均新規来談者率

	学部生	大学院生	留学生	教職員
2015～2019	1.8%	1.6%	2.5%	2.5%
2020～2024	1.9%	1.9%	2.3%	2.4%

☆平均新規来談者率：新規来談者数を各年度在籍者数で割ったもの

この5年間のメンタルヘルス部門への新規来談者数（表1）は学生・教職員を合わせて1745名（男750名 女995名）で、前回の報告（2015～2019年度）の1762名（男849名 女913名）とほぼ同じである。

平均新規来談者率（表2）では、前回の報告と比べ、学部生・留学生・教職員はほぼ同率だが、大学院生は前々回（2010～2014）から引続き増加してきている。

## ②新規来談者の数の年度別推移について

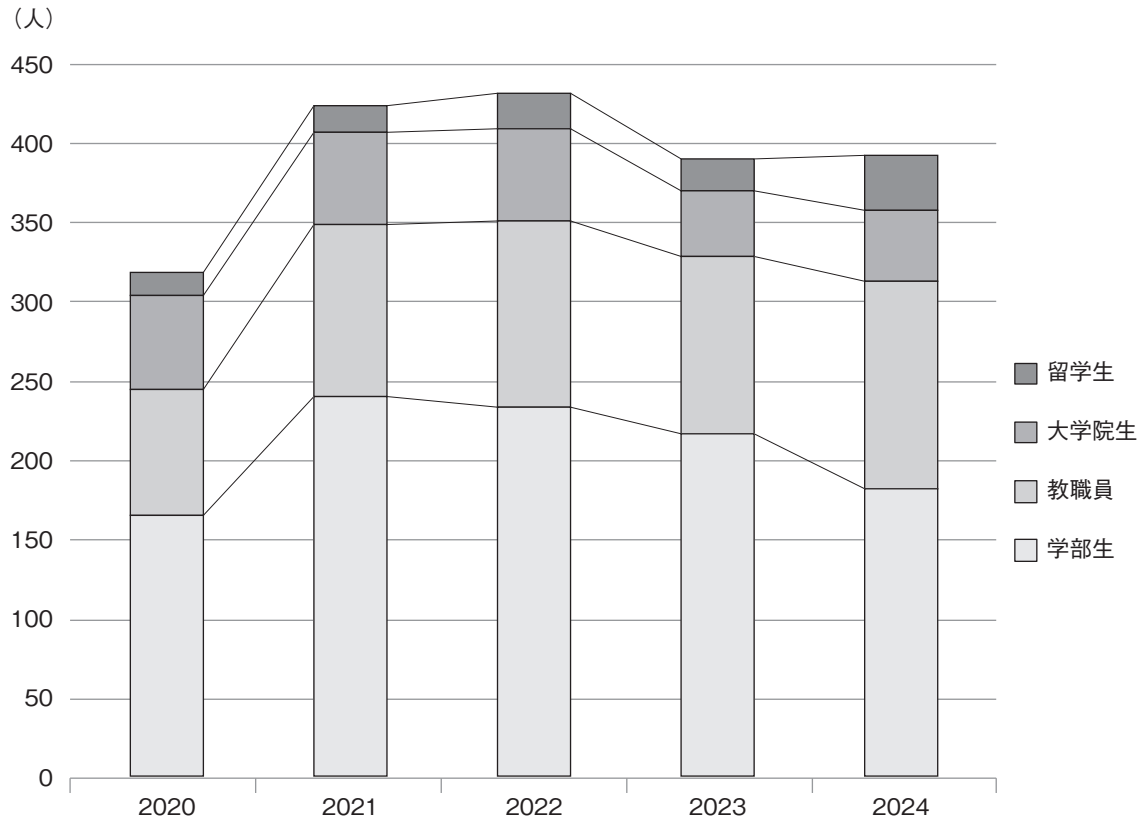


図1 新規来談者数の推移

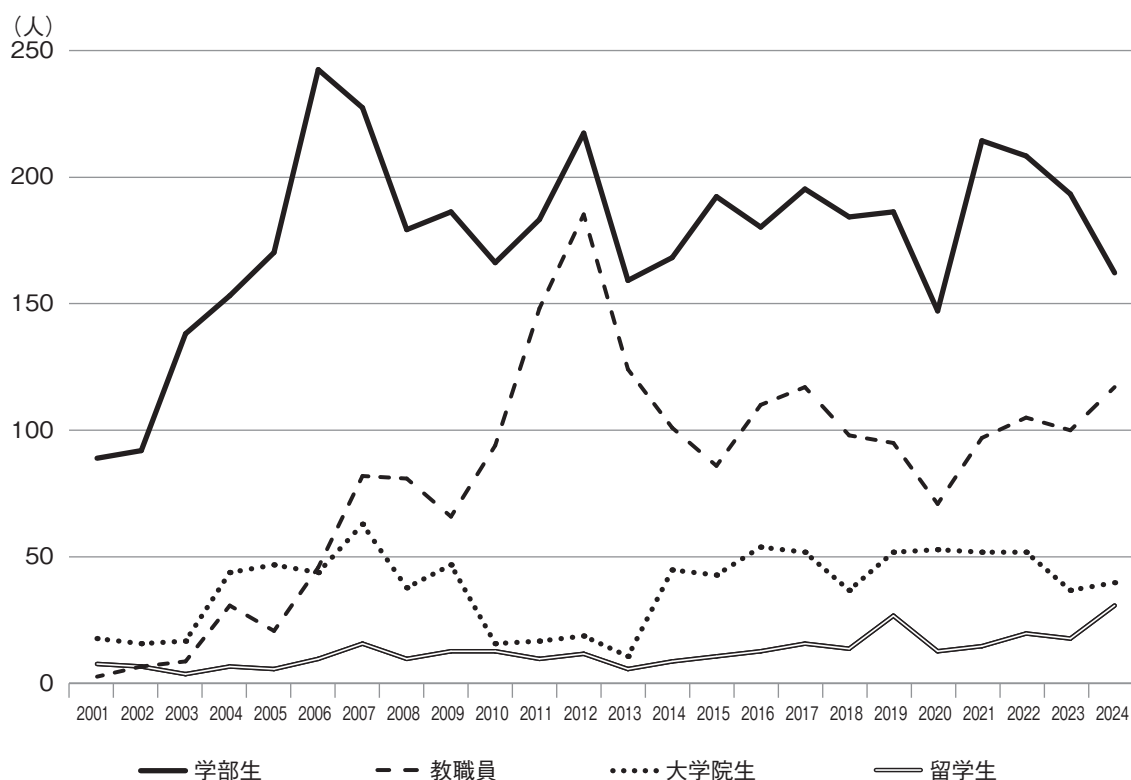


図2 所属別新規来談者数の経年推移

新規来談者数を年度別に比べる（図1）と、2020年度はパンデミックの影響を受けて減少したが、翌2021年度からはパンデミック前とほぼ同数の350人前後を推移している。所属別新規来談者数の経年的推移（図2）をみると、直近では学部生は減少し、大学院生・留学生・教職員は増加している。

### ③学部別新規来談者数比について

学部別新規来談者数割合（表3）では、学部総計では1.8%と前回とほぼ同率である。学部別にみると、グローバル・ディスカバリー・プログラムの増加が顕著である。

表3 新規来談者数割合（学部別）

	新規来談者数	平均在籍者数	新規来談者数割合
文学部	25	759	3.3% (3.2%)
教育学部	19	1142	1.7% (1.3%)
法学部	17	954	1.8% (2.1%)
経済学部	14	1062	1.3% (1.4%)
理学部	17	668	2.5% (2.8%)
医学部	21	1344	1.5% (0.4%)
歯学部	4	315	1.3% (0.2%)
薬学部	12	421	2.8% (3.0%)
工学部	32	2358	1.4% (1.4%)
環境理工学部	4	341	1.1% (1.4%)
農学部	15	514	2.9% (2.3%)
マッチングプログラムコース	1	10	6.2% (4.0%)
グローバル・ディスカバリー・プログラム	5	220	2.4% (0.9%)
計	185	10108	1.8% (1.7%)

☆（ ）内は2015年度～2019年度の新規来談者数割合 - 27 -

④心理検査

表4に心理検査の実施数を示す。前回と比べると低下しているのは、一時期カウンセラーがマイナス1であったことによる。WAISが多いのは発達障がい疑いの来談者が増えてきたことを反映している。

表4 2020～2024年度心理検査数

	WAIS	ロールシャッハテスト	その他	計
2020	5	0	4	9
2021	19	0	10	29
2022	10	0	5	15
2023	15	0	15	30
2024	5	0	9	14
計	54 (46)	0 (0)	43 (60)	97 (106)

☆ ( ) 内は2015年度から2019年度の検査数

⑤教職員のメンタルヘルス対応について

メンタルヘルス対策推進室では、教職員のメンタルヘルス対応について企画・実施してきた。表5に2025年度のメンタルヘルス対応実施計画を示す。

表5

■2025年度：教職員へのメンタルヘルス対応実施計画

- ※2024年度からの変更点：  
 ①メンタルヘルス対策推進室発足の記載  
 ②職員研修の研修を記載  
 ③ストレスチェック受検の開始等の記載  
 ④職員研修会でのストレスチェック実施結果報告会の記載  
 ⑤ストレスチェックにおける集約結果報告会の記載  
 ⑥ヘルシームセーフティ・キャンパスポリシーを記載

年度	実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施担当
全学														
研修	新任教職員研修	研修内容(新任教職員研修(オンライン研修、動画配信研修))	新任教職員研修(4/29～4/30)											人事課
	新任管理職研修	研修内容(新任管理職研修(オンライン研修、動画配信研修))	新任管理職研修(4/29～4/30)											人事課
	人事課職員の研修	研修内容(人事課職員の研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	教職員の研修	研修内容(教職員の研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	教職員のメンタルヘルス研修	研修内容(教職員のメンタルヘルス研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	教職員のメンタルヘルス研修	研修内容(教職員のメンタルヘルス研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
メンタルヘルス	メンタルヘルス研修	研修内容(メンタルヘルス研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	メンタルヘルス研修	研修内容(メンタルヘルス研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	メンタルヘルス研修	研修内容(メンタルヘルス研修(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
ストレスチェック	ストレスチェック	実施内容(ストレスチェック(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	ストレスチェック	実施内容(ストレスチェック(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	ストレスチェック	実施内容(ストレスチェック(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
ヘルシームセーフティ・キャンパス	ヘルシームセーフティ・キャンパス	実施内容(ヘルシームセーフティ・キャンパス(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	ヘルシームセーフティ・キャンパス	実施内容(ヘルシームセーフティ・キャンパス(オンライン研修、動画配信研修))												人事課
	ヘルシームセーフティ・キャンパス	実施内容(ヘルシームセーフティ・キャンパス(オンライン研修、動画配信研修))												人事課

### 3) 考察

パンデミックの影響については、新規来談者数をみると、2020年度は減少したものの、翌年からはパンデミック前のレベルに戻っている。

所属別に考察する。

#### ①学部生

新規来談者数は2021年度以降後年々減少しているが、これは、問題を抱えた学生が減少したというよりは、パンデミックにより、担任をはじめとして各種相談窓口で学生のメンタルヘルスに対して以前よりも強く関心を持って接する（見守り）ようになったことが要因のひとつと考えている。

学部間の新規来談者数割合の差が大きいことから、その学部の特徴にマッチした対応が必要と考える。

#### ②大学院生

大学院生の新規来談者数は毎年40～50人の間を推移している。しかし、依然研究室での不適応が深刻化した状態になってからの相談が少なくないため、早期の相談に繋がる工夫が必要と考える。

#### ③留学生

新規来談者数がじわじわと増えており、新規来談者率は学部生・大学院生よりも高い。今後も留学生の増加が見込まれるので、相談者も増加することが予想される。留学生への支援では、医療提供だけでなく、生活環境や就学環境の調整が不可欠なので、他の留学生をあつかう部署と連携を取りながら支援していく必要がある。

#### ④教職員

2021年からはほぼ右肩上がりでの新規来談者数が増えている。研修会や講演などに加え、ストレスチェックに基づく職場環境の改善に重点的に取り組む必要があると考えている。

### 4) おわりに

この5年間は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックへの対応に追われてきた印象がある。このような状況下ではあったが、教職員への研修や講演などについては拡充することができた。次の5年では、教職員の職場環境の改善をこれまで以上に推し進めて行くのが課題と考えている。

### Ⅲ. 教育・啓発活動

保健管理センターが担っている教育・啓発活動とは学生講義のみならず、日常の外来診療や健康診断での保健・栄養指導、学内外のオリエンテーション、講習会、講演会など多岐にわたる。ここでは、(1) 学生講義、(2) 日常業務の中での健康教育、(3) 学内のオリエンテーションや講習会・講演会、(4) 学外での社会貢献活動の4つに分類してその活動内容を記載した。

#### (1) 学生講義

保健管理センターが担当する学生講義の主要なものを示した。現在センター教員が行う中心的な講義は、一般教養科目としての「健康・スポーツ科学」およびメンタル系の講義「キャンパスライフとメンタルヘルス」、専門科目としての「診断治療学」、薬学部大学院の講義としての「病態機能診断学」である。一般教養科目では、フィジカル・メンタルの両面からの健康という視点で、生涯身につけてほしい知識や考え方、また、病者の心への理解などを意図して講義を組み立てており、専門科目および大学院講義では医学的立場から薬学部学生・薬学部大学院生が是非知っておくべき病気に関する知識・考え方・治療などを主に概説している。

講義内容を理解していただくために、最近のシラバスの代表的なものを掲載した。

(以下すべて敬称略)

#### ①学部学生講義

##### 診断治療学 1 (2020 年度)

授業科目	診断治療学 1
学期・単位・曜日・時限	2020年度 3 学期 0.75単位
対象学生	薬学 3 年次
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]
オフィスアワー	火曜日 午後 (あらかじめメールで連絡すること)
授業の概要	代表的な内科疾患・精神科疾患を中心に、疾患の病態をまず概説し、次いで診断・治療のプロセスの過程で特に大切な事項をなるべくわかりやすく概説する。特に薬学科学学生が対象なので、どのような病態にどのような薬物療法が対象になるかを、臨床的な視点から解説したい。
到達の目標	薬の働きを知るだけでなく、その薬が使われる疾患の診断・治療に至る過程をよく理解すること。また、疾患の病態を把握し、その発生原因や予防・治療法を考え、将来の臨床現場での業務や薬物の研究・開発に役立てることが目標である。
授業計画	第 1 回：オリエンテーション／総論／実験中の事故防止 第 2 回：循環器疾患 (1) (心疾患) 第 3 回：代謝疾患 (メタボ・糖尿病・高尿酸血症) 第 4 回：血液疾患・感染症 (造血器腫瘍, ウイルス感染症を中心に) 第 5 回：消化器系疾患 (1) (ウイルス性肝炎) 第 6 回：精神疾患 (精神科における薬物療法) / 薬剤師に必要なカウンセリングの実際 第 7 回：復習・質疑応答
教科書	【教科書】 特になし パワーポイントのスライド内容を配布する ※ただし講師によって異なる。
成績評価	【評価方法・評価基準】 1. 出席 (小テストによる) (80%) 小テスト結果は、双方向性授業を目指すため成績に加味しない。 2. レポート (20%) 【評価者】 授業担当教員 【評価時期】 学期末 【ループリック URL】 なし

	【保留について】 評価については「H（保留）」が付く場合がある。「H（保留）」の概要については掲示板で確認すること。
受講要件	【基礎となる授業科目】2年次までの薬学の講義を受けてきた学習者には理解できると考える。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
備考	将来、薬剤師や研究者として働く場合を知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、CBTやOSCEにも参考になるような講義にしたいと考える。 【発展する授業科目】臨床系科目全般 【実務経験の内容】医師としての勤務経験 【履修上の注意】最少開講人数は5名です。

### 診断治療学2（2020年度）

授業科目	診断治療学2
学期・単位・曜日・時限	2020年度 4学期 0.75単位
対象学生	薬学3年次
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]
オフィスアワー	火曜日 午後（あらかじめメールで連絡すること）
授業の概要	代表的な内科疾患・精神科疾患を中心に、疾患の病態をまず概説し、次いで診断・治療のプロセスの過程で特に大切な事項をなるべくわかりやすく概説する。特に薬学科学者が対象なので、どのような病態にどのような薬物療法が対象になるかを、臨床的な視点から解説したい。
到達の目標	薬の働きを知るだけでなく、その薬が使われる疾患の診断・治療に至る過程をよく理解すること。また、疾患の病態を把握し、その発生原因や予防・治療法を考え、将来の臨床現場での業務や薬物の研究・開発に役立てることが目標である。
授業計画	第1回：循環器疾患（2）（高血圧）・代謝疾患（脂質異常症） 第2回：呼吸器疾患（呼吸器感染症・腫瘍） 第3回：消化器系疾患（2）（H.ピロリ菌感染症・炎症性腸疾患・大腸腫瘍） 第4回：腎疾患・内分泌疾患（症例を中心に） 第5回：アレルギー疾患（花粉症、喘息、アトピー性皮膚炎など） 第6回：神経疾患（脳血管障害・認知症・パーキンソン病） 第7回：復習・質疑応答
教科書	【教科書】特になし パワーポイントのスライド内容を配布する ※ただし講師によって異なる。
成績評価	【評価方法・評価基準】 1. 出席（小テストによる）（80%） 小テスト結果は、双方向性授業を目指すため成績に加味しない。 2. レポート（20%） 【評価者】授業担当教員 【評価時期】学期末 【ルーブリックURL】なし 【保留について】 評価については「H（保留）」が付く場合がある。「H（保留）」の概要については掲示板で確認すること。
受講要件	【基礎となる授業科目】2年次までの薬学の講義を受けてきた学習者には理解できると考える。

主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリシップで目標を達成しよう
備考	<p>将来、薬剤師や研究者として働く場合を知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、CBTやOSCEにも参考になるような講義にしたいと考える。</p> <p>【発展する授業科目】臨床系科目全般</p> <p>【実務経験の内容】医師としての勤務経験</p> <p>【履修上の注意】最少開講人数は5名です。</p>

#### いざというとき、慌てないために（2020年度）

授業科目	いざというとき、慌てないために～危機管理と対処法～
学期・単位・曜日・時限	2020年度 第3学期 1単位 火3, 火4
対象学生	2018・2019・2020年度入学者：全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	和賀 崇 [WAGA Takashi], 名倉 弘哲 [NAKURA Hironori], 中尾 篤典 [NAKAO Atsunori], 岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]
オフィスアワー	[コーディネーター] 和賀 崇:水曜日7・8限 (事前連絡があると確実です)
授業の概要	けがや災害に対する危機管理や応急処置の方法を講義及び実習を通して学ぶ。
到達の目標	危機管理に対する当事者意識を持つ。緊急時の初歩的な対処法を実践できる。
授業計画	<p>10月6日：オリエンテーション 担当：和賀 崇准教授（全学教育・学生支援機構）</p> <p>10月13日：危機管理とリスク管理 担当：岡本 崇助教（大学院自然科学研究科（理））</p> <p>10月20日：災害医療について 担当：中尾 博之教授（医歯薬学総合研究科）</p> <p>10月27日：AED, 心肺蘇生, 救急の問題 担当：中尾 篤典教授（医歯薬学総合研究科）</p> <p>11月10日：自然災害に対する防災危機管理と保健衛生についての講義と実習 担当：名倉 弘哲教授（医歯薬学総合研究科）</p> <p>11月17日：スポーツ活動・レジャーにおける外傷・熱中症等のリスクに関する講義・実習 担当：岩崎 良章教授（保健管理センター）</p> <p>11月19日（木・火曜日程）：災害の際の避難について、避難所について 担当：ゲスト講師（岡山市危機管理室）</p> <p>11月24日：心肺蘇生を希望しない高齢者の救急など 担当：中尾 篤典教授（医歯薬学総合研究科）</p> <p>※各回の内容は予定です。</p>
教科書	
成績評価	授業への参加態度及び各回のリアクションペーパーを総合的に判断する。
受講要件	なし
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	13 気候変動に具体的な対策を
備考	・「学生教育研究災害傷害保険」等の保険に加入していることが求められる。

#### 先端医療疾病管理論（2021年度）

授業科目	先端医療疾病管理論
学期・単位・曜日・時限	2021年度 前期 1単位
対象学生	博士前期課程

必修・選択の別	選択
担当教員	松岡 順治 [MATSUOKA Junji], 西崎 正彦 [NISHIZAKI Masahiko], 田端 哲也 [ISODA Tetsuya], 内田 治仁 [UCHIDA Haruhito], 中村 一文 [NAKAMURA Kazufumi], 山崎 修 [YAMASAKI Osamu], 松本 佳則 [MATSUMOTO Yoshinori], 江口 潤 [EGUCHI Jun], 片岡 祐子 [KATAOKA Yuko], 西村 慎吾 [NISHIMURA Shingo], 三好 智子 [MIYOSHI Tomoko], 加藤 博也 [KATO Hironari], 岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki], 片山 英樹 [KATAYAMA Hideki], 齋藤 信也 [SAITO Shinya]
オフィスアワー	メールで連絡
授業の概要	オムニバスによる講義を行う
到達の目標	TBA
授業計画	鹿田キャンパス 保健学科棟 301 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン授業の予定ですが、今後の状況により変更となる場合があります。 履修登録前に、メールで連絡を入れること。 個別に連絡します。 第1・2回 4月12日(月) 6限・7限 内田 治仁 第3・4回 4月14日(水) 4限・5限 山崎 修 第5・6回 4月19日(月) 6限・7限 松本 佳則 第7・8回 4月21日(水) 4限・5限 田端 哲也 第9・10回 4月26日(月) 6限・7限 江口 潤 第11・12回 4月28日(水) 4限・5限 片山 英樹 第13・14回 5月10日(月) 6限・7限 中村 一文 第15・16回 5月12日(水) 4限・5限 片山 英樹 第17・18回 5月17日(月) 6限・7限 片岡 祐子 第19・20回 5月19日(水) 4限・5限 (予備) 第21・22回 5月24日(月) 6限・7限 西村 慎吾 第23・24回 5月26日(水) 4限・5限 加藤 博也 第25・26回 5月31日(月) 6限・7限 三好 智子 第27・28回 6月2日(水) 4限・5限 岩崎 良章 第29・30回 6月7日(月) 6限・7限 片山 英樹 第31・32回 6月9日(水) 4限・5限 試験
教科書	参考図書, 文献については開講後指示する。
成績評価	筆記試験と毎回のレポート提出を義務とする。いずれも60%以上の得点を合格とする。
受講要件	特になし

### 健康スポーツ科学 (2024年度)

授業科目	健康・スポーツ科学
学期・単位	2024年度 3学期・1単位
曜日・時限	月曜・5～6時限
対象学生	全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]
オフィスアワー	月曜日・午後1時半～午後4時半・保健管理センター・要予約 (Eメールで)。疑問点など有れば、Eメールで質問していただければお答えします。
授業の概要	学生時代は「こころ」と「からだ」の成長過程であり、社会に旅立つ前の重要な準備期間であるといえます。学生時代及び生涯を健やかに過ごすためには、よりよい生活習慣や疾病に関する正しい知識を持つことが大切です。この授業ではそういった視点から、正しい健康観を築いていただくために何が必要かを皆さんと考えてみたいと思います。

学習目標	学生時代及び生涯を健やかに過ごすための正しい健康観を築いていただくことを目標としています。
授業計画	(1) オリエンテーション 健康診断・喫煙問題を含む (2) 身近な病気への理解 1) 感染症 (3) 身近な病気への理解 2) 呼吸器・アレルギー性疾患 (4) 身近な病気への理解 3) 代謝性疾患 (5) 身近な病気への理解 4) 消化器疾患 (6) 健康に生きる力 1) ヘルスリテラシー (7) 健康に生きる力 2) 栄養・スポーツ (8) 期末試験
受講要件	一般常識および高校卒業程度の知識（生物学，保健体育など）が有れば十分です。
教科書	特に指定しません。原則として授業で配布される講義資料を参考にしてください。
参考書等	原則として毎回パワーポイントのスライド資料を配付します。 深く勉強したい人には，各教員が必要と思われる参考資料を授業の中で紹介します。
成績評価	[出席・小テスト：上限20%] + [期末試験：80%] で総合的に評価します。 e-learning (Moodle) による小テストを行い，出席点として追加（上限20%）します。
J A B E E との関連	健康と病気に関する専門知識を獲得し，それを健康管理と教育の分野に応用する能力及び，現在の専門知識に加えて未解決の問題にも関心を持ち，自主的，継続的に学習する能力を養います。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリシップで目標を達成しよう
備考	対面授業の場合，原則として講義開始前よりカード・リーダーによる出席のチェックを行います（オンライン授業の場合は小テストで代用します）。学生証を必ず持参して下さい。特別の理由が無い限り，講義開始15分以降の入室，途中退室は欠席とみなします。原則として講義の終わりにMoodleあるいはテスト用紙で小テストを行い，理解度の確認・復習と出席のチェックを行います。

### 医学概論（医・医）（2024年度）

授業科目	医学概論
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 0.4単位
対象学生	医学部医学科
担当教員	細野 祥之 [HOSONO Yasuyuki]
オフィスアワー	原則として月曜日から金曜日午前9：00から午後6：00に研究室で対応。 その他の時間，曜日にも必要により対応可。予約が好ましいが，必ずしも不要。
授業の概要	「沈着な姿勢，これに勝る資質はありえない（W. Osler）」。医師には，冷静で正確な判断力とこれを支える社会観，倫理観，社会人としてのコミュニケーション力が求められる。教育，研究，診療の各方面で活躍する経験豊富な講師陣が，これから医学を学ぶ新1年生に熱いメッセージを送る。
到達の目標	1) 医学とは何か，医療は何かを理解できる。2) 期待される医師像について理解できる。3) 医の倫理を知る。4) 精神と身体について学ぶ。5) 医療と社会の関係について理解できる。6) 基礎医学と臨床医学における研究，診療活動の概要を理解できる。
	講義日程については，時間割を確認すること 1：保健管理センター 大西勝教授 2：岩谷美貴子看護部長

授業計画	3：地域医療人材育成 佐藤勝教授 4：免疫学 鶴殿平一郎教授 5：豊岡伸一医学部長 6：緩和支援医療 大坂巖先生 7：前田嘉信病院長
教科書	特になし
成績評価	出席，受講態度，適宜レポートなどから総合的に評価する。特に出席を重視する。
受講要件	医学・医療に真摯に取り組む姿勢があること。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナーシップで目標を達成しよう
備考	特になし

### キャンパスライフとメンタルヘルス春集中 (2024年度)

授業科目	キャンパスライフとメンタルヘルス
学期・単位	2024年度 春季集中 1単位
対象学生	全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	岡部 伸幸 [OKABE Nobuyuki]
オフィスアワー	適宜，電話で予約をとってください。
授業の概要	大学生活でおきやすいメンタルヘルス問題とその対応について講義します。
学習目的	受講者自身のメンタルヘルスを振り返って一人一人にあった生活を具体化し，メンタルヘルスの危機に対応できるようになることを目標にします。
授業計画	第1回 オリエンテーション/青年期のこころの特徴 第2回 岡山大学生活におけるメンタルヘルス 第3回 青年期の事例 第4回 自らを取り巻くメンタルヘルスについて考える 第5回 メンタルヘルスの危機 第6回 特別講演1 第7回 ストレスマネジメント 第8回 睡眠と食欲 第9回 大学生の自殺 第10回 自殺しそうな時・人に対応する 第11回 こころの病気と精神障がい1 第12回 特別講演2 第13回 発達障がい 第14回 心療内科・精神科にかかるということ 第15回 まとめ
受講要件	予備知識は必要ありません。
成績評価	主に出席とレポート提出の状況で評価します。レポートの内容が到達目標に達していないと考えられるときは本人に問い合わせることがあります。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	5 ジェンダー平等を実現しよう
備考	専攻分野を問わず受講を歓迎します。

### キャンパスライフとメンタルヘルス夏集中 (2024年度)

授業科目	キャンパスライフとメンタルヘルス
学期・単位	2024年度 夏季集中 1単位

対象学生	全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	大西 勝 [ONISHI Masaru]
オフィスアワー	適宜, 電話で予約をとってください。
授業の概要	大学生活でおきやすいメンタルヘルス問題とその対応について講義します。
学習目的	メンタルヘルスについて学ぶことで, 柔軟な適応力を身につけ, 健やかな大学生活を過ごすことを目指します。また, 卒後においても活用できる力を身につけることも目標とします。
授業計画	<p>2024年8月26日, 27日, 29日の3日間  8月26日(月) 2~6限  第1回 オリエンテーション  第2回 青年期の心の特徴  第3回 大学生活におけるメンタルヘルス  第4回 事件・事故・災害時のメンタルヘルス  第5回 最近のトピックス1</p> <p>8月27日(火) 2~6限  第6回 薬物乱用  第7回 DV・ハラスメント  第8回 睡眠と食欲  第9回 発達障がい  第10回 最近のトピックス2</p> <p>8月29日(木) 2~6限  第11回 ストレスマネジメント  第12回 こころの病気1  第13回 こころの病気2  第14回 最近のトピックス3  第15回 まとめ</p>
受講要件	予備知識は必要ありません。
成績評価	出席, レポートを総合的に評価します。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
備考	<p>本科目は, 抽選対象科目です。  抽選で当選した学生あるいは, Web追加募集で当選した学生以外履修できません。  所属学部の掲示板及び岡山大学公式HPを確認のうえ, 指定された期間内に抽選登録してください。</p>

#### 安全衛生入門 (2024年度)

授業科目	安全衛生入門
学期・単位・曜日・時限	2024年度 第4学期
対象学生	全
必修・選択の別	選択必修
担当教員	中西 真 [NAKANISHI Makoto], 寺東 宏明 [TERATO Hiroaki], 岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki], 崎田 真一 [SAKIDA Shinichi], 岡本 崇 [OKAMOTO Takashi], 中原 望 [NAKAHARA Nozomi]
オフィスアワー	<p>曜日: 毎週木曜 時間: 午前中  場所: 本部棟3階安全衛生推進機構  予約: 予約なしでも在席時は対応しますが, 他の用務が入っている場合があるので事前予約をお勧めします。</p>

授業の概要	職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理等をテーマにする。
到達の目標	1) 安全衛生管理の仕組みについて理解する。 2) 安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する。 3) 安全衛生管理に関連する資格について理解する。 4) 日本の安全衛生管理の状況について理解する。 5) 職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る。
授業計画	1) ガイダンス, 安全衛生の現状 2) 作業環境要素 3) 安全衛生関連法令・規則 4) 作業環境管理 5) 放射線安全管理 6) 化学物質管理と環境管理 7) 健康管理 8) 期末試験  注：講義順は講師の都合により前後することがある。
教科書	テキストは指定しないが、講義中に参考図書を紹介する場合がある。
成績評価	期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。講義中の小テストは各10点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。
受講要件	特にありません。
主な SDGs 関連項目 1	3 すべての人に健康と福祉を
主な SDGs 関連項目 2	6 安全な水とトイレを世界中に
主な SDGs 関連項目 3	8 働きがいも経済成長も

### 医療法学・社会福祉学 (2024 年度)

授業科目	医療法学・社会福祉学
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 0.5単位
対象学生	歯学部 3年次
必修・選択の別	必修
担当教員	吉田 竜介 [YOSHIDA Ryusuke], 園井 教裕 [SONOI Norihiro], 高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo], 大西 勝 [ONISHI Masaru], 片岡 仁美 [KATAOKA Hitomi], 佐藤 勝 [SATO Masaru]
オフィスアワー	教務グループ歯学部担当事務室 (8時30分～17時15分)
授業の概要	医療人の社会常識として必要な内容を講義する。
到達の目標	今日のグローバル社会、地域社会における歯科医師の役割を再認識し、それを土台にして自ら進むべき方向性を検討・設定できる。
	1. ガイダンス 大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野 教授 窪木 拓男  2. 国際医療ボランティア 大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野 教授 高柴 正悟  3. 地域歯科医療・在宅歯科医療

授業計画	<p>鏡野町国民健康保険上斎原歯科診療所 所長 澤田 弘一</p> <p>4. 心身医学 岡山大学病院保健管理センター 教授 大西 勝</p> <p>5. 国際医療貢献 認定特定非営利活動法人アムダ 参与 難波 妙</p> <p>6. 女性と医療 京都大学医学教育・国際化推進センター 教授 片岡 仁美</p> <p>7. 地域医療 大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座 教授 佐藤 勝</p> <p>8. 医療と福祉 武田ファミリークリニック 院長 武田 則昭</p>
教科書	特になし
受講要件	レポートと出席で評価する。
成績評価	特になし
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	11 住み続けられるまちづくりを

### 保健学入門（2024年度）

授業科目	保健科学入門
学期・単位・曜日・時限	2024年度 第1学期 1単位
対象学生	看護1年/放射1年/検査1年 ※ARTコースを履修している農学部生も履修可
必修・選択の別	必修
担当教員	相原 洋子 [AIHARA Yoko], 廣畑 聡 [HIROHATA Satoshi], 加澤 佳奈 [KAZAWA Kana]
オフィスアワー	事前にメールでアポイントメントをとってください
授業の概要	医療人となるうえで、健康と病気、疾病予防、医療にまつわる倫理的課題について、現代の社会情勢やトピックスを交えて講義する。
到達の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康と病気の考え方が説明できる。</li> <li>2. 健康管理について説明できる。</li> <li>3. 代表的な疾病の予防について説明できる。</li> <li>4. 保健活動について説明できる。</li> <li>5. 日常的な健康意識を高める。</li> </ol>
授業計画	<p>第1・2回 保健科学入門（相原）</p> <p>第3・4回 ヘルスコミュニケーション（相原）</p> <p>第5・6回 臓器移植（安田）</p> <p>第7・8回 尊厳死と安楽死（相原）</p> <p>第9・10回 大学生活とメンタルヘルス（大西）</p> <p>第11・12回 動脈硬化（廣畑）</p>

	第13・14回 グループワーク（相原） 第15回 まとめ（相原） （注：各回の順番は変更の可能性がある）
教科書	特に指定しない。 必要があれば授業の中で資料を配布する。
受講要件	グループワークのプレゼンテーションとレポートによる
成績評価	保健医療従事者としての自覚と責任感を養うため、意欲を持って参加してほしい。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を

### 歯科医療演習（2024年度）

授業科目	歯科医療演習
学期・単位・曜日・時限	2024年度 1・2学期 1.5単位 火1～3
対象学生	歯学部
必修・選択の別	必修
担当教員	吉田 竜介 [YOSHIDA Ryusuke]
オフィスアワー	教務グループ歯学部担当事務室（8時30分～17時15分）
授業の概要	歯学・歯科医療について概説し、歯学部のカリキュラム並びに学生生活の意義・目的等について説明し、討論する。また、各分野の教育・研究・臨床について解説する。本科目は、歯学部専門科目「早期見学実習」と関連づけて行う。
到達の目標	1. 歯学部における授業の受け方、学習方法についての確に判断できる。 2. 各授業科目の目的と歯学との関連を指摘することができる。
授業計画	具体的な開講日程については履修者に別途通知する。 第1回：歯学概論，歯学と医の倫理（歯学部長） 第2回：歯学部・同附属病院の教育・研究・臨床（教務委員長） 第3回：これからの歯科医療について（副病院長） 第4回：大学生のメンタルヘルスについて（保健管理センター） 第5回：各分野の教育・研究について（口腔形態） 第6回：各分野の教育・研究について（口腔機能解剖） 第7回：各分野の教育・研究について（口腔生理） 第8回：各分野の教育・研究について（口腔生化） 第9回：各分野の教育・研究について（口腔病理） 第10回：各分野の教育・研究について（口腔微生物） 第11回：各分野の教育・研究について（歯科薬理） 第12回：各分野の教育・研究について（生体材料） 第13回：各分野の教育・研究について（応用情報歯学） 第14回：各分野の教育・研究について（歯科保存修復） 第15回：各分野の教育・研究について（歯周病態） 第16回：各分野の教育・研究について（インプラント再生補綴） 第17回：各分野の教育・研究について（咬合有床義歯補綴） 第18回：各分野の教育・研究について（歯科矯正） 第19回：各分野の教育・研究について（顎口腔再建外科） 第20回：各分野の教育・研究について（口腔顎顔面外科） 第21回：各分野の教育・研究について（歯科放射線） 第22回：各分野の教育・研究について（予防歯科） 第23回：各分野の教育・研究について（小児歯科） 第24回：各分野の教育・研究について（歯科麻酔特別支援歯科） 第25回：各分野の教育・研究について（卒後臨床研修センター） 第26回：各分野の教育・研究について（スペシャルニーズ歯科）

	第27回：各分野の教育・研究について（医療支援歯科治療部）
教科書	特になし
成績評価	ほぼ毎回授業終了後にミニレポートを提出する。授業担当者は、出席並びにミニレポートの内容を合わせて評価し、それを集計して全授業の総合評価を行う。
受講要件	歯学を専攻する学生の歯学教育の第一歩にあたり、知識というよりも将来歯科医師となる自覚を持って受講すること。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
備考	必ず出席しレポートを提出すること。

## ②大学院学生講義

医歯薬学総合研究科（薬学系）の講義は大学院の制度に伴い変遷してきたが、各教員の専門分野を中心に授業を行っている。2024年度の講義・演習・実習のシラバスを以下に示す。

### 臨床病態診断学（2024年度）

授業科目	臨床病態診断学
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 1単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士後期課程 薬科学専攻
必修・選択の別	選択
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki], 大西 勝 [ONISHI Masaru], 岡部 伸幸 [OKABE Nobuyuki]
オフィスアワー	月曜日 午後（あらかじめメールで連絡すること）
授業の概要	疾患の病態把握が患者の適切な薬物療法の上で重要である。また薬物研究においては対象疾患の病態および病因を理解した上で薬物の開発や適応を考える必要がある。このような視点より内科（消化器疾患、腫瘍疾患など）および精神科疾患を内科医・精神科医としての臨床的な立場から講義する。下記に記載した教員が分担してそれぞれの分野で講義を行う。
到達の目標	研究の背景にある臨床の実態を知ることにより主眼を置き、個々の疾患に関する病態生理および薬物治療を中心に学ぶ。
授業計画	<p>（担当教員名 岩崎良章） （講義内容）消化器系疾患，肝疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。</p> <p>（担当教員名 大西 勝） （講義内容）神経疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。</p> <p>（担当教員名 岡部伸幸，2回講義，2回演習） （講義内容）精神科疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。</p> <p>具体的演習の内容は個々の教員によって異なるので詳細は割愛する。</p>
教科書	指定なし。指導教員の指示に従うこと。原則としてレジメは各授業で提供される。
成績評価	レポート提出や講義・演習への参加姿勢や態度から判断する。
受講要件	薬学部の学生が学ぶもののうち臨床系の講義
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリーシップで目標を達成しよう

備考	将来，研究者，研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する 講義であるが，薬学部卒業に必要な基礎学力・知識があれば履修には十分である。
----	---

### 臨床病態診断学Ⅰ（講義・演習）（2024年度）

授業科目	臨床病態診断学Ⅰ（講義・演習）
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 2単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]，大西 勝 [ONISHI Masaru]，岡部 伸幸 [OKABE Nobuyuki]
オフィスアワー	月曜日・午後1時半～午後5時 事前にメール又は電話で予約すること。
授業の概要	患者の薬物治療に際して，その対象となる疾患の病態把握が適切な薬物療法の上で重要である。また薬物研究においては対象疾患の病態および病因を理解した上で薬物の開発や適応を考える必要がある。このような視点より内科（消化器疾患，肝疾患，悪性疾患，生活習慣病など）および精神科疾患を内科医・精神科医としての臨床的な立場から，病態をふまえた診断と薬物療法を中心とした治療方針の決定など実臨床をふまえて講義する。 担当教員が分担してそれぞれの分野で講義を行う。
到達の目標	研究の背景にある臨床の実態を知ることにより主眼を置き，個々の疾患に関する病態生理および薬物治療を習得し治療方針を提案できる。
授業計画	(担当教員名 岩崎良章) (講義内容) 肝疾患，消化器系疾患，悪性疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。 (担当教員名 大西 勝) (講義内容) 神経疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。 (担当教員名 岡部伸幸) (講義内容) 精神科疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。 (担当教員名 岡部伸幸，2回講義，2回演習) (講義内容) 精神科疾患の病態と薬物療法について概説および討論する。
教科書	指定なし。各指導教員の指示に従うこと。
成績評価	レポート提出や講義・演習への参加姿勢や態度から判断する。
受講要件	薬学部学部学生が学ぶもののうち臨床系の講義
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	17 パートナリシップで目標を達成しよう
備考	将来，研究者，研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが，薬学部卒業に必要な基礎学力・知識があれば履修には十分である。

### 臨床病態診断学Ⅱ（講義・演習）（2024年度）

授業科目	臨床病態診断学Ⅱ（講義・演習）
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 2単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki]，大西 勝 [ONISHI Masaru]，岡部 伸幸 [OKABE Nobuyuki]
オフィスアワー	月曜日・午後1時半～午後5時 事前にメール又は電話で予約すること。

授業の概要	患者の薬物治療に際して、その対象となる疾患の病態把握が適切な薬物療法の上で重要である。また薬物研究においては対象疾患の病態および病因を理解した上で薬物の開発や適応を考える必要がある。このような視点より内科（消化器疾患、肝疾患、悪性疾患、生活習慣病など）および精神科疾患を内科医・精神科医としての臨床的な立場から、病態をふまえた薬物療法における有効性と安全性の評価と対応など実臨床をふまえて講義する。 担当教員が分担してそれぞれの分野で講義を行う。
到達の目標	研究の背景にある臨床の実態を知ることにより主眼を置き、個々の疾患に関する病態生理および薬物治療を習得し治療方針を提案できる。
授業計画	(担当教員名 岩崎良章, 演習) (演習内容) 肝疾患, 消化器系疾患の病態と薬物治療について自ら文献検索してそれについて討論する。 (担当教員名 大西 勝, 演習) (演習内容) 神経疾患の病態と薬物治療について自ら文献検索してそれについて討論する。 (担当教員名 岡部伸幸, 講義と演習) (演習内容) 精神科疾患の病態と薬物治療について概説および自ら文献検索してそれについて討論する。
教科書	指定なし。各指導教員の指示に従うこと。
成績評価	レポート提出や講義・演習への参加姿勢や態度から判断する。
受講要件	薬学部学部学生が学ぶもののうち臨床系の講義
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
備考	将来、研究者、研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、薬学部卒業に必要な基礎学力・知識があれば履修には十分である。

#### 臨床病態診断学演習（2024年度）

授業科目	臨床病態診断学演習
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 4単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki], 大西 勝 [ONISHI Masaru]
オフィスアワー	月曜日・午後1時半～午後5時 事前にメール又は電話で予約すること。
授業の概要	患者の薬物治療に際して、その対象となる疾患の病態把握が適切な薬物療法の上で重要である。また薬物研究においては対象疾患の病態および病因を理解した上で薬物の開発や適応を考える必要がある。このような視点より内科（消化器疾患、肝疾患、悪性疾患、生活習慣病など）および精神科疾患を内科医・精神科医としての臨床的な立場から授業を行う。担当教員がそれぞれの分野を分担する。
到達の目標	研究の背景にある臨床の実態を知ることにより主眼を置き、個々の疾患に関する病態生理および薬物治療を中心に学ぶ。
授業計画	(担当教員名 岩崎良章) (演習内容) 肝疾患, 消化器系疾患, 悪性疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。 (担当教員名 大西 勝) (演習内容) 神経疾患, 精神科疾患の病態と薬物治療について概説および討論する。
教科書	指定なし。各指導教員の指示に従うこと。
成績評価	レポート提出や講義・演習への参加姿勢や態度から判断する。

受講要件	薬学部学部学生が学ぶもののうち臨床系の知識
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
備考	将来、研究者、研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患の知識について解説する講義であるが、薬学部卒業に必要な基礎学力・知識が有れば履修には十分である。

#### 臨床病態診断学実習（2024年度）

授業科目	臨床病態診断学実習
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 8単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	
担当教員	岩崎 良章 [IWASAKI Yoshiaki], 大西 勝 [ONISHI Masaru]
オフィスアワー	月曜日・午後1時半～午後5時 事前にメール又は電話で予約すること。
授業の概要	演習により大学院生として、与えられた研究テーマをさらに深めていく姿勢を習得する。関連文献の収集・整理を行い論文を作成する方法を習得する。
到達の目標	内科および精神科疾患に関する研究指導を受けて、薬物療法を向上させる基礎研究および臨床研究を遂行し論文作成するとともに、研究結果を発表する機会を持つ。
授業計画	(担当教員名 岩崎良章) (実習内容) 肝疾患、消化器疾患の病態と薬物治療について自ら文献検索してそれについて討論する。 (担当教員名 大西 勝) (実習内容) 精神科疾患及び神経疾患の病態と薬物治療について自ら文献検索してそれについて討論する。
教科書	指定なし。
成績評価	レポート提出や実習への参加姿勢や態度から判断する。
受講要件	薬学部学部学生が学ぶもののうち臨床系の知識
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
備考	将来、研究者、研究開発者として働く場合に知っておくべき疾患を学ぶが、薬学部卒業に必要な基礎学力・知識が有れば履修には十分である。

医療対話学コミュニケーションスキル（2024年度）

授業科目	医療対話学（コミュニケーションスキル）
学期・単位・曜日・時限	2024年度 特別 0.5単位
対象学生	医歯薬学総合研究科 博士課程
必修・選択の別	
担当教員	大西 勝 [ONISHI Masaru]
オフィスアワー	事前に電話またはメールで予約してください。
授業の概要	がんという病を持って生きる人とその家族は生老病死に関わる悩みを体験している。医療者としてコミュニケーションをとり、対話関係を築き、患者とその家族の自己実現過程を支えていけるように考えていく。
到達の目標	がん患者・家族の抱える様々な痛みに対して行う共感について様々なアプローチを習得する。
授業計画	<p><b>【講義日程】</b></p> <p>①：eラーニングのみ「がん患者・家族とのコミュニケーションスキル」 緩和支援医療科：片山 英樹</p> <p>②：eラーニングのみ「真実を伝える」精神科神経科：藤原 雅樹</p> <p>③：eラーニングのみ「対話的人間学の構造」緩和支援医療科：片山 英樹</p> <p>④：eラーニングのみ「終末期がん患者のスピリチュアルペインとそのケア」 保健管理センター：岡部 伸幸</p>
教科書	授業の際に資料を配付する。
成績評価	<p>授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。</p> <p>成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートの他、2/3以上の出席（3コマ以上）を必要とする。</p> <p>※なお、医師に限っては、日本サイコオンコロジー学会認定のコミュニケーション技術研修会（2日間）に参加したものは、単位を認定する。</p>
受講要件	特になし。
主なSDGs関連項目1	3 すべての人に健康と福祉を
主なSDGs関連項目2	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目3	11 住み続けられるまちづくりを

## (2) 日常業務の中での健康教育

学生・職員を対象として、医師、保健師、臨床心理士の協力のもと保健指導を行っている。保健指導の内容は、食事・運動、服薬指導、肥満・痩せ、月経異常、メンタル指導など多岐にわたる。また、2020年度からの5年間においては新型コロナウイルス感染症対策や渡航ワクチン接種、HPVワクチンキャッチアップ接種、動脈硬化検査など様々な取り組みをセンターが中心になって行っている。これらの取り組みは学内の多くの部署との連携によって実現可能となった。この項では取り組みの一部を写真にてご紹介する。保健指導の詳細については年度別、内容別推移は「Ⅱ 業務内容」を参照いただきたい。

### 1) 感染症対策感染症流行時の健康情報提供、メンタルヘルス支援（オンライン）

新型コロナウイルス流行期にこころの健康を保つために（学生向）

保健管理センター

新型コロナウイルスの感染拡大やその影響（感染延期、自宅待機や行動制限）などで、不安やさまざまな感情を抱いている方もいるでしょう。このような反応は、誰にも起こる自然なことですので、安心してください。このような時に、こころの健康を保つためのコツを紹介します。

●普段通りの睡眠、十分な食事、体を動かしてください  
 学校しない日も普段どおりの睡眠・起床のリズムを保つことが大切です。オンライン授業も授業時間帯に受講しましょう。起床時間をなるべく一定にして昼寝をしないようにしましょう。家でできる軽い運動やストレッチ、リラクゼーションを調べて試してみよう。人の密集しない屋外の散歩などで体を動かすことも有効です。

●新型コロナウイルスに関する情報や番組を見続けずにしてください  
 新型コロナウイルスに関する情報やニュースを日に何度も見聞きすると、強から離れなくなりストレスを感じてしまいます。信頼できる情報を定期的に確認することで十分です。

●友人や家族と連絡をとりあってください  
 自宅で一人過ごすことで生じる孤独感に対して、直接会えなくても SNS や電話などで友人や家族と連絡をとりあい、話したりおざらいあったりしましょう。オンライン授業を主体とした学業への対応として、普段なら教室で友人に気楽に聞けることも一人だけで対応しがちです。周囲の友人がどうやっているか共有してみてください。

●友人や家族と連絡をとりあってください  
 自宅で一人過ごすことで生じる孤独感に対して、直接会えなくても SNS や電話などで友人や家族と連絡をとりあい、話したりおざらいあったりしましょう。

オンライン授業を主体とした学業への対応として、普段なら教室で友人に気楽に聞けることも一人だけで対応しがちです。周囲の友人がどうやっているか共有してみてください。

●自宅で自分一人でもできる楽しみを見つけてください  
 この機会に一人で過ごすことのプラスを見直してみよう。勉強だけでなく、好きな音楽を聴く、お気に入りの本を読む、映画やドラマを鑑賞する、動画やゲームなど。自宅で自分一人でもできる楽しみを見つけて、気分転換しましょう。



### ① 2021 年度 新型コロナウイルスワクチン職域接種 (2021 年 7 月～学生会館, 2022 年 3 月～清水記念体育館)



②さくらルーム（保健管理センター ワクチン対策室）完成2022年



③有償ワクチン接種の予約・決済システム稼働（2022年度～）



④子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種

（2023年度 岡山大学病院総合トリアージステーション, 2024年度 保健管理センターにて実施）



## 2) 健康管理の充実



InBody 770



血圧脈波検査装置 (CAVI)



超音波検査装置 (エコー)

### 動脈硬化検査 予約受付中!

予約可能枠(火)(金) 9:00, 10:00, 11:00, 13:30, 14:30, 15:30

<受けられる検査>

- 血圧脈波検査 (CAVI/ABI)  
動脈の硬さや末梢動脈の狭窄の検査です。血管年齢検査とも呼ばれています。
- 頸部血管エコー  
頸動脈の壁の厚さやプラークの有無を見る検査です。
- 体組成計 (InBody770)  
医療用体組成計です。筋肉量・体脂肪などをより正確に測定します。
- 呼吸機能検査 (喫煙歴がある方のみ)  
肺の機能を評価する検査です。煙草を吸っている方は、肺の病気になるCOPDと動脈硬化の両方が進行していることがあります。

検査当日は空腹(直前の食事から2時間以上経過)でお越しください。所要時間は1時間程度です。  
検査当日、医師より結果説明があります。希望者には継続した生活指導を行います。

検査をご希望の方は保健管理センターへお電話ください。  
(TEL:086-251-7217 受付時間: 9:00~16:30(土日祝は除く))

## 3) メーリングリスト

本学では、2007年より当センターが中心となり、学内情報提供のためのシステム(メンタル及びフィジカルヘルスネットワーク、後に「学生保健ネットワーク(M&P-net)」)を立ち上げた。これは、会議ではなくネットワーク(メール)を利用して学生の健康に関する情報提供および様々な問題を解決し、さらには健康の維持増進を図るための双方向性の意見交換の場を設けることを目的としている。

### <2024年度の配信内容>

- 6月6日 麻しんに関する注意喚起
- 7月8日 熱中症の注意喚起
- 7月17日 海外渡航について
- 7月22日 新型コロナウイルス感染症の注意喚起
- 11月18日 インフルエンザの流行気について
- 11月21日 インフルエンザ注意報が発令されました!
- 12月23日 インフルエンザに関する注意喚起
- 12月25日 海外に渡航される方へ
- 12月26日 インフルエンザ警報が発令されました
- 1月9日 インフルエンザの患者報告数が過去10年で最多となりました
- 2月3日 麻しんに関する注意喚起

### (3) 学内の講習・講演

健康教育・労働安全衛生の啓発活動として、保健管理センターではフィジカルとメンタルヘルスの年2回の講演会を開いている。内容はその時期に問題となる話題を取り上げ行っている。特にメンタル系では初任者研修、教員研修など教職員を対象とした研修会を定期的に行っている。健康教室に関しては禁煙教育、メンタルヘルス対策を中心に取り組んでいる。また、学生サークルに対する健康教育も、救急法や熱中症予防などの指導などを中心に、保健師が主体となり、希望がある場合は少人数であっても時間の許す範囲で行ってきた。

#### ①保健管理センター講演会

開催日	場所	対象	講師	演題	人数
2021/2/15～ 2021/2/28	Moodle 配信	岡山大学 学生・職員	岡山大学 谷口 暁彦	新型コロナウイルス感染症について	—
2022/2/10～ 2022/2/24	Moodle 配信	岡山大学 学生・職員	岡山大学 中塚 幹也	性の多様性に関する基礎知識 ～岡山大学は自分らしく生きることが 出来る大学か～	—
2023/2/14	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	学校医 中塚 一女	大学生が知っておきたい梅毒・HPVワ クチン・避妊など	395
2024/2/15	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山大学 小川 千加子	健やかに生きるための性行動と予防	213
2025/2/13	一般教育棟 A-21 講義室	岡山大学 学生・職員	ウイメンズクリニック かみむら 上村 茂仁	知らないうちに・・・？ 若者に多い性感染症のリアル	455

#### ②メンタルヘルス講演会

開催日	場所	対象	講師	演題	人数
2021/2/15～ 2021/2/28	Moodle 配信	岡山大学 学生・職員	岡山大学 宮道 力	岡大生に贈る！自分さがしと自分 づくりと支えるメンタルヘルス	—
2022/2/10～ 2022/2/24	Moodle 配信	岡山大学 学生・職員	流王クリニック 流王 雄太	不安とどう付き合うか	—
2023/2/14	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山県精神科医療 センター 宗 龍平	あなたやあなたの大切な人がお酒の問 題を抱えていたら	396
2024/2/14	一般教育棟 B-41 講義室	岡山大学 学生・職員	岡山県精神保健 福祉センター 佐藤 俊介	自殺予防とこころの健康	216
2025/2/13	一般教育棟 A-21 講義室	岡山大学 学生・職員	NPO 法人あかね 中山 遼	他者を支援するということと他者に支 援を求めること	403

#### ③安全衛生講習会

安全衛生部主催で全教職員、あるいは学生及び学内関係者を対象に実施された。

年度	開催日	主な対象者	場所	講師	講習テーマ
2020年度	Moodle 配信	教職員及び学生	—	岩崎 良章	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 新型コロナウイルスを知る、かからない、う つさない
	Moodle 配信	教職員及び学生	—	岡部 伸幸 大西 勝	「コロナ禍の岡山大学でのメンタルヘルス」 1. コロナ禍の岡山大学でのメンタルヘルス 2. メンタルヘルスを保つために (メンタルヘルスとは) 3. メンタルヘルスを保つために (大学生のメンタルヘルス)
	2020/10/23	教職員 (鹿田)	記念会館 2階 会議室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス

2021年度	Moodle 配信	教職員及び学生	—	岡部 伸幸	1.岡山大学におけるメンタルヘルス 2.コロナ過における働く人のメンタルヘルス—個人編— 3.コロナ過における働く人のメンタルヘルス—職場編—
	Moodle 配信	教職員及び学生	—	岩崎 良章	受動喫煙防止対策 喫煙問題について
	2021/11/5	教職員 (鹿田)	記念会館2階会議室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス
2022年度	Moodle 配信	教職員	—	岡部 伸幸	1.メンタル不調による療養について 2.メンタル不調による療養についての復職プログラム
	2022/11/15	教職員 (鹿田)	記念会館2階会議室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス
	Moodle 配信	教職員	—	岩崎 良章	受動喫煙防止対策 喫煙問題について
2023年度	Moodle 配信	教職員	—	岡部 伸幸	1.うつに気づく 2.うつ状態の人と働く
	2023/9/29, 10/3	教職員 (鹿田)	記念会館2階会議室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス
	Moodle 配信	教職員	—	岩崎 良章	受動喫煙防止対策 喫煙問題について
2024年度	Moodle 配信	教職員	—	岡部 伸幸	1.うつに気づく 2.うつ状態の人と働く
	2024/10/10, 10/11	教職員 (鹿田)	記念会館2階会議室	大西 勝 兒山 志保美	職場のメンタルヘルス
	Moodle 配信	教職員	—	岩崎 良章	受動喫煙防止対策 喫煙問題について

#### ④禁煙教育

禁煙教育として安全衛生定期講習の中で講習会を開催した。(安全衛生定期講習会参照)

禁煙相談 (個別)	受診者 (のべ人数)	
	津島地区	鹿田地区
年度		
2020年	4	0
2021年	0	0
2022年	3	0
2023年	2	0
2024年	0	3

#### ⑤学生サークル・グッドジョブセンター等に対する健康教育

救急法や熱中症予防などを中心として、下記のように講習会を行った。

年度	開催日	場所	対象	講師	講習テーマ	人数
2020年度	7月9日	フィールド科学センター	グッドジョブセンター 農場職員	岡 香織	熱中症予防, 新型コロナについて	30
	7月10日	五十周年記念館 大会議室	グッドジョブセンター 職員	岡 香織	熱中症予防, 新型コロナについて	40
	7月22日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	8
	8月6日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	6
	8月21日	グッドジョブセンター	グッドジョブセンター 支援員・リーダー	岡 香織	熱中症予防・管理について	13

2021年度	6月23日	五十周年記念館 大会議室	グッドジョブセンター 職員	岡 香織	熱中症予防	50
	6月24日	フィールド科学 センター	グッドジョブセンター 農場職員	岡 香織	熱中症予防	13
	10月6日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	8
	10月22日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	8
	10月27日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	7
2022年度	6月1日	五十周年記念館 大会議室	グッドジョブセンター 職員	岡 香織	熱中症予防	35
	6月3日	フィールド科学 センター	グッドジョブセンター 農場職員	岡 香織	熱中症予防	12
	10月6日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	12
	10月22日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	5
	10月27日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	4
	8月24日	学生会館	応援団総部吹奏楽団学 生	岡部 伸幸	アルコール関連問題講習会 「アルコール関連問題」	60 程度
2023年度	3月26日	一般教養棟	校友会幹事, 会計担当	樋口 千草	「HPVワクチンについて」	100 程度
	6月1日	五十周年記念館 大会議室	グッドジョブセンター 職員	岡 香織	熱中症 (ハチ, チャドクガ)	57
	6月21日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	9
	6月23日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	7
2024年度	5月28日	五十周年記念館 大会議室	グッドジョブセンター 職員	岡 香織	熱中症 (ハチ, チャドクガ)	56
	6月12日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	10
	6月14日	保健管理センター2階 講義室	ワンダーフォーゲル部	成田 美香 岡 香織	熱中症予防, 救急法	8
	6月24日	図書館	ダブルタッチ同好会学 生	岡部 伸幸	アルコール関連問題講習会 「アルコール関連問題」	

## ⑥その他

開催日	場所	対象	講師	演題	人数
2020/4/1	臨床講義棟	病院新入 職教職員	大西 勝	職場のメンタルヘルス	250 程度
2020/4/2	融合棟	病院新人 看護師	大西 勝	最初の1年を生き延びるために	100 程度
2020/9/25	工学部5号館 講義室	岡山大学 職員	岡山大学 岩崎 良章	令和2年度岡山大学工学部創造工学センター技術支 援部門研修会 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) について知る	395
2020/10/31	保健学科棟 講義室 Online 併用	岡山大学 進学希望 者等	岡山大学 岩崎 良章	岡山大学大学院保健学研究科オープンフォーラム2020 学校・家庭における新しい生活様式 with コロナ：岡 山大学ではどう対応したか～	250 程度

2021/4/1	臨床講義棟	病院新入 職教職員	大西 勝	職場のメンタルヘルス	250 程度
2021/4/5	融合棟	病院新人 看護師	大西 勝	最初の1年を生き延びるために	100 程度
2022/4/1	臨床講義棟	病院新入 職教職員	大西 勝	職場のメンタルヘルス	250 程度
2022/4/4	融合棟	病院新人 看護師	大西 勝	最初の1年を生き延びるために	100 程度
2023/4/1	臨床講義棟	病院新入 職教職員	大西 勝	職場のメンタルヘルス	250 程度
2023/4/4	融合棟	病院新人 看護師	大西 勝	最初の1年を生き延びるために	100 程度
2023/12/11	管理棟	事務職 主査	岡部 伸幸	令和5年度国立大学法人岡山大学主査研修 「メンタルヘルスとは」	30 程度
2024/4/1	臨床講義棟	病院新入 職教職員	大西 勝	職場のメンタルヘルス	250 程度
2024/4/1	融合棟	病院新人 看護師	大西 勝	最初の1年を生き延びるために	100 程度
2024/9/27	管理棟	事務職 主任	岡部 伸幸	令和6年度国立大学法人岡山大学主任研修 「メンタルヘルスとは」	30 程度
2024/10/8	管理棟	事務職員	岡部 伸幸	令和6年度国立大学法人岡山大学中堅職員研修 「メンタルヘルスとは」	30 程度

## IV. 学術研究活動

現在の保健管理センター職員が関連した研究業績のうち、保健管理センターの業務に関連が深いもののみを年度別に記載した。

### (1) 学会・研究会発表

5年間の学会・研究会発表について、演題名、発表者、学会（研究会）名、開催地、日時の順に年度別に記載した。

#### 令和2（2020）年度

肝臓の疾患と対策

岩崎良章

第22回フィジカルヘルスフォーラム

山口大学（ハイブリッド開催）

2020年3月18日・19日

非アルコール性脂肪性肝疾患におけるHSD17B13遺伝子多型の組織学的検討

岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 足立卓也, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之

第56回日本肝臓学会総会

大阪国際会議場（大阪市）（ハイブリッド開催）

2020年8月28日・29日

新型コロナウイルス感染症流行下の保健管理 –岡山大学における対応–

岩崎良章, 岡 香織, 樋口千草, 黒木清美, 増田陽子, 影山真希, 森田知子, 中西順子, 成田美香, 内藤恵子, 宮道 力, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝

第50回中国四国大学保健管理研究集会

香川大学（オンライン開催）

2020年9月23日

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるGCKR遺伝子多型の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之

第24回日本肝臓学会大会

神戸コンベンションセンター（神戸市）（ハイブリッド開催）

2020年11月5日・6日

大学内事後対応チームと学外医療機関の連携について

岡部伸幸, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 兒山志保美, 宮道 力, 河原宏子, 大西 勝, 岩崎良章

第58回全国大学保健管理研究集会

京都市勧業館みやこめっせ（京都市）（Web開催）

2020年11月25日・26日

新型コロナウイルス感染症拡大下における学生健康診断の検討

岩崎良章, 岡 香織, 樋口千草, 黒木清美, 山際陽子, 影山真希, 森田知子, 中西順子, 成田美香, 内藤恵子, 宮道 力, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝

第58回全国大学保健管理研究集会

京都市勧業館みやこめっせ（京都市）（Web開催）

2020年11月25日・26日

#### 令和3（2021）年度

若年成人のトランスアミナーゼ異常における脂肪肝関連遺伝子多型の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第57回日本肝臓学会総会  
ロイトン札幌(北海道札幌市)(ハイブリッド開催)  
2021年6月18日

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患における遺伝子多型と血中脂質の検討  
岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 安中哲也, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第25回日本肝臓学会大会  
神戸コンベンションセンター(神戸市)(ハイブリッド開催)  
2021年11月4日・7日

非アルコール性脂肪性肝疾患におけるPTGER4遺伝子多型と肝線維化の検討  
岩崎良章, 池田房雄, 中山 光, 高木章乃夫, 岡田裕之  
第25回日本肝臓学会大会  
神戸コンベンションセンター(神戸市)(ハイブリッド開催)  
2021年11月4日・7日

精神疾患による長期不登校学生2ケースへのアプローチ  
岡部伸幸, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 兒山志保美, 宮道 力, 樋口千草, 河原宏子,  
大西 勝, 岩崎良章  
第51回中国四国大学保健管理研究集会  
山口大学医学部附属病院(宇部市)(ハイブリッド開催)  
2021年8月26日・27日

心の健康相談における家族からの相談対応のあり方についての一考察  
-「保護者が出発点の相談ケースを本人主体の面談につなぐ」観点から-  
熊丸都香, 岡部伸幸, 兒山志保美, 河原宏子, 大西 勝, 樋口千草, 岡 香織, 成田美香, 岩崎良章  
第51回中国四国大学保健管理研究集会  
山口大学医学部附属病院(宇部市)(ハイブリッド開催)  
2021年8月26日・27日

岡山大学Moodleを利用した血液検査結果通知の試み  
黒木清美, 大西 勝, 兒山志保美, 樋口千草, 岡 香織, 成田美香, 湊 裕美, 瀬良田陽子, 石原百合子,  
宮地まり, 岩崎良章  
第51回中国四国大学保健管理研究集会  
山口大学医学部附属病院(宇部市)(ハイブリッド開催)  
2021年8月26日・27日

健康管理② 座長 岩崎良章  
第51回中国四国大学保健管理研究集会  
山口大学医学部附属病院(宇部市)(ハイブリッド開催)  
2021年8月26日・27日

岡山大学における職場環境改善に向けて - ストレスチェック集団分析シートの作成 -  
宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草,  
岩崎良章  
第59回全国大学保健管理協会研究集会  
広島大学(Web開催)  
2021年10月6日・7日

当大学病院におけるCOVID-19患者対応スタッフに対するメンタルヘルス支援について

大西 勝, 兒山志保美, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章

第59回全国大学保健管理協会研究集会

広島大学 (Web 開催)

2021年10月6日・7日

敷地内全面禁煙後の問題と対応についての検討

岩崎良章, 多田弘子, 岡 香織, 黒木清美, 中西順子, 森田知子, 樋口千草, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝

第59回全国大学保健管理協会研究集会

広島大学 (Web 開催)

2021年10月6日・7日

令和4 (2022) 年度

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるPTGER4遺伝子多型の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 高木章乃夫, 岡田裕之

第58回日本肝臓学会総会

パシフィコ横浜会議センター (横浜市)

2022年6月2日・3日

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるFIB-4 indexの検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 高木章乃夫, 岡田裕之

第26回日本肝臓学会大会

マリンメッセ福岡 (福岡市)

2022年10月27日・28日

健康管理① 座長 岩崎良章

第52回中国四国大学保健管理研究集会

島根大学 (オンライン開催)

2022年8月25日

国内未承認の不活化新型コロナワクチンCoronaVacの2回接種後にmRNA-1273を初回接種された一症例

岩崎良章, 森田知子, 岡 香織, 中西順子, 成田美香, 黒木清美, 影山真希, 飯尾友愛, 樋口千草, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝

第52回中国四国大学保健管理研究集会

島根大学 (オンライン開催)

2022年8月25日・26日

メンタルヘルス相談と連携先について

大西 勝, 兒山志保美, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章

第52回中国四国大学保健管理研究集会

島根大学 (オンライン開催)

2022年8月25日・26日

岡山大学における職場環境改善に向けて (2) -メンタルヘルス研修体制の構築-

宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章

第60回全国大学保健管理研究集会

神奈川県民ホール，横浜産貿ホール（横浜市・ハイブリッド開催）  
2022年10月19日・20日

岡山大学における新型コロナワクチン大学拠点接種の副反応調査結果の報告  
樋口千草，飯尾友愛，影山真希，成田美香，岡 香織，黒木清美，河原宏子，岡部伸幸，宮道 力，大西 勝，  
頼藤貴志，岩崎良章  
第60回全国大学保健管理研究集会  
神奈川県民ホール，横浜産貿ホール（横浜市・ハイブリッド開催）  
2022年10月19日・20日

アウトティングの危機を体験したトランスジェンダー大学生への対応  
岡部伸幸，熊丸都香，成田美香，岡 香織，黒木清美，兒山志保美，宮道 力，樋口千草，河原宏子，  
大西 勝，岩崎良章  
第60回全国大学保健管理研究集会  
神奈川県民ホール，横浜産貿ホール（横浜市・ハイブリッド開催）  
2022年10月19日・20日

#### 令和5（2023）年度

若年成人のHBワクチン応答性に関する因子の検討  
岩崎良章，中山 光，池田房雄  
第59回日本肝臓学会総会  
奈良県コンベンションセンター，JWマリオット・ホテル奈良  
2023年6月15日・16日

若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるGPAM遺伝子多型の検討  
岩崎良章，中山 光，池田房雄  
第27回日本肝臓学会大会  
神戸コンベンションセンター  
2023年11月2日・3日

不活化新型コロナワクチンとmRNAワクチンの交互接種及びオミクロン株対応ワクチンを含むブースター接種後にCOVID-19の発症を前向きに観察し得た一症例  
岩崎良章，森田知子，岡香織，中西順子，成田美香，黒清美，影山 真希，樋口千草，河原宏子，宮道 力，  
岡部伸幸，大西 勝  
第53回中国四国大学保健管理研究集会  
徳島大学（徳島市）  
2023年8月24日・25日

健康管理① 座長 岩崎良章  
第53回中国四国大学保健管理研究集会  
徳島大学（徳島市）  
2023年8月24日・25日

岡山大学保健管理センターにおけるWAIS検査の実際～学生メンタル相談における活用の観点から～  
岡部伸幸，河原宏子，熊丸都香，成田美香，岡 香織，黒木清美，兒山志保美，宮道 力，樋口千草，  
大西 勝，岩崎良章  
第53回中国四国大学保健管理研究集会  
徳島大学（徳島市）  
2023年8月24日・25日

有償ワクチン接種における予約決済システムの導入

岡 香織, 樋口千草, 木村勝弘, 浜家 隆, 直 哲治, 影山 真希, 池内瑤子, 成田美香, 黒木清美,  
河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

岡山大学におけるHPVワクチン接種希望に関するアンケート調査

樋口千草, 小川千加子, 萩谷英大, 大塚勇輝, 大塚文男, 影山真希, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美,  
河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

岡山大学における職場環境改善に向けて(3)－就業レベルに基づく復職支援プログラム－

宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美,  
樋口千草, 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

看護師のメンタルヘルス不調の予防について～コロナ禍のメンタルヘルス相談を通して～

大西 勝, 兒山志保美, 熊丸都香, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美,  
樋口千草, 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

岡山大学における幸福度の検討～ダイバーシティに関するアンケートより～

樋口千草, 片岡仁美, 池谷航介, 中谷文美, 成田美香, 影山真希, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 宮道 力,  
岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

ランチョンセミナー4 座長 岩崎良章

第61回全国大学保健管理研究集会

石川県立音楽堂（金沢市）

2023年10月4日・5日

令和6（2024）年度

職員定期健康診断におけるMac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄

第60回日本肝臓学会総会

熊本城ホール（熊本市）

2024年6月13日・14日

若年成人のB型肝炎ワクチン応答性に関するワクチン製剤の検討

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄

第28回日本肝臓学会大会

神戸コンベンションセンター（神戸市）  
2024年10月31日・11月1日

一般研究発表Ⅰ 健康管理①（学生） 座長 岩崎良章  
第54回中国四国大学保健管理研究集会  
とりぎん文化会館（鳥取市）  
2024年8月22日・23日

職員定期健康診断におけるオプション検査としてのMac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体の検討  
岩崎良章，成田美香，影山真希，岡 香織，黒木清美，樋口千草，河原宏子，宮道 力，岡部伸幸，大西 勝  
第54回中国四国大学保健管理研究集会  
とりぎん文化会館（鳥取市）  
2024年8月22日・23日

学生健康診断における尿検査の実施方法と検体提出率の検討  
影山真希，成田美香，岡 香織，黒木清美，樋口千草，河原宏子，宮道 力，岡部伸幸，大西 勝，岩崎良章  
第54回中国四国大学保健管理研究集会  
とりぎん文化会館（鳥取市）  
2024年8月22日・23日

大学病院におけるメンタルヘルス相談の特徴について  
大西 勝，兒山志保美，岡部伸幸，河原宏子，宮道 力，成田美香，岡 香織，黒木清美，樋口千草，岩崎良章  
第54回中国四国大学保健管理研究集会  
とりぎん文化会館（鳥取市）  
2024年8月22日・23日

岡山大学でのHPVワクチン接種副反応調査について  
樋口千草，小川千加子，萩谷英大，岡 香織，成田美香，黒木清美，影山真希，河原宏子，宮道 力，岡部伸幸，大西 勝，岩崎良章  
第54回中国四国大学保健管理研究集会  
とりぎん文化会館（鳥取市）  
2024年8月22日・23日

ランチョンセミナー1  
子宮頸がん予防のため「今」できることは何か  
樋口千草  
第62回全国大学保健管理協会研究集会  
神戸コンベンションセンター（神戸市）  
2024年10月16日・17日

岡山大学におけるHPVワクチン接種の取り組み  
成田美香，岡 香織，樋口千草，黒木清美，直原哲治，影山真希，河原宏子，宮道 力，岡部伸幸，大西 勝，岩崎良章  
第62回全国大学保健管理協会研究集会  
神戸コンベンションセンター（神戸市）  
2024年10月16日・17日

大学生への思春期時期における Reds 実態調査

樋口千草, 津島愛子, 鈴木久雄, 榎本翔太, 樋口洋介, 岡 香織, 成田美香, 黒木清美, 影山真希, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章

第62回全国大学保健管理協会研究集会

神戸コンベンションセンター (神戸市)

2024年10月16日・17日

岡山大学における HPV ワクチンキャッチアップ接種に向けた啓発活動の実際

岡 香織, 樋口千草, 小川千加子, 影山真希, 熊丸都香, 成田美香, 黒木清美, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章

第62回全国大学保健管理協会研究集会

神戸コンベンションセンター (神戸市)

2024年10月16日・17日

## (2) 論文・報告書など

5年間の論文や報告書について, 保健管理センターに関連のあるもののみについて, 著書名, 題名, 雑誌名, 巻(号), 発表年の順に年度別に記載した。

### 令和2(2020)年度

岩崎良章, 中山 光, 森田知子, 岡 香織, 樋口千草, 二宮 崇, 黒木清美, 中西順子, 山際陽子, 影山真希, 古本友理, 内藤恵子, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝: 学生の非アルコール性脂肪性肝疾患における遺伝的素因の検討

CAMPUS HEALTH 57 (1) 第57回全国大学保健管理研究集会(北海道大学)報告書 ISSN 2432-9479 63 (2020, Mar.)

兒山志保美, 大西 勝, 河原宏子, 岡部伸幸, 中西順子, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 二宮 崇, 岩崎良章: 社会保険労務士との協議によるメンタルヘルス支援

CAMPUS HEALTH 57 (1) 第57回全国大学保健管理研究集会(北海道大学)報告書 ISSN 2432-9479 271-272 (2020, Mar.)

二宮 崇, 山際陽子, 岡 香織, 黒木清美, 古本友理, 内藤恵子, 影山真希, 樋口千草, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章: 留学生定期健康診断における胸部X線検査所見の検討

CAMPUS HEALTH 57 (1) 第57回全国大学保健管理研究集会(北海道大学)報告書 ISSN 2432-9479 335-337 (2020, Mar.)

Afify SM, Sanchez Calle A, Hassan G, Kumon K, Nawara HM, Zahra MH, Mansour HM, Khayrani AC, Alam MJ, Du J, Seno A, Iwasaki Y, Seno M.

A novel model of liver cancer stem cells developed from induced pluripotent stem cells. Br J Cancer. 2020 Apr; 122(9): 1378-1390. doi: 10.1038/s41416-020-0792-z. Epub 2020 Mar 17.

### 令和3(2021)年度

岩崎良章, 岡 香織, 樋口千草, 黒木清美, 増田陽子, 影山真希, 森田知子, 中西順子, 成田美香, 内藤恵子, 宮道 力, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝: 新型コロナウイルス感染症流行下の保健管理 - 岡山大学における対応 -

第50回中国四国大学保健管理研究集会報告書18-20 (2021, Jan.)

岡部伸幸, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 兒山志保美, 宮道 力, 河原宏子, 大西 勝, 岩崎良章: 大学内事後対応チームと学外医療機関の連携について

CAMPUS HEALTH 58 (1) 第58回全国大学保健管理研究集会(京都大学)報告書 ISSN 2432-9479 161-162 (2021, Mar.)

岩崎良章, 岡 香織, 樋口千草, 黒木清美, 増田陽子, 影山真希, 森田知子, 中西順子, 成田美香, 内藤恵子, 宮道 力, 河原宏子, 岡部伸幸, 大西 勝: 新型コロナウイルス感染症拡大下における学生健康診断の検討

CAMPUS HEALTH 58 (1) 第58回全国大学保健管理研究集会(京都大学)報告書 ISSN 2432-9479 248-249 (2021, Mar.)

岡部伸幸, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 兒山志保美, 宮道 力, 樋口千草, 河原宏子, 大西 勝, 岩崎良章: 精神疾患による長期不登校学生2ケースへのアプローチ  
第51回中国四国大学保健管理研究集会報告書36-38 (2021, Oct.)

熊丸都香, 岡部伸幸, 兒山志保美, 河原宏子, 大西 勝, 樋口千草, 岡 香織, 成田美香, 岩崎良章: 心の健康相談における家族からの相談対応のあり方についての一考察 - 「保護者が出発点の相談ケースを本人主体の面談につなぐ」観点から -

第51回中国四国大学保健管理研究集会報告書39-41 (2021, Oct.)

黒木清美, 大西 勝, 兒山志保美, 樋口千草, 岡 香織, 成田美香, 兼田修平, 湊 裕美, 瀬良田陽子, 石原百合子, 宮地まり, 岩崎良章: 岡山大学Moodleを利用した血液検査結果通知の試み

第51回中国四国大学保健管理研究集会報告書51-53 (2021, Oct.)

#### 令和4(2022)年度

宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章: 岡山大学における職場環境改善に向けて - ストレスチェック集団分析シートの作成 -

CAMPUS HEALTH 59 第59回全国大学保健管理研究集会(広島大学)報告書 ISSN 2432-9479 79-80 (2022, Mar.)

岩崎良章, 多田弘子, 岡 香織, 黒木清美, 中西順子, 森田知子, 樋口千草, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝: 敷地内全面禁煙後の問題と対応についての検討

CAMPUS HEALTH 59 第59回全国大学保健管理研究集会(広島大学)報告書 ISSN 2432-9479 127-128 (2022, Mar.)

大西 勝, 兒山志保美, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章: 当大学病院におけるCOVID-19患者対応スタッフに対するメンタルヘルス支援体制について

CAMPUS HEALTH 59 第59回全国大学保健管理研究集会(広島大学)報告書 ISSN 2432-9479 190-191 (2022, Mar.)

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄, 和田 望, 高木章乃夫, 岡田裕之: 若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるPTGER4遺伝子多型の検討

肝臓63号 ISSN 0451-4203 A307 (2022, Apr.)

松本尚美, 樋口千草, 三橋利晴, 萩谷英大, 高尾総司, 頼藤貴司: 新型コロナウイルスワクチン副反応調査の報告

岡山医学会雑誌134巻1号p.35-42(2022, Apr.) ISSN: 0030-1558(Print) / 1882-4528(Online)

岩崎良章, 森田知子, 岡 香織, 中西順子, 成田美香, 黒木清美, 影山真希, 飯尾友愛, 樋口千草, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝: 国内未承認の不活化新型コロナワクチンCoronaVacの2回接種後にmRNA-1273を初回接種された一症例

第52回中国四国大学保健管理研究集会報告書26 (2022, Nov.)

大西 勝, 兒山志保美, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章: メンタルヘルス相談と連携先について

第52回中国四国大学保健管理研究集会報告書58-59 (2022, Nov.)

Association Between Fever and Antibody Titer Trends After a Third Dose of the mRNA-1273 Vaccine.  
Matsumoto N, Kadowaki T, Matsuo R, Sasaki A, Miyaji C, Higuchi C, Nakayama M, Sakurada Y, Hagiya H, Takao S, Otsuka F, Yorifuji T.  
J Epidemiol. 2022 Dec 5;32(12):567-569. doi: 10.2188/jea.JE20220210. Epub 2022 Sep 30. PMID: 36031363

Adverse reactions and attitudes toward vaccines among young populations one month after receiving a second dose of mRNA-1273 in Japan.  
Matsumoto N, Higuchi C, Mitsuhashi T, Hagiya H, Takao S, Yorifuji T.  
Glob Health Med. 2022 Apr 30; 4(2):141-143. doi: 10.35772/ghm.2021.01125. PMID: 35586764

Questionnaire Survey on COVID-19 Vaccination at Okayama University in Japan: Factors Promoting Vaccination Among Young Adults.  
Higuchi C, Matsumoto N, Iwasaki Y, Yorifuji T, Yamazaki J, Nasu Y, Makino H.  
J Disaster Res 2022; 17(1), 21-30. doi: 10.20965/jdr.2022.p002 ISSN: 1881-2473(Print) / 1883-8030(Online)

#### 令和5 (2023) 年度

宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章: 岡山大学における職場環境改善に向けて (2) -メンタルヘルス研修体制の構築-  
CAMPUS HEALTH 60 第60回全国大学保健管理研究集会 (北里大学) 報告書 ISSN 2432-9479 64-65 (2023, Mar.)

樋口千草, 飯尾友愛, 影山真希, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 岡部伸幸, 宮道 力, 大西 勝, 頼 貴志, 岩崎良章: 岡山大学における新型コロナワクチン大学拠点接種の副反応調査結果の報告  
CAMPUS HEALTH 60 第60回全国大学保健管理研究集会 (北里大学) 報告書 ISSN 2432-9479 204-205 (2023, Mar.)

岡部伸幸, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 兒山志保美, 宮道 力, 樋口千草, 河原宏子, 大西 勝, 岩崎良章: アウティングの危機を体験したトランスジェンダー大学生への対応  
CAMPUS HEALTH 60 第60回全国大学保健管理研究集会 (北里大学) 報告書 ISSN 2432-9479 210-211 (2023, Mar.)

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄: 若年成人のHBワクチン応答性に関与する因子の検討  
肝臓64巻 Supplement(1) 129 (2023, Apr.)

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄: 若年成人の非アルコール性脂肪性肝疾患におけるGPAM遺伝子多型の検討  
肝臓64巻 Supplement(2) 128 (2023, Sep.)

岩崎良章, 森田知子, 岡 香織, 中西順子, 成田美香, 黒木清美, 影山真希, 樋口千草, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝: 不活化新型コロナワクチンとmRNAワクチンの交互相種及びオミクロン株対応ワクチンを含むブースター接種後にCOVID-19の発症を前向きに観察し得た一症例  
第53回中国四国大学保健管理研究集会報告書46 (2023, Dec.)

岡部伸幸, 河原宏子, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 兒山志保美, 宮道 力, 樋口千草, 大西 勝, 岩崎良章: 岡山大学保健管理センターにおけるWAIS検査の実際 ~学生メンタル相談における活用の観点から~  
第53回中国四国大学保健管理研究集会報告書88-90 (2023, Dec.)

Initial Two Doses of COVID-19 Vaccine mRNA-1273 for an Individual Previously Vaccinated with Two Doses of an Inactivated Vaccine CoronaVac That Has Not Been Approved in Japan.

Yoshiaki Iwasaki, Chigusa Higuchi.

Acta Med Okayama. 77(1): 105-109. doi: 10.18926/AMO/64370. (2023 Feb.)

A Case of Autoimmune Gastritis and Hepatitis with Enlarging Gastric Polyps after Reducing the Dose of Prednisolone.

Ryo Katsumata, Tomoari Kamada, Takahisa Murao, Aya Sunago, Mitsuhiko Suehiro, Yasumasa Monobe, Yoshiaki Iwasaki, Hirofumi Kawamoto, Hiroshi Nagai, Ken Haruma.

Case Reports in Gastroenterology 2023 Jan-Dec; 17(1): 117-123. doi: 10.1159/000529151 (2023, Feb.)

GSK-3  $\alpha$  /  $\beta$  and MEK inhibitors assist the microenvironment of tumor initiation.

Ghmkin Hassan, Said M Afify, Maram H Zahra, Hend M Nawara, Kazuki Kumon, Yoshiaki Iwasaki, David S Salomon, Akimasa Seno, Masaharu Seno.

Cytotechnology 75(3) 243–253 doi: 10.1007/s10616-023-00575-1. (2023, Jun.)

Review of a Series of Surveys on Adverse Reactions to the COVID-19 mRNA-1273 Vaccine at Okayama University.

Matsumoto N, Higuchi C, Miyaji C, Mitsuhashi T, Hagiya H, Takao S, Yorifuji T.

Acta Med Okayama. 77(6): 567-575. doi: 10.18926/AMO/66148. (2023, Dec.)

#### 令和6（2024）年度

岡 香織, 樋口千草, 木村勝弘, 浜家 隆, 直原哲治, 影山真希, 池内瑠子, 成田美香, 黒木清美, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章：有償ワクチン接種における予約決済システムの導入

CAMPUS HEALTH 61 第61回全国大学保健管理研究集会（金沢大学）報告書

ISSN 2432-9479 93-94（2024, Mar.）

樋口千草, 小川千加子, 萩谷英大, 大塚勇輝, 大塚文男, 影山真希, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章：岡山大学におけるHPVワクチン接種希望に関するアンケート調査

CAMPUS HEALTH 61 第61回全国大学保健管理研究集会（金沢大学）報告書

ISSN 2432-9479 95-96（2024, Mar.）

宮道 力, 大西 勝, 岡部伸幸, 河原宏子, 兒山志保美, 熊丸都香, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章：岡山大学における職場環境改善に向けて（3）－就業レベルに基づく復職支援プログラム－

CAMPUS HEALTH 61 第61回全国大学保健管理研究集会（金沢大学）報告書

ISSN 2432-9479 122-123（2024, Mar.）

大西 勝, 兒山志保美, 熊丸都香, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 岩崎良章：看護師のメンタルヘルス不調の予防について～コロナ禍のメンタルヘルス相談を通して～

CAMPUS HEALTH 61 第61回全国大学保健管理研究集会（金沢大学）報告書

ISSN 2432-9479 126-127（2024, Mar.）

樋口千草, 片岡仁美, 池谷航介, 中谷文美, 成田美香, 影山真希, 岡 香織, 黒木清美, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章：岡山大学における幸福度の検討～ダイバーシティに関するアンケートより～

CAMPUS HEALTH 61 第61回全国大学保健管理研究集会（金沢大学）報告書

ISSN 2432-9479 229-230（2024, Mar.）

岩崎良章, 中山 光, 池田房雄: 職員定期健康診断における Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体の検討  
肝臓 65 巻: Supplement 1 (2024, Apr.)

岩崎良章, 成田美香, 影山真希, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝:  
職員定期健康診断におけるオプション検査としての Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体の検討  
第 54 回中国四国大学保健管理研究集会報告書 58 (2025, Feb.)

影山真希, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草, 河原宏子, 宮道 力, 岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章:  
学生健康診断における尿検査の実施方法と検体提出率の検討  
第 54 回中国四国大学保健管理研究集会報告書 65 (2025, Feb.)

大西 勝, 兒山志保美, 岡部伸幸, 河原宏子, 宮道 力, 成田美香, 岡 香織, 黒木清美, 樋口千草,  
岩崎良章: 大学病院におけるメンタルヘルス相談の特徴について  
第 54 回中国四国大学保健管理研究集会報告書 77-78 (2025, Feb.)

樋口千草, 小川千加子, 萩谷英大, 岡 香織, 成田美香, 黒木清美, 影山真希, 河原宏子, 宮道 力,  
岡部伸幸, 大西 勝, 岩崎良章: 岡山大学での HPV ワクチン接種後副反応調査について  
第 54 回中国四国大学保健管理研究集会報告書 83-84 (2025, Feb.)

Effect of COVID-19 Infection on Presenteeism: Cohort Study Using Large Health Insurance-Based Data in  
Japan

Chikara Miyaji, Tomoko Kobayashi, Hiroshi Habu, Akikazu Hagiya, Yoshiharu Horie, Soshi Takao.

Journal of Occupational & Environmental Medicine 66 (8) 630-634 (2024 年 8 月)

Impact of COVID-19 Infection on Health-Related Quality of Life in the Japanese Population: A Large Health-  
Insurance-Based Database Study.

Tomoko Kobayashi, Chikara Miyaji, Hiroshi Habu, Yoshiharu Horie, Soshi Takao

International Journal of Environmental Research and Public Health (2024 年 2 月)

Plasma angiotensin-converting enzyme 2 (ACE2) is a marker for renal outcome of diabetic kidney disease  
(DKD) (U-CARE study 3).

Asami Ueno, Yasuhiro Onishi, Koki Mise, Satoshi Yamaguchi, Ayaka Kanno, Ichiro Nojima, Chigusa  
Higuchi, Haruhito A Uchida, Kenichi Shikata, Satoshi Miyamoto, Atsuko Nakatsuka, Jun Eguchi, Kazuyuki  
Hida, Akihiro Katayama, Mayu Watanabe, Tatsuaki Nakat o, Atsuhito Tone, Sanae Teshigawara, Takashi  
Matsuoka, Shinji Kamei, Kazutoshi Murakami, Ikki Shimizu, Katsuhito Miyashita, Shinichiro Ando,  
Tomokazu Nunoue, Jun Wada

BMJ open diabetes research & care 12 (3) (2024 年 5 月)

## V. 社会貢献活動

常勤教員が当センター在職期間に学外で行った講演や講習などの活動を、講演名、演者、主催、対象、開催場所、開催期日の順に年度別に記載した。

### 令和2（2020）年度

PBCエリアフォーラム

岩崎良章. 大日本住友製薬株式会社. 医療関係者. Online レクチャー（岡山市）. 20201201.

岡山いのちの電話第37期養成講座（家族療法）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第37期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 202010.

岡山いのちの電話第37期養成講座（ケース研究）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第37期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 202101.

岡山いのちの電話第37期養成講座（病める心の理解と援助③）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第37期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 20200611.

第12回岩国医療センター緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 国立病院機構岩国医療センター. 医療関係者.（岩国市）. 20201010.

岡山市東地域愛育委員連絡会愛育委員研修会「こころの健康からつながる地域」

岡部伸幸. 岡山市東地域愛育委員連絡会. 愛育委員.（岡山市）. 20201015.

令和2年度岡山南高校人権教育相談講演会「高校生活とストレスコーピング」

岡部伸幸. 岡山県立岡山南高校. 高校生.（岡山市）. 20201016.

岡山いのちの電話第37期養成講座（電話相談員の危機）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第37期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 20201119.

令和2年度倉敷天城中学校健康教育講演会「依存症」

岡部伸幸. 岡山県立倉敷天城中学校. 中学生.（倉敷市）. 20201205.

岡山市精神保健専門研修「自殺リスクのある方への対応」

岡部伸幸. 岡山市保健所健康づくり課. 保健師.（岡山市）. 20210105.

糖尿病診療を気軽に語る会「「目標」に沿った糖尿病治療薬」

樋口千草. 小野薬品工業株式会社 岡山市地域薬剤師 ホテルグランヴィア岡山（岡山市） 20210317.

### 令和3（2021）年度

岡山いのちの電話第38期養成講座（家族療法）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第38期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 202110.

岡山いのちの電話第38期養成講座（ケース研究）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第38期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 202201.

令和3年度岡山南高校人権教育相談講演会「高校生活とストレスコーピング」

岡部伸幸. 岡山県立岡山南高校. 高校生.（岡山市）. 20210518.

岡山いのちの電話第38期養成講座（病める心の理解と援助③）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第38期養成講座. いのちの電話ボランティア（岡山市）. 20200610.

令和3年度自殺予防ソーシャルワーク研修「対象者の理解」「社会資源の理解と活用1 ～精神科領域との連携のコツ～」

岡部伸幸. 岡山県社会福祉士会. 社会福祉士. (岡山市). 20210917.

第13回岩国医療センター緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 国立病院機構岩国医療センター. 医療関係者. (岩国市). 20211009.

令和3年度倉敷天城中学校健康教育講演会「依存症」

岡部伸幸. 岡山県立倉敷天城中学校. 中学生. (倉敷市). 20211019.

令和3年度岡山朝日高校健康を考える日「思春期におけるストレスコントロール ―悩み、不調から病気まで―」

岡部伸幸. 岡山県立岡山朝日高等学校. 高校生. (岡山市). 20211020.

岡山県教育センター相談員研修「思春期青年期の当事者に関わる」

岡部伸幸. 岡山県教育センター. 教育センター相談員. (吉備中央町). 20211109.

岡山いのちの電話第38期養成講座（電話相談員の危機）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第38期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20211118.

岡山県精神障害者家族会連合会大会講演「家族もがんばらなくていい ～一緒に回復してほしい～」

岡部伸幸. NPO法人岡山県精神障害者家族連合会. 市民. (岡山市). 20220222.

#### 令和4（2022）年度

岡山いのちの電話第39期養成講座（家族療法）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第39期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202210.

岡山いのちの電話第39期養成講座（ケース研究）

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第39期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202301.

岡山いのちの電話第39期養成講座（病める心の理解と援助③）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第39期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20220616.

第14回岩国医療センター緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 国立病院機構岩国医療センター. 医療関係者. (岩国市). 20221001.

令和4年度岡山朝日高校健康を考える日「思春期におけるストレスコントロール ―悩み、不調から病気まで―」

岡部伸幸. 岡山県立岡山朝日高等学校. 高校生. (岡山市). 20221019.

岡山市中区竜操中学校区こころの健康講座「うつ病の在るコミュニティ」

岡部伸幸. 岡山市中区保健センター. 市民. (岡山市). 20221024.

岡山市精神障害者家族会連絡会講演会「健やかさを保つ」

岡部伸幸. 岡山市精神障害者家族会連絡会. 市民. (岡山市). 20221101

令和4年度倉敷天城中学校健康教育講演会「依存症」

岡部伸幸. 岡山県立倉敷天城中学校. 中学生. (倉敷市). 20221122.

岡山いのちの電話第39期養成講座（電話相談員の危機）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第39期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20221124.

産業医研修会「健康診断事後措置 (個人ワーク)」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会・岡山県産業保健総合支援センター. 産業医. 三木記念ホール (岡山市). 20220512.

明海大学経済学部セミナー「研究の面白さを語る『健康の社会的決定要因：地域における人と人のつながりを考える』」.

宮道 力. 明海大学経済学部. 大学生. 明海大学浦安キャンパス (浦安市). 20220712.

産業医生涯研修会「ストレスチェック検査と事後措置の実務／高ストレス者に対する面接指導」補助講師

宮道 力. 岡山健康医学研究会. 産業医. 岡山大学 (岡山市). 20220820.

産業医研修会「産業医に必要な就業規則の実務」補助講師

高尾総司, 梅田理可, 宮道 力. 岡山県医師会・岡山県産業保健総合支援センター. 産業医. 三木記念ホール (岡山市). 20221110.

産業医研修会「ストレスチェック検査と事後措置の実務」

宮道 力. 津山市医師会・産業医. 美作保健所 (津山市). 20221112.

産業医研修会「高ストレス者に対する面接指導 (個人ワーク)」

宮道 力. 津山市医師会・産業医. 美作保健所 (津山市). 20221112.

## 令和5 (2023) 年度

岡山いのちの電話第40養成講座 (家族療法)

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第40期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202310.

岡山いのちの電話第40期養成講座 (ケース研究)

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第40期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202401.

令和5年度岡山南高校人権教育相談講演会「高校生活とストレスコーピング」

岡部伸幸. 岡山県立岡山南高校. 高校生. (岡山市). 20230526.

岡山いのちの電話第40期養成講座 (病める心の理解と援助③)

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第40期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20230615.

令和5年度自殺予防ソーシャルワーク研修「対象者の理解」「社会資源の理解と活用1 ～精神科領域との連携のコツ～」

岡部伸幸. 岡山県社会福祉士会. 社会福祉士. (岡山市). 20230902.

大学等保健管理部門メンタルヘルス連絡会「大学生とのメンタルヘルス相談のポイント」

岡部伸幸. 岡山市こころの健康センター. 大学教職員. (岡山市). 20230905.

第15回岩国医療センター緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 国立病院機構岩国医療センター. 医療関係者. (岩国市). 20230930.

令和5年度岡山朝日高校健康を考える日「思春期におけるストレスコントロール ―悩み、不調から病気まで―」

岡部伸幸. 岡山県立岡山朝日高等学校. 高校生. (岡山市). 20231018.

岡山市中区健康市民おかやま21推進会 定例会・研修会「うつ病とともに在るコミュニティ - 支援することについて -」

岡部伸幸. 岡山市中区健康市民おかやま21推進会. 市民. (岡山市). 20231115.

岡山いのちの電話第40期養成講座 (電話相談員の危機)

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第40期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20231130.

地域防災講演会～地域との協働型防災訓練 (SDGs×防災) ～「避難所での体調管理」

樋口千草. 岡山大学安全衛生推進機構. 地域住民、学生、教職員. 岡山大学 (岡山市). 2023年10月26日

HPVワクチンOnlineセミナー 「キャッチアップ接種世代への接種機会提供の取り組み ～当大学学内接種へのプロセス～」

樋口千草. MSD株式会社. 医療従事者. Web講演会 (岡山市). 2024年3月22日

香川大学大学院地域マネジメント研究科公開講座「メンタル不調と組織マネジメント」

宮道 力. 香川大学大学院地域マネジメント研究科. 大学院生, 社会人. 香川大学 (高松市). 20230711.

産業医研修会「メンタルヘルス対応の実際 (個人ワーク)」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20230716.

産業医研修会「就業規則と健康管理 (個人ワーク)」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20230717.

産業医研修会「健康診断事後措置」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20230916.

産業医研修会「高ストレス者面接の実務 (個人ワーク)」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20230917.

産業医研修会「面接シナリオの活用 (個人ワーク)」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20230918.

産業医生涯研修会「業務アプローチによるメンタルヘルス対策 - 具体的な方策をグループワークで検討する」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山健康医学研究会. 産業医. 岡山大学 (岡山市). 20240128.

## 令和6 (2024) 年度

岡山いのちの電話第41養成講座 (家族療法)

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第41期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202310.

岡山いのちの電話第41期養成講座 (ケース研究)

大西 勝. 岡山いのちの電話協会第41期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 202401.

令和6年度岡山南高校人権教育相談講演会「高校生活とストレスコーピング」

岡部伸幸. 岡山県立岡山南高等学校. 高校生. (岡山市). 20240531.

岡山いのちの電話第41期養成講座 (病める心の理解と援助③)

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第41期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20240612.

令和6年度自殺予防ソーシャルワーク研修「対象者の理解」「社会資源の理解と活用1 ～精神科領域との連携のコツ～」

岡部伸幸. 岡山県社会福祉士会. 社会福祉士. (岡山市). 20240921.

第16回岩国医療センター緩和ケア研修会「コミュニケーション」

岡部伸幸. 国立病院機構岩国医療センター. 医療関係者. (岩国市). 20241005.

令和6年度岡山朝日高校健康を考える日「思春期におけるストレスコントロール ―悩み、不調から病気まで―」

岡部伸幸. 岡山県立岡山朝日高等学校. 高校生. (岡山市). 20241022.

岡山いのちの電話第41期養成講座（電話相談員の危機）

岡部伸幸. 岡山いのちの電話協会第41期養成講座. いのちの電話ボランティア (岡山市). 20241127.

令和6年度総社市親子健康づくり講演会「思春期のこころ」

岡部伸幸. 総社市愛育委員会協議会. 市民. 総社市. 20250204.

岡山市御野学区愛育委員会健康教育講演会「若い世代のメンタルヘルス」

岡部伸幸. 岡山市御野学区愛育委員会. 市民. (岡山市). 20250310

第62回全国大学保健管理研究集会 ランチョンセミナー「子宮頸がん予防のため「今」できることは何か」

樋口千草. 全国大学保健管理協会 保健管理部門関係者 神戸国際会議場 (神戸市). 20241016.

第45回日本肥満学会・第42回日本肥満症治療学会学術集会 スイーツセミナーショートトーク「家庭と仕事の両立」

樋口千草. 日本肥満学会. 医師・研修医・医学生. パシフィコ横浜 会議センター (横浜市). 20241019.

産業医研修会「面接シナリオの活用（グループワーク）」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20240714.

産業医研修会「メンタルヘルス対応の実際（グループワーク）」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20240715.

産業医生涯研修会「メンタルヘルス事例研究～職場復帰事例～（グループワーク）」補助講師

高尾総司, 宮道 力, 森 悠太. 岡山県医師会. 医師. 岡山大学 (岡山市). 20240825.

学校安全研修「セーフティプロモーションスクール認証に向けてーこれからの学校安全を支えるコア人材になる」

宮道 力. 小田郡矢掛町立中川小学校. 教員. 小田郡矢掛町立中川小学校 (矢掛町). 20240829.

## Ⅵ. 保健管理センターの概況

### (1) 概要

当センターは、岡山大学保健管理センター規程にもあるように、岡山大学における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の健康の維持・増進を図ることを目的として業務を行っている。

#### ①業務内容

岡山大学保健管理センター規程には下記のように記されており、当センターは次に掲げる業務を行っている。

- 一 保健管理に係る企画及び立案に関すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置に関すること。
- 三 健康相談、心理・精神保健相談、応急措置等健康支援に関すること。
- 四 安全衛生の整備・改善並びに予防・対策に関わる指導助言に関すること。
- 五 保健教育に関すること。
- 六 保健管理における調査・研究に関すること。
- 七 その他センターの目的を達成するために必要な事項

その具体的内容としては、主に下記の表のようなものがあげられる。

事 項	細 目	学 生	職 員
健康診断	一般定期健康診断	○：1回／年4～5月、 6月追加健診1回 10月秋季入学者健診	○：1回／年 7月頃 追加健診2回
	採用時健康診断		○：随時
	海外派遣職員健康診断		○：随時
	特殊健康診断		○：2回／年
	放射線業務従事者等健康診断	○：2回／年	○：2回／年
	特定業務従事者健康診断		○：2回／年
	ストレスチェック		○：1回／年
	給食業務従事者健康診断 実習、課外活動の健康診断	○：随時	○：3回／年
外来診療	心身の健康相談	○：随時	○：随時
	内科診察	○：随時	○：随時
	応急措置	○：随時	○：随時
	健康診断事後措置	○：随時	○：随時
	病院紹介	○：随時	○：随時
労働安全衛生活動	安全衛生委員会（津島地区・教育学部附属学校・教育学部附属特別支援学校・資源植物科学研究所） 巡視		○：1回／月  ○：随時
	健康教育活動	メンタルヘルス講演会	○
フィジカルヘルス講演会		○	○：1回／年
メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会			○：2回／年
健康診断書の発行		○：随時	
入試救護班		○：8回／年	

## ②外来業務に関して

健康相談の外来業務として津島地区、鹿田地区ではそれぞれ以下のような週間スケジュールで、業務を行っている。

### 津島キャンパス

利用時間：月～金 8：30～17：00

対応するスタッフ：医師（常勤医および学校医）、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床心理士、事務職員

科目／曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	○	○	○	○	○	
メンタルヘルス相談	○	○	○	○	○	予約制
耳鼻咽喉科			○			午後 月1回
歯科	○					午後 毎週
皮膚科	○					午間 月2回
整形外科				○		午後 月1回
婦人科			○			午後 月2回
健康相談	○	○	○	○	○	保健師

### 鹿田キャンパス

利用時間：月～金 10：00～16：30

対応するスタッフ：医師（常勤医）、保健師、看護師、臨床心理士

科目／曜日	月	火	水	木	金	備考
内科				○	○	時間枠制
メンタルヘルス相談	○	○		○	○	予約制
健康相談	○	○	○	○	○	保健師

自己測定コーナーとして、身長・体重・体脂肪同時測定装置、自動血圧計、自己測定視力計などを設置し、学生・職員が自由に健康チェックできるようにしている。

### メンタル部門診療体制

★半日を1コマに換算

★★週4日（週1日または不定期）

	診療日（コマ数）★	常勤精神科医	非常勤精神科医	臨床心理士	非常勤臨床心理士★★
2020年度					
津島	5 (9.0)	1.5	0	1	(1)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	0	1
2021年度					
津島	5 (9.0)	1.5	0	1	(1)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	0	1
2022年度					
津島	5 (9.0)	1.5	0	1	(1)
鹿田	5 (9.0)	1.5	0	0	1
2023年度					
津島	5 (9.0)	2	0	1	(1)
鹿田	5 (9.0)	1	0	0	1
2024年度					
津島	5 (9.0)	2	0	1	(1)
鹿田	5 (9.0)	1	0	0	1

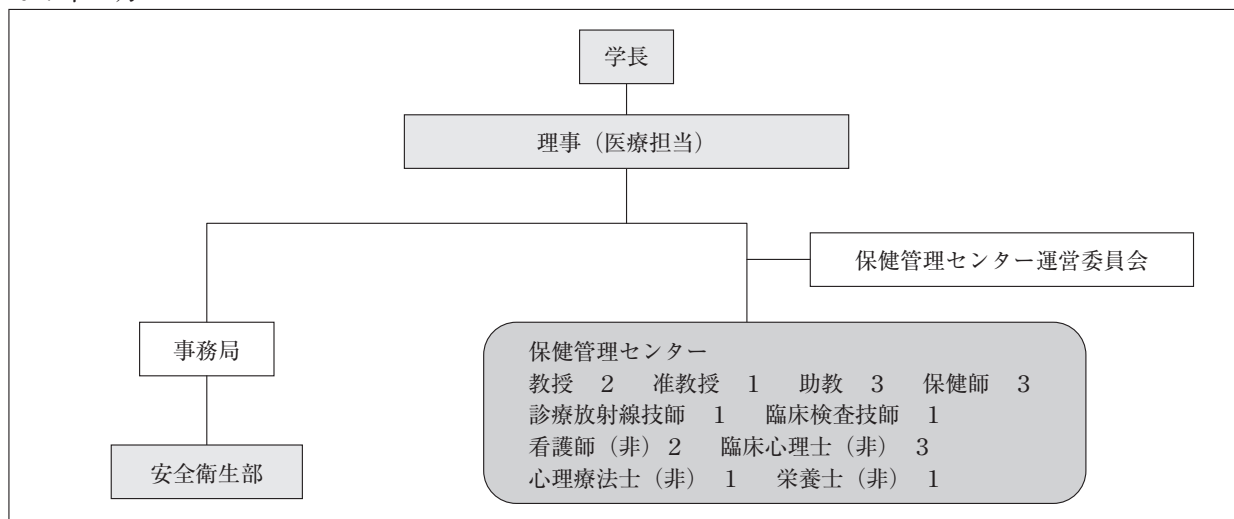
## (2) 組織機構図

2004年4月からの国立大学法人化に伴い、保健管理センターと環境管理センターが統合され保健環境センターになり、保健部門と環境安全部門の二部門体制での再出発となった。この統合されたセンターは、岡山大学の学生及び職員の健康管理・健康増進並びに環境管理及び安全衛生管理に関する専門的業務を

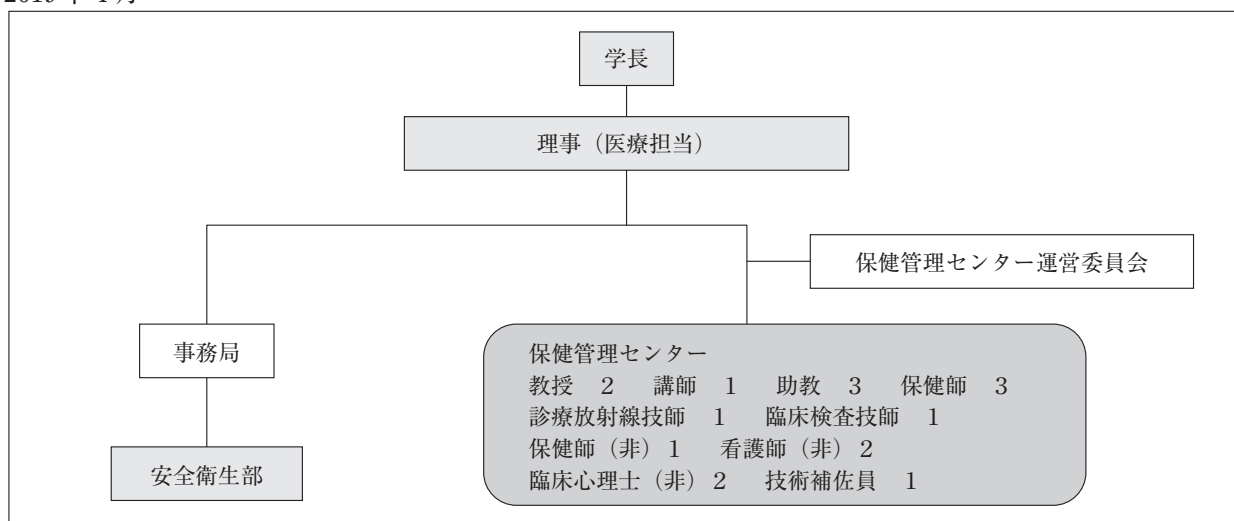
一体的に行い、環境の保全及び安全・衛生の充実を図ることを目的としてきた。

さらに、2008年4月1日、保健環境センターは、2004年度以前の保健管理センターと環境管理センターに再々編され、全学センターとして岡山大学における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、本学の学生及び職員の健康の維持・増進を図っている。

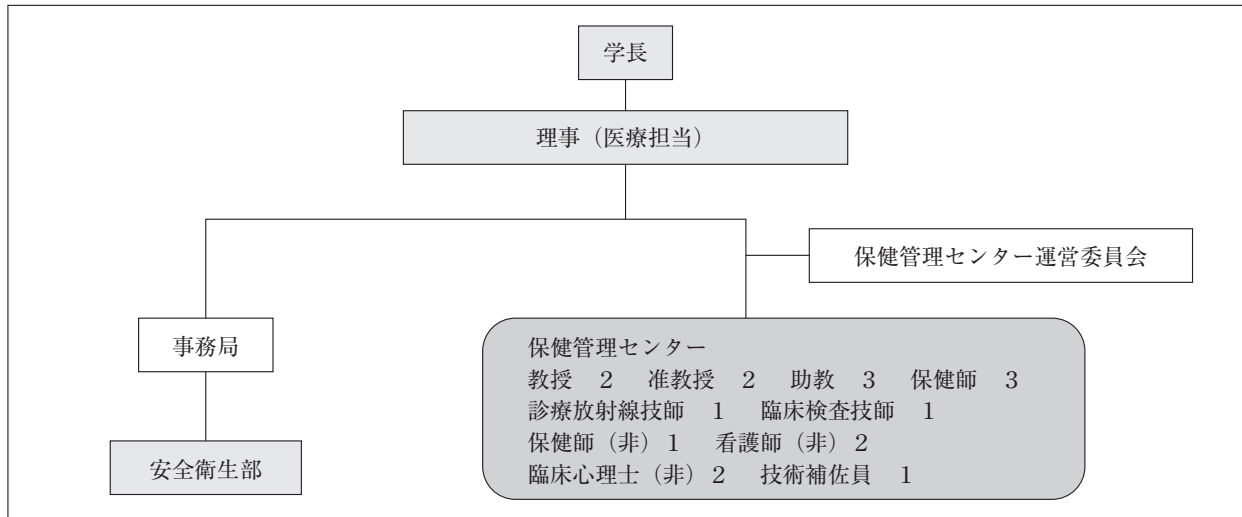
2017年4月～



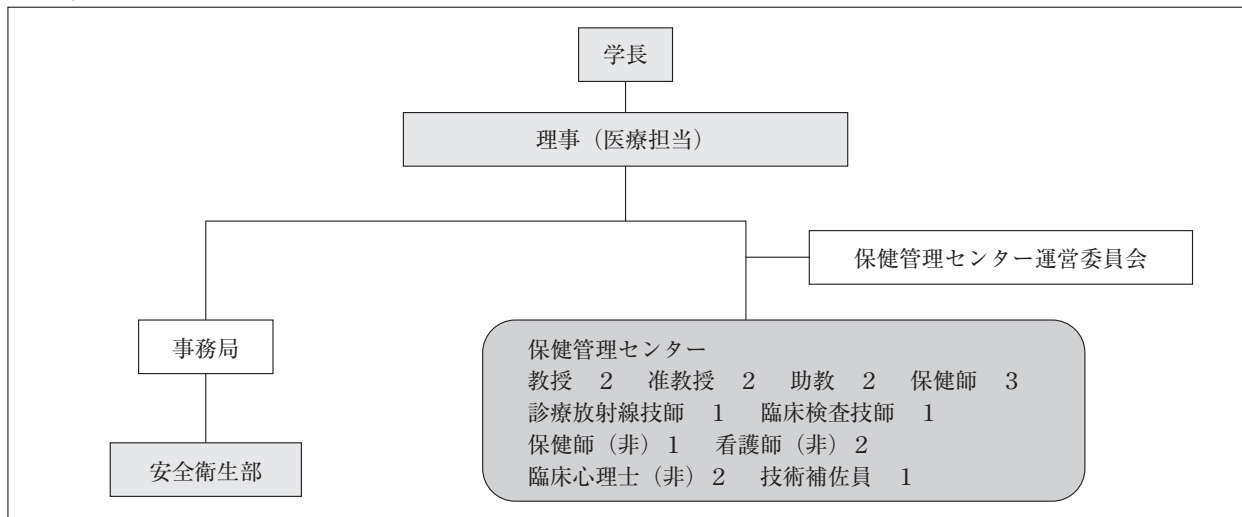
2019年4月



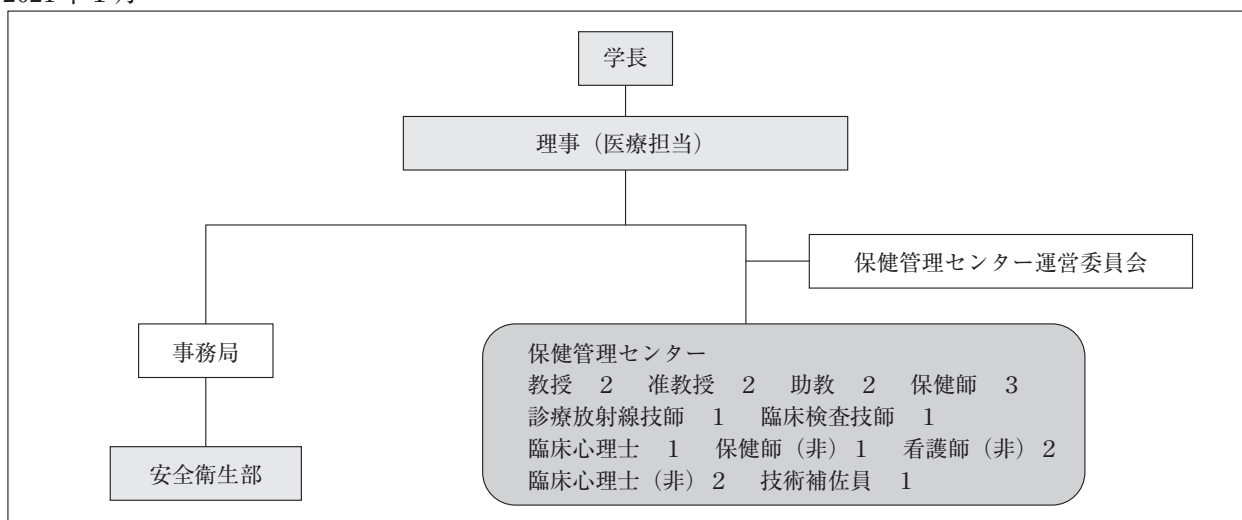
2020年4月～



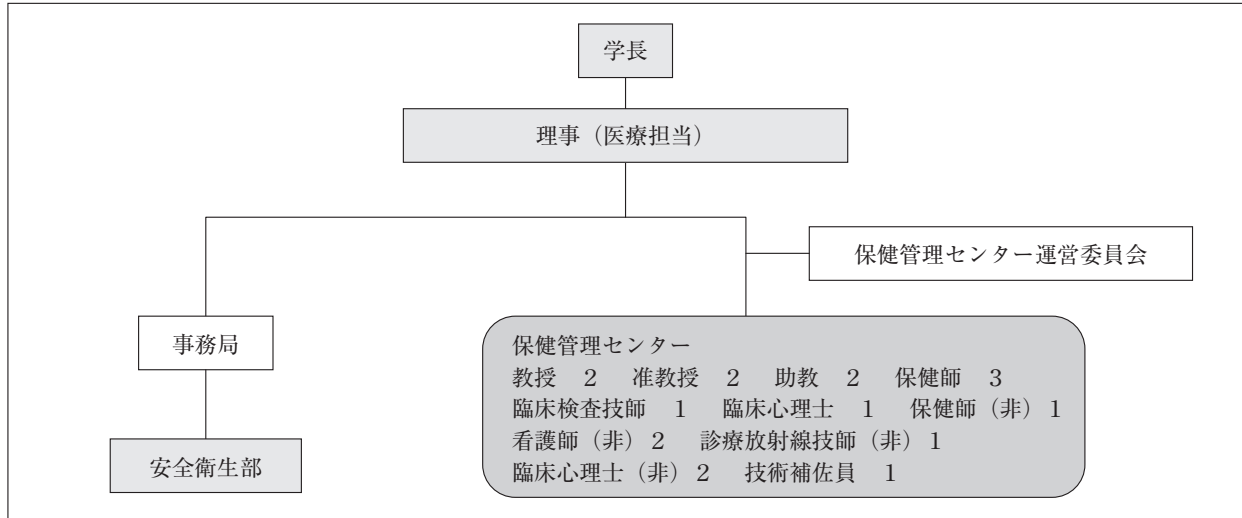
2020年7月～



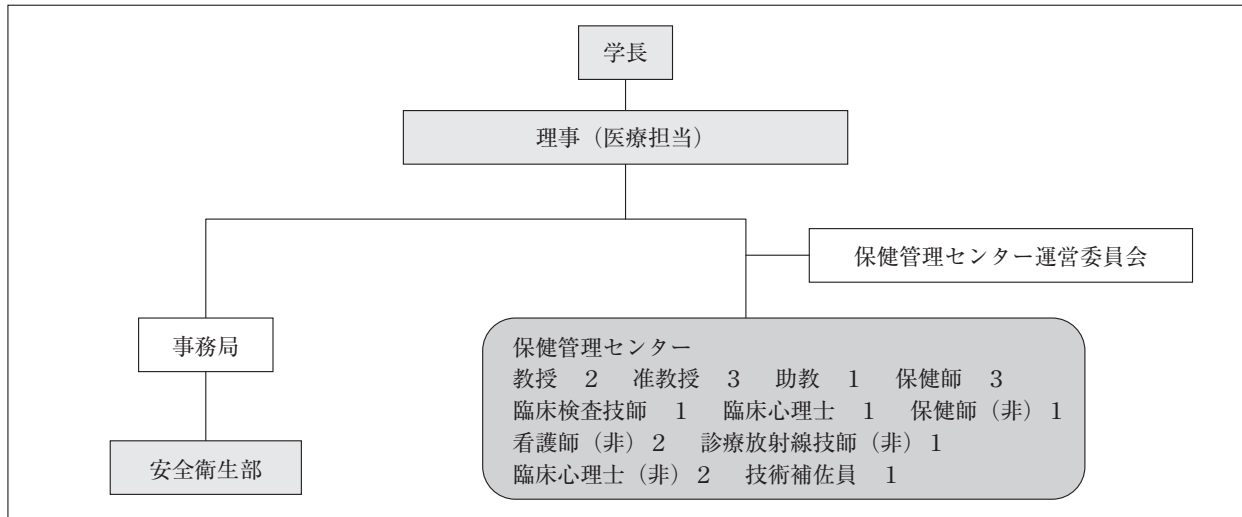
2021年1月～



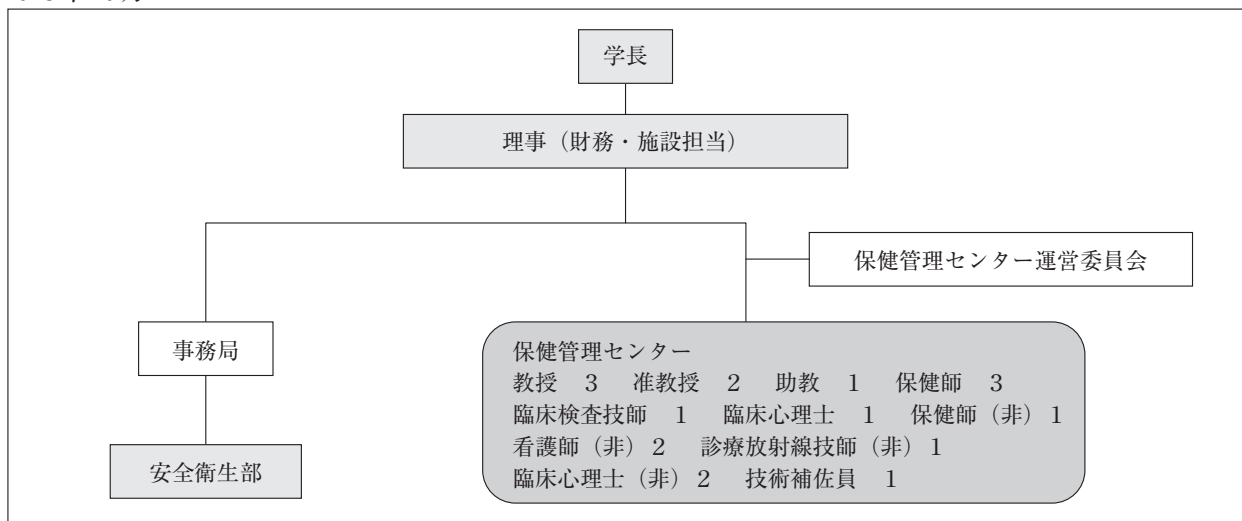
2021年4月～



2023年3月～

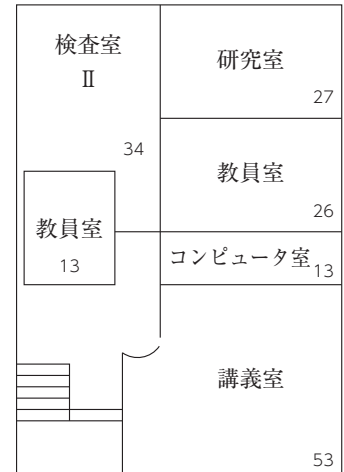


2023年10月～

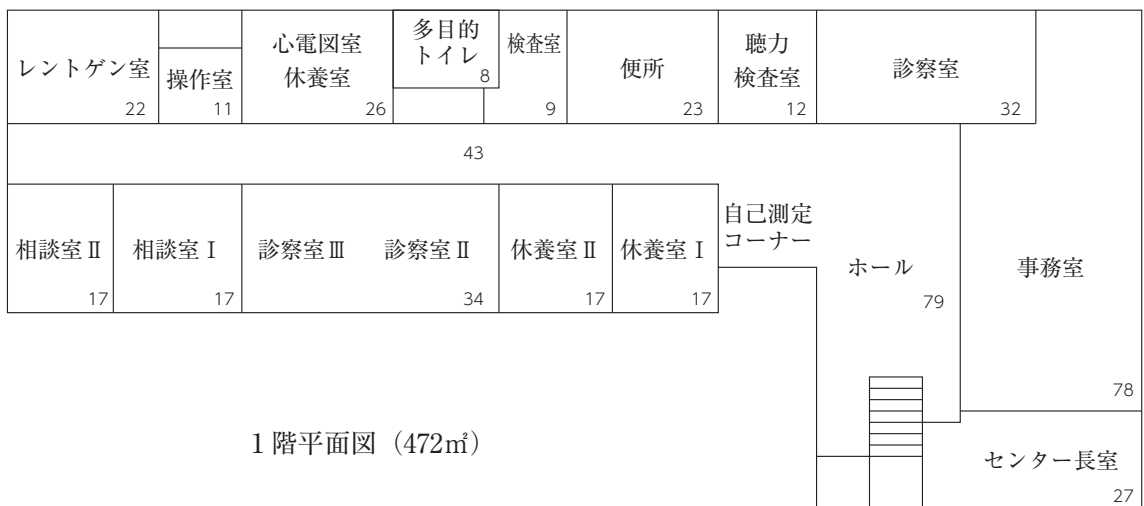


2024年4月～（3）保健管理センター配置図・建物平面図

津島キャンパス



2階平面図 (198m<sup>2</sup>)



1階平面図 (472m<sup>2</sup>)

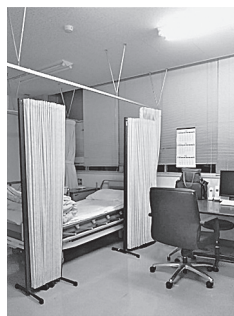
鹿田キャンパス（鹿田室）



建物正面入り口



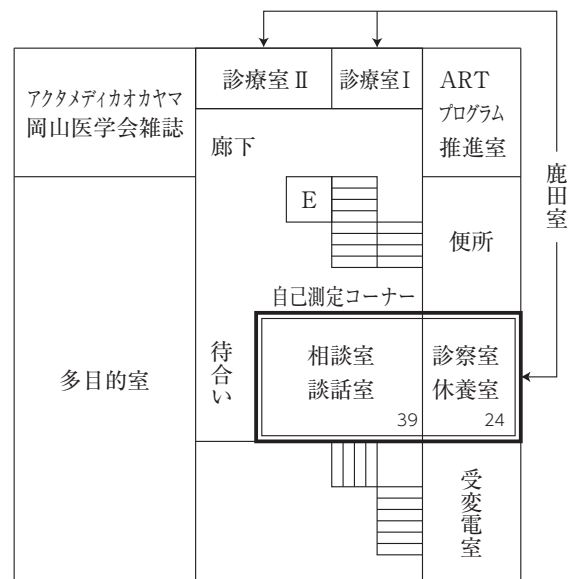
相談室・談話室



診察室・休養室



自己測定コーナー



2003年7月、医学部、歯学部及び病院のある医療系地区（鹿田キャンパス）に、保健管理センター鹿田室が設置された。

#### (4) 歴代センター長

1967年に保健管理センターが発足して以来のセンター所長を年代順に示した。1996年より、規程が改定され、保健管理センター所長は併任制となった。また、2004年の国立大学の法人化に伴い、組織替えが行われ、保健管理センターは保健環境センター保健部門と名称が変わり、保健環境センター長および保健部門に副センター長が新たに制定された。さらに、2008年4月1日から再々編して、保健管理センターと環境管理センター（2004年度以前の名称）となり、現在に至る。

#### 保健管理センター（～2004年3月31日）

職名	氏名	在職期間	備考
所長	山吹隆寛	1967/06/01～1990/03/31	保健管理センター教授
所長	戸部和夫	1990/04/01～1996/03/31	保健管理センター教授
所長(併任)	大森浩之	1996/04/01～1998/03/31	医学部泌尿器科学教授・附属病院長
所長(併任)	荒田次郎	1998/04/01～2000/03/31	医学部皮膚科学教授・附属病院長
所長(併任)	井上一	2000/04/01～2003/03/31	医学部整形外科学教授・附属病院長
所長(併任)	横野博史	2003/04/01～2004/03/31	医学部内科学第三教授

#### 保健環境センター・保健部門（2004年4月1日～2008年3月31日）

職名	氏名	在職期間	備考
センター長(併任)	井上一	2004/04/01～2005/06/13	医学部整形外科学教授・副学長・理事
副センター長(併任)	横野博史	2005/04/01～2006/03/31	医学部内科学第三教授
センター長(併任)	清水信義	2005/06/14～2008/03/31	副学長・理事
副センター長(兼務)	清水信義	2006/04/01～2006/09/30	副学長・理事
副センター長	戸部和夫	2006/10/01～2008/03/31	保健環境センター教授

#### 保健管理センター（2008年4月1日～）

職名	氏名	在職期間	備考
センター長	戸部和夫	2008/04/01～2010/03/31	保健管理センター教授
センター長	小倉俊郎	2010/04/01～2017/03/31	保健管理センター教授
センター長	岩崎良章	2017/04/01～	保健管理センター教授

### (5) 学校医・学校歯科医名簿（非常勤）

岡山大学病院を中心に種々の医療機関より多くの先生方に学校医・学校歯科医として学生・職員の健康管理にご尽力をいただいております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。感謝の意を込めて、この5年の間にお世話になった先生方のお名前を以下に掲載します。○は、現在（2025年4月1日）も学校医として勤務していただいている先生を（順不同、敬称略）示します。

	担当科	氏名	本務先	在職期間
○ ○ ○ ○	内科 〃 〃 〃 〃 〃	加藤有加	岡山大学病院	2019/4/1～2021/3/31
		堤康一郎	岡山大学病院	2020/4/1～2021/3/31
		藤澤論	岡山大学病院	2020/4/1～2020/5/31
		河合洋二郎	河合内科西口クリニック	2018/10/1～
		川村比呂志	岡山ハートクリニック	2012/4/1～
		小倉俊郎	佐藤病院	2017/4/1～2020.3.31
○ ○	整形外科 〃 〃	千田益生	岡山大学病院	1994/10/16～2023/3/31
		津島愛子	大学院教育学研究科	2019/4/1～
		山田和希	岡山大学病院	2023/4/1～
○	婦人科	中塚一女		2003/9/10～
	皮膚科 〃 〃 〃 〃 〃	藤井江利子	岡山大学病院	2020/4/1～2021/3/31
		白井真菜	岡山大学病院	2021/4/1～2022/3/31
		澤井希望	岡山大学病院	2022/4/1～2023/3/31
		川本雅也	岡山大学病院	2023/4/1～2023/9/30
		浦上仁志	岡山大学病院	2023/10/1～2023/3/31
		水田康生	岡山大学病院	2024/4/1～2025/3/31
○ ○	耳鼻咽喉科 〃 〃	前田幸英	岡山大学病院	2006/10/1～2024/6/30
		藤本将平	岡山大学病院	2024/7/1～
		片岡祐子	岡山大学病院	2024/9/1～
○	歯科 〃	江國大輔	岡山大学病院・大学院医歯薬学総合研究科	2007/4/1～2024/3/31
		山中玲子	岡山大学病院	2024/4/1～
	復職支援	神野文香	ダイバーシティ推進センター	2022/12/1～
		池田恵津子	ダイバーシティ推進センター	2022/12/1～2024/3/31
		赤木朋子	ダイバーシティ推進センター	2024/4/1～
	大学拠点接種 〃 〃	神野文香		2022/4/1～2022/9/30
		池田恵津子		2022/4/1～2022/9/30
		喜多礼子		2022/4/1～2022/9/30

## (6) 関係規則

現在の岡山大学保健管理センターが関係する関係規則を「岡山大学保健管理センター規程」「岡山大学保健管理センター運営委員会規程」「国立大学法人岡山大学安全衛生委員会要項」の順にあげる。

# 岡山大学保健管理センター規程

平成20年3月31日

岡大規程第8号

改正 平成21年3月27日規程第39号

平成23年3月31日規程第46号

平成23年9月27日規程第96号

平成29年3月31日規程第29号

### (趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人岡山大学管理学則（平成16年岡大規則第1号）第26条の規定に基づき、岡山大学保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

第2条 センターは、岡山大学（以下「本学」という。）における健康管理及び衛生管理に関する専門的業務を行い、もって本学の学生及び職員の健康の維持・増進を図ることを目的とする。

### (業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理に係る企画及び立案に関すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断並びにその事後措置に関すること。
- 三 健康相談、心理・精神保健相談、応急措置等健康支援に関すること。
- 四 安全衛生の整備・改善並びに予防・対策に関わる指導助言に関すること。
- 五 保健教育に関すること。
- 六 保健管理における調査・研究に関すること。
- 七 その他センターの目的を達成するために必要な事項

### (自己評価等)

第4条 センターは、センターに係る自己点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、本学の職員以外の者による検証を受けることを原則とする。

### (職員)

第5条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 センター長
- 二 専任の教育職員
- 三 産業医
- 四 医療職員
- 五 その他必要な職員

### (センター長)

第6条 センター長は、センターの専任教授のうちから、医療担当理事の推薦に基づき、学長が任命する。

2 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (運営委員会)

第7条 センターに、岡山大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

### (事務)

第8条 センターの事務は、安全衛生部保健衛生管理課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターに関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

## 岡山大学保健管理センター運営委員会規程

平成20年3月31日

岡大規程第9号

改正 平成21年3月27日規程第40号

平成24年3月30日規程第30号

平成27年3月31日規程第58号

平成30年3月30日規程第20号

令和5年3月29日規程第44号

(趣旨)

第1条 この規程は、岡山大学保健管理センター規程（平成20年岡大規程第8号）第7条第2項の規定に基づき、岡山大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 運営委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 教員の人事のための教育研究業績の審査に関する事項

二 その他教育研究に関する重要な事項で、運営委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 運営委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次の事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

一 中期目標についての意見に関する事項

二 中期計画及び年度計画に関する事項

三 組織評価、教員活動評価、自己評価その他評価に関する事項

四 その他教育研究に関する事項で、学長が別に定めるもの

3 前2項に規定するもののほか、運営委員会は、センター長がつかさどる岡山大学保健管理センター（以下「センター」という。）に関する次の事項について審議し、及びセンター長の求めに応じ、意見を述べることができる。

一 学生及び職員の健康管理・健康増進及び衛生管理に関する事項

二 センターの運営に関する事項

(組織)

第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 センター長

二 センター専任の教授及び准教授

三 学術研究院の教育学域，社会文化科学学域，環境生命自然科学学域，保健学域，医歯薬学域，ヘルスシステム統合科学学域及び法務学域から推薦された教授 各1人

四 総務・企画部長，学務部長及び安全衛生部長

2 前項第3号の委員の任期は，2年とし，再任を妨げない。

3 委員に欠員の生じた場合の補欠委員の任期は，前任者の残任期間とする。

4 前条第1項第1号の事項を審議する場合は，第1項第4号の委員は，加わらないものとする。

(委員長)

第4条 運営委員会に委員長を置き，センター長をもって充てる。

2 委員長は，運営委員会を招集し，その議長となる。

3 委員長に事故があるときは，委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立等)

第5条 運営委員会は，委員の半数以上の出席がなければ議事を開き，議決することができない。

2 運営委員会の議事は，出席した委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは，委員以外の者の出席を求め，その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 運営委員会の事務は，安全衛生部保健衛生管理課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか，運営委員会に関し，必要な事項は，別に定める。

附 則

この規程は，平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，令和5年4月1日から施行する。

## 国立大学法人岡山大学安全衛生委員会要項

平成16年4月1日

学 長 裁 定

改正 平成18年2月9日

平成21年3月27日

平成23年4月1日

平成26年3月31日

平成28年9月30日

平成31年3月29日

令和4年9月30日

(趣旨)

第1条 この要項は，国立大学法人岡山大学職員労働安全衛生管理規程（平成16年岡大規程第21号）第11条第2項の規定に基づき，国立大学法人岡山大学（以下「法人」という。）の事業場ごとに置く

安全衛生委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（調査審議事項）

第2条 委員会は、次の事項を調査審議するとともに、法人に対して必要な意見を提出するものとする。

- 一 職員の危険防止及び健康障害防止の基本となるべき対策に関する事項
- 二 職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策及び実施計画の作成に関する事項
- 三 労働災害の原因及び再発防止対策に関する事項
- 四 安全衛生に関する計画の作成、実施、評価及び改善に関する事項
- 五 安全衛生に関する規則等の作成に関する事項
- 六 安全衛生教育の実施計画の作成に関する事項
- 七 新規に導入する機械、器具その他の設備又は原材料に係る危険及び健康障害の防止に関する事項
- 八 化学物質等の危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置又はその結果に対する対策の樹立に関する事項
- 九 化学物質等へのばく露低減措置に関する事項
- 十 作業環境測定の結果及びその結果の評価に基づく対策の樹立に関する事項
- 十一 健康診断及びその結果に対する対策の樹立に関する事項
- 十二 長時間にわたる労働による職員の健康障害の防止を図るための対策の樹立に関する事項
- 十三 職員の精神的健康の保持増進を図るための対策の樹立に関する事項
- 十四 快適な職場環境の形成に関する事項
- 十五 厚生労働大臣等からの文書により命令、指示、勧告又は指導を受けた事項のうち、職員の健康障害の防止に関する事項
- 十六 その他安全衛生に必要と認められる重要な事項

第3条 削除

（組織、委員長及び副委員長）

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 各事業場の長
  - 二 衛生管理者のうちから学長が指名した者
  - 三 衛生工学衛生管理者のうちから学長が指名した者
  - 四 産業医のうちから学長が指名した者
  - 五 衛生推進者のうちから学長が指名した者
  - 六 安全又は衛生に関し経験を有する職員のうちから学長が指名した者
- 2 委員長は、事業場の長をもって充てる。ただし、事業場の実情により委員間の互選によることができる。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 4 学長は、第1項第1号委員以外の委員の半数については、当該事業場に職員の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合、職員の過半数で組織する労働組合がない場合は職員の過半数を代表する者の推薦に基づき指名しなければならない。

（任務）

第5条 委員長は、委員会を主宰し、その議長を務めるとともに、委員会への議題の提出その他必要な事項を処理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。
- 3 委員は、委員会に出席し、第2条に定める事項について意見を述べ、常に職場環境や安全衛生に関する事項に留意し、法人の安全衛生管理活動に寄与するよう努めるものとする。

（任期）

第6条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

- 2 学長は、退職等により委員に欠員が生じた場合は、すみやかに欠員となった委員と同じ資格に基づくものを補充する。
- 3 前項により補充する委員の任期については、前任者の残任期間とする。

（開催）

第7条 委員会は、委員長の招集によって毎月1回以上開催するものとし、次の場合には臨時に開催することができる。。

- 一 第2条に規定する調査審議事項に関し、当該事業場に関与する必要がある事項が発生したとき
  - 二 その他委員長が必要と認めたとき
- (会議の成立等)

第8条 委員会は、全委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

第8条の2 委員長は、委員会の開催の都度、議事概要を作成しなければならない。

2 議事概要には、委員会の意見及び意見を踏まえて講じた措置の内容並びに委員会における議事で重要なものを記録し、3年間保存しなければならない。

(報告書の記録・保存)

第8条の3 委員長は、第2条第9号に規定する調査審議事項に関し、対象となる物質ががん原性のある物質として厚生労働大臣が定めるものである場合は、第8条の2に規定する議事概要とは別に報告書を作成しなければならない。

2 報告書には、委員会の意見及び意見を踏まえて講じた措置の内容並びに委員会における議事で重要なものを記録し、30年間保存しなければならない。

(議事の概要等の周知)

第8条の4 委員長は、委員会の開催の都度、遅滞なく、前2条に定める議事概要及び報告書を職員に周知させなければならない。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、各事業場の事務担当者において処理する。

(雑則)

第10条 この要項に定めるもののほか、委員会の議事及び運営に関し、必要な事項は、委員会の議を経て別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年10月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

(7) センター職員

2020年4月1日～2025年3月31日の期間に保健管理センターに在籍した職員を下記に記載する。備考欄は2024年度の状況を示す。○は現在（2025年4月1日）もセンターに在籍している職員（順不同、敬称略）を示す。

津島キャンパス・鹿田キャンパス（鹿田室）

	職 種	職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
○	教 員	教授・精神科	大西 勝	2004/4/1～	産業医
○	〃	教授・内科	岩崎 良章	2010/4/1～	産業医
○	〃	教授・精神科	岡部 伸幸	2019/4/1～	産業医
○	〃	准 教 授	宮道 力	2020/4/1～	
○	〃	准教授・内科	樋口 千草	2017/4/1～	産業医
○	〃	助教・精神科	河原 宏子	2012/4/1～	特別契約職員
	〃	助教・内科	二宮 崇	2018/1/1～2020/6/30	産業医
○	医療職員	保 健 師	黒木 清美	1991/04/01～	衛生管理者
○	〃	〃	岡 香 織	2012/4/1～	
○	〃	〃	成田 美香	2020/4/1～	
	非 常 勤	〃	内藤 恵子	2017/10/1～2020/12/31	
	〃	〃		2021/4/1～2021/12/28	
○	〃	看 護 師	森田 知子	2005/03/16～	
○	〃	〃	中西 順子	2007/07/16～	
	医療職員	診療放射線技師	増田 陽子	2013/4/1～2021/3/31	衛生管理者
○	非 常 勤	〃	花元 晴美	2021/4/1～	
○	医療職員	臨床検査技師	影山 真希	2016/4/1～	
	〃	〃	飯尾 友愛	2021/1/1～2023/3/31	
○	医療職員	公認心理士	熊丸 都香	2021/1/1～	
○	非 常 勤	〃	兒山志保美	2008/3/10～	
	〃	臨床心理士	安東 節子	2010/4/1～2025/3/31	
○	非 常 勤	技術補佐員	中務 美貴	2020/2/1～2021/3/31	
	〃	〃	池内 瑤子	2021/4/1～2024/1/31	
	〃	〃	上野 香代	2024/4/1～2024/11/30	
○	事務職員	主 査	直原 哲治	2022/4/1～	特別契約職員
○	〃	〃	原田たみ子	2023/7/1～	
	〃	主 査	東 直美	2017/4/1～2022/3/31	
	〃	主 任	橋本章江	2019/10/1～2023/6/30	
	〃	〃	池内 瑤子	2022/2/1～2024/1/31	

## あ と が き

本書の刊行にあたり、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間を顧みると、保健管理センターの歴史の中でも「激動の5年間」であったと深い感慨を抱かずにはられません。

前回の5年報の発刊は、3回目となる職域接種に向けた慌ただしい準備の真っ最中でした。その後も、絶え間なく変化する感染状況への対応、各種健康診断や通常診療およびよろず相談といった基本的な業務に加え、増加する留学生や外国人教職員への対応、そしてストレスチェックをはじめとするメンタルヘルス対策の拡充など、我々が直面した課題は多岐にわたりました。これらの新たな波に真摯に向き合えたのは、ひとえにセンター職員一同の献身と、学内外の皆様のご理解があったからこそと思っています。

未曾有の事態を乗り越え、ようやく新たな日常の地平が見えてきました。この5年報が単なる過去の集積に留まらず、次代の学生・教職員の健康を守るための礎となることを願ってやみません。今後とも皆様からの忌憚のないご意見を賜りつつ、安全で豊かなキャンパスライフを支えるべく、センター職員一同、決意を新たに歩みを進めてまいり所存でございます。

今後ともよろしく願いいたします。

2026年2月

保健管理センター

大 西 勝

岡山大学保健管理センター 5年報

〔2020年度～2024年度〕

2026年3月発行

編集・発行 岡山大学保健管理センター  
〒700-8530 岡山市北区津島中2丁目1-1  
TEL 086 (251) 7223  
FAX 086 (251) 7222  
印刷所 昭和印刷株式会社  
岡山市南区豊成3-1-27

